



プログラミング リファレンス ガイド

HP Engage Go Mobile System
バーコード スキャナー

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2018年10月

製品番号：L48943-291

目次

第1章：はじめに

このガイドについて.....	1-1
読み取り方法.....	1-2
メニューバーコードのセキュリティ設定.....	1-2
カスタム初期設定の指定.....	1-2
カスタム初期設定へのリセット.....	1-3

第2章：インターフェイスのプログラミング

はじめに.....	2-1
インターフェイスのプログラミング.....	2-1
RS232シリアルポート.....	2-1
RS485パケットモード.....	2-1
USB IBM SurePos.....	2-2
USB PCまたはMacintoshキーボード.....	2-2
USB HID.....	2-2
USBシリアル.....	2-3
USB用Remote MasterMind™.....	2-3
Verifone® Ruby端末の初期設定.....	2-4
Gilbarco®端末の初期設定.....	2-4
Honeywell Bioptic Auxポートの構成.....	2-4
Datalogic™ Magellan® Auxポートの構成.....	2-4
NCR Bioptic Auxポートの構成.....	2-5
Wincor Nixdorf端末の初期設定.....	2-5
Wincor Nixdorf Beetle™ 端末の初期設定.....	2-5
Wincor Nixdorf RS232モードA.....	2-5
キーボードの言語レイアウト.....	2-7
キーボードスタイル.....	2-14
キーボード変換.....	2-15
制御文字の出力.....	2-16
キーボード修飾子.....	2-16
RS232修飾子.....	2-17
RS232ボーレート.....	2-17
RS232ワード長：データビット、ストップビット、およびパリティ.....	2-18
RS232レシーバータイムアウト.....	2-19
RS232ハンドシェイク.....	2-19
RS232タイムアウト.....	2-20
XON/XOFF.....	2-20
ACK/NAK.....	2-21
RS232停止モード.....	2-21
スキャナーとバイオプティックの通信.....	2-21
スキャナー-バイオプティックパケットモード.....	2-21
スキャナー-バイオプティックACK/NAKモード.....	2-22
スキャナー-バイオプティックACK/NAKタイムアウト.....	2-22

第3章：入出力設定

電源投入ビーブ音	3-1
BEL文字でのビーブ音	3-1
トリガー クリック音	3-1
読み取り成功およびエラーのインジケータ	3-2
ビーブ音：読み取り成功	3-2
ビーブ音量：読み取り成功	3-2
ビーブ音程：読み取り成功	3-2
ビーブ音程：エラー	3-3
ビーブ音の長さ：読み取り成功	3-3
LED：読み取り成功	3-3
ビーブ音の回数：読み取り成功	3-4
ビーブ音の回数：エラー	3-4
読み取り成功遅延	3-4
ユーザー指定の読み取り成功遅延	3-4
手動トリガー モード	3-5
LED照明：手動トリガー	3-5
文字有効化モード	3-6
有効化文字	3-6
読み取り成功後に文字有効化を終了	3-6
文字有効化タイムアウト	3-7
文字無効化モード	3-7
無効化文字	3-7
シリアルトリガー モード	3-7
読み取りタイムアウト	3-7
携帯電話読み取りモード	3-8
プレゼンテーション モード	3-8
LED照明：プレゼンテーション モード	3-8
デコード後のプレゼンテーションLEDの動作	3-9
プレゼンテーション感度	3-9
プレゼンテーション センタリング	3-9
CodeGate®	3-11
ストリーミングプレゼンテーション™モード	3-11
スタンド装着時のストリーミングプレゼンテーションのプログラミング	3-11
低品質コード	3-12
低品質1Dコード	3-12
低品質PDFコード	3-12
ハンズフリー タイムアウト	3-13
再読み取り遅延	3-13
ユーザー指定の再読み取り遅延	3-13
2D再読み取り遅延	3-14
照明光	3-14
照準遅延	3-15
ユーザー指定の照準遅延	3-15
照準モード	3-15
センタリング	3-15

優先読み取りコード.....	3-17
高優先度の読み取りコード.....	3-17
低優先度の読み取りコード.....	3-17
優先読み取りコードタイムアウト.....	3-18
優先読み取りコードの初期設定.....	3-18
出力シーケンスの概要.....	3-18
出力シーケンスエディター.....	3-18
出力シーケンスを追加する.....	3-18
その他のプログラミング選択項目.....	3-18
出力シーケンスエディター.....	3-20
部分シーケンス.....	3-20
出力シーケンス必須.....	3-20
複数の読み取りコード.....	3-21
No Read.....	3-21
ビデオ反転.....	3-21
読み取り方向.....	3-22

第4章：データ編集

プレフィックス/サフィックスの概要.....	4-1
プレフィックスまたはサフィックスを追加する方法.....	4-1
1つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスを消去するには.....	4-2
すべての読み取りコードにキャリッジリターンサフィックスを追加するには.....	4-2
プレフィックスの選択項目.....	4-2
サフィックスの選択項目.....	4-3
ファンクションコードの送信.....	4-3
文字間、ファンクション間、およびメッセージ間の遅延.....	4-3
文字間遅延.....	4-3
ユーザー指定の文字間遅延.....	4-4
ファンクション間遅延.....	4-4
メッセージ間遅延.....	4-4

第5章：データフォーマット

データフォーマットエディターの概要.....	5-1
データフォーマットの追加.....	5-1
その他のプログラミング選択項目.....	5-2
端末ID表.....	5-3
データフォーマットエディターのコマンド.....	5-3
移動コマンド.....	5-6
検索コマンド.....	5-7
その他のコマンド.....	5-9
データフォーマッター.....	5-12
データフォーマット不一致エラー音.....	5-13
メインのデータフォーマット/代替のデータフォーマット.....	5-13
シングルスキャンのデータフォーマットの変更.....	5-13

第6章：読み取りコード

すべての読み取りコード.....	6-1
メッセージ長の説明.....	6-1

Codabar	6-2
Codabarの連結	6-3
Code 39	6-4
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	6-5
Full ASCII	6-6
Code 39のコード ページ	6-6
Interleaved 2 of 5	6-7
NEC 2 of 5	6-8
Code 93	6-9
Code 93のコード ページ	6-10
Straight 2 of 5 Industrial (3バー開始/終了)	6-11
Straight 2 of 5 IATA (2バー開始/終了)	6-12
Matrix 2 of 5	6-13
Code 11	6-14
Code 128	6-15
ISBT 128の連結	6-15
Code 128のコード ページ	6-16
GS1-128	6-17
Telepen	6-18
UPC-A	6-19
アドオン タイムアウト	6-20
拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13	6-21
クーポンGS1 DataBar出力	6-21
UPC-E0	6-22
UPC-E1	6-24
EAN/JAN-13	6-24
UPC-AからEAN-13への変換	6-24
ISBN変換	6-26
EAN/JAN-8	6-27
MSI	6-29
GS1 DataBar Omnidirectional	6-31
GS1 DataBar Limited	6-31
GS1 DataBar Expanded	6-32
Trioptic Code	6-32
Codablock A	6-33
Codablock F	6-34
Label Code	6-34
PDF417	6-35
PDF417のコード ページ	6-35
MacroPDF417	6-35
MicroPDF417	6-36
GS1 コンジット コード	6-36
UPC/EANのバージョン	6-37
GS1 エミュレーション	6-37
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	6-38
QRコード	6-38
QRコード ページ	6-39
Data Matrix	6-40
Data Matrixのコード ページ	6-40
MaxiCode	6-41
Aztecコード	6-42
Aztecのコード ページ	6-42

Chinese Sensible (Han Xin) コード.....	6-43
郵便コード (2D)	6-44
2D郵便コード (単独)	6-44
2D郵便コード (組み合わせ)	6-45
Australian Postの解釈	6-47
郵便コード (線形)	6-48
China Post (Hong Kong 2 of 5)	6-48
Korea Post	6-49

第7章 : イメージング コマンド

シングルコースベース.....	7-1
コマンド構文	7-1
画像撮影 - IMGSNP.....	7-1
IMGSNPの修飾子	7-1
画像送信 - IMGSHIP	7-3
IMGSHIPの修飾子	7-3
インテリジェントな署名キャプチャ - IMGBOX.....	7-10
署名キャプチャの最適化.....	7-10
IMGBOXの修飾子.....	7-11
RF初期設定のイメージングデバイス.....	7-14

第8章 : ユーティリティ

すべての読み取りコードにテストコードIDプレフィックスを追加する.....	8-1
デコーダーのリビジョンの表示.....	8-1
スキャンドライバのリビジョンの表示	8-1
ソフトウェアのリビジョンの表示	8-1
データフォーマットの表示.....	8-1
テストメニュー	8-2
TotalFreedom.....	8-2
アプリケーション プラグイン (アプリ)	8-2
[EZConfig-Scanning]の概要	8-3
Webからの[EZConfig-Scanning]のインストール	8-3
工場出荷時設定へのリセット	8-4

第9章 : シリアルプログラミング コマンド

表記法	9-1
メニュー コマンドの構文	9-1
シリアル コマンドの例	9-1
クエリ コマンド.....	9-1
応答	9-2
クエリ コマンドの例	9-2
トリガー コマンド	9-3
カスタム初期設定の指定	9-3
カスタム初期設定へのリセット	9-3
メニュー コマンド	9-4

第10章：メンテナンスとトラブルシューティング

修理.....	10-1
ケーブルおよびコネクタの点検.....	10-1
トラブルシューティング.....	10-1

付録A：リファレンス表

読み取りコード表.....	A-1
線形読み取りコード.....	A-1
2D読み取りコード.....	A-2
郵便読み取りコード.....	A-3
ASCII変換表（コードページ1252）.....	A-3
下位のASCII参照表.....	A-4
ISO 2022/ISO 646の文字置換.....	A-7
キーボードのキー リファレンス.....	A-10

技術サポート

HPのサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]からHPへのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。



はじめに

このガイドについて

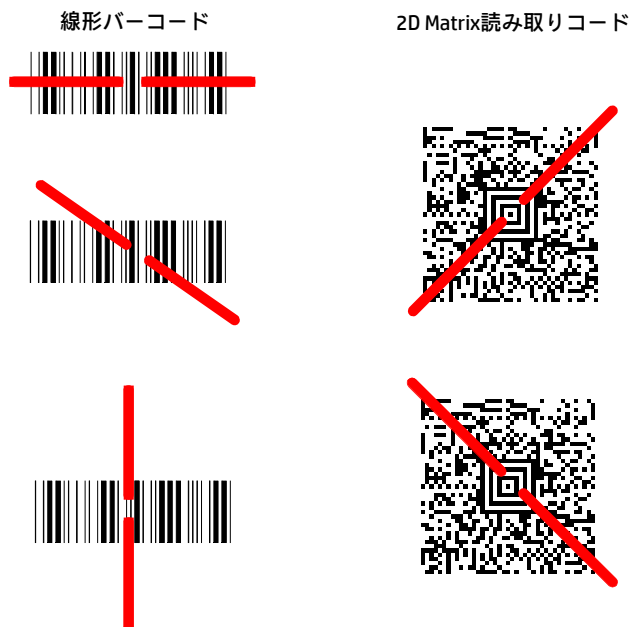
このガイドでは、HP Engage Go Mobile System/バーコード スキャナーのプログラミング手順について説明します。

HPのバーコード スキャナーは、最も一般的な端末および通信の設定に合わせて工場出荷時にプログラムされています。これらの設定を変更する必要がある場合は、このガイドに記載されているバーコードをスキャンすることでプログラミングできます。

オプションの横のアスタリスク (*) は初期設定を示しています。

読み取り方法

スキャン エンジンにはビユー ファインダーが搭載されており、スキャン エンジンの水平方向の読み取りエリアに対応する明赤色の照準LED光が照射されます。この照準LED光をバーコードの中心に合わせてください。読み取りやすくするために角度を調整することもできます。



照準LED光の照射範囲は、スキャンエンジンとバーコードが近づくと狭くなり、遠ざかると広がります。バーまたは要素が小さい読み取りコード（ミリ単位）は、スキャナーを近づけて読み取ります。バーまたは要素が大きい読み取りコード（ミリ単位）は、スキャナーを遠ざけて読み取ります。1つまたは複数の読み取りコード（ページ上またはオブジェクト上）を読み取るには、スキャンエンジンをターゲットから適切な距離に保ち、トリガーを引き、照準LED光を読み取りコードの中心に合わせてください。スキャンするコードの反射性が高い場合（ラミネート加工されている場合など）は、不要な反射を防ぐためにコードを15度から18度傾ける必要があることがあります。

メニューバーコードのセキュリティ設定

Honeywellスキャンエンジンは、メニューバーコードをスキャンするか、スキャンエンジンにシリアルコマンドを送信することによってプログラムされます。メニューコードをスキャンする機能を制限するには、[メニューバーコードのセキュリティ]設定を使用できます。詳しくは、最寄りのサポート窓口にお問い合わせください（viiページの[技術サポート](#)を参照してください）。

カスタム初期設定の指定

ユーザー独自のカスタム初期設定としてメニューコマンドのセットを作成できます。これを行うには、下記の[カスタム初期設定の指定]バーコードをスキャンしてから、カスタム初期設定とするメニューコマンドをスキャンします。裏表紙にある数字コードをスキャンした後で[保存]コードをスキャンする必要があるメニューコマンドの場合は、そのシーケンス全体がカスタム初期設定に保存されます。カスタム初期設定に保存するコマンドをすべて入力したら、[カスタムの初期設定の保存]バーコードをスキャンします。



一連のカスタム設定のうち1つの設定だけを修正することもできます。これを行うには、新しい設定をスキャンして古い設定を上書きします。たとえば、ビープ音量を小音量とする設定をカスタム初期設定に保存してあった場合にビープ音量を大音量に設定するには、**[カスタム初期設定の指定]**バーコードをスキャンしてから、**[ビープ音量大]**メニューコード、**[カスタムの初期設定の保存]**の順にスキャンします。その他のカスタム初期設定は変更されませんが、ビープ音量の設定が更新されます。

注：カスタム初期設定は、**[カスタムの初期設定の保存]**バーコードをスキャンした直後には適用されません。カスタム初期設定を有効にするには、下記の**[初期設定の有効化]**バーコードを読み取る必要があります。

カスタム初期設定へのリセット

お使いのスキャン エンジンにカスタム初期設定を復元するには、下記の**[初期設定の有効化]**バーコードをスキャンします。これはほとんどのユーザーに推奨される初期設定のバーコードです。これによってスキャン エンジンはカスタム初期設定にリセットされます。カスタム初期設定が設定されていない場合、スキャン エンジンは工場出荷時の設定にリセットされます。カスタム初期設定で指定されていない設定はすべて工場出荷時の設定に戻ります。



DEFAULT.

初期設定の有効化

注：シリアル コマンドを使用してカスタム初期設定のリストをスキャン エンジンに送信することもできます。9-3ページの**カスタム初期設定の指定**を参照してください。

注：カスタム初期設定を削除するには、8-4ページの**工場出荷時設定へのリセット**を参照してください。



インターフェイスのプログラミング

はじめに

この章では、使用するインターフェイスに合わせてシステムをプログラムする方法について説明します。

インターフェイスのプログラミング

インターフェイスをプログラミングするには、以下の構成バーコードを使用します。

注：コードをスキャンした後、インターフェイスを有効にするにはホスト端末の電源を入れ直します。

RS232シリアルポート

RS232インターフェイスバーコードは、PCまたは端末のシリアルポートに接続するときに使用されます。下記のRS232インターフェイスバーコードは、キャリッジリターン（CR）とラインフィード（LF）のサフィックス、ボーレート、およびデータフォーマットを以下に示すようにプログラムします。また、トリガーモードを手動に変更します。

オプション	設定
ボーレート	115,200 bps
データフォーマット	8データビット、パリティビットなし、1ストップビット



TERMID0;232BAD9;232WRD2

RS-232インターフェイス

RS485パケットモード

以下の選択により、IBM POS端末上で大きなデータを小さなパケットに分割することができます。大きなバーコードを小さなパケットに分割するには、下記の[パケットモードオン]バーコードをスキャンします。大きなバーコードデータを単一チャンクでホストに送信する場合は、[パケットモードオフ]バーコードをスキャンします。初期設定は、[パケットモードオン]です。



RTLPDF0.
*パケットモードオフ



RTLPDF1.
パケットモードオン

RS485パケット長

パケットモードを使用している場合は、ホストに送信されるデータ「パケット」のサイズを指定できます。パケットが大きいほど伝送速度が速くなります。小さいパケットはホストバッファに使用できますが、データを維持できずにデータが失われる可能性があります。パケット長バーコードをスキャンし、このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートでパケットサイズ（20～256）をスキャンした後で、[保存]をスキャンします。初期設定値は40です。



RTLMP5.
パケット長

USB IBM SurePos

IBM SurePos (USBハンドヘルド スキャナー) またはIBM SurePos (USBテーブルトップ スキャナー) インターフェイス用にスキャンエンジンをプログラムするには、下記の「プラグ アンド プレイ」コードをスキャンします。

注：これらのコードのどちらかをスキャンした後、キャッシュレジスターの電源を入れ直す必要があります。



PAPSPT.
USB IBM SurePos
(USBハンドヘルド スキャナー)
インターフェイス



PAPSPT.
USB IBM SurePos
(USBテーブルトップ スキャナー)
インターフェイス

上記の各バーコードでは、各読み取りコードについて以下のサフィックスもプログラムされます。

読み取りコード	サフィックス	読み取りコード	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPCA	0D	Code 128	00 18 0B
UPCE	0A	Code 39	00 0A 0B

USB PCまたはMacintoshキーボード

USB PCキーボードまたはUSB Macintoshキーボード用にスキャン エンジンをプログラムするには、以下のコードをスキャンします。これらのコードをスキャンすると、CRサフィックスも追加されます。



PAP124.
USBキーボード (PC)



PAP125.
USBキーボード (Mac)



TRMUSB134.
USB日本語キーボード (PC)

USB HID

USB HID用スキャン エンジンをプログラミングするには、以下のコードをスキャンします。



TERMID131.
USB HID

USBシリアル

通常のRS232ベースのCOMポートをエミュレートするようにスキャンエンジンをプログラムするには、以下のコードをスキャンします。Microsoft® Windows® PCを使用している場合は、HoneywellのWebサイト、<https://www.honeywellaidc.com/ja-jp/> からドライバーをダウンロードする必要があります。ドライバーは次に使用可能なCOMポート番号を使用します。Apple® Macintoshコンピューターは、スキャンエンジンをUSB CDCクラスのデバイスとして認識し、自動的にクラスドライバーを使用します。



TERMID130.

USBシリアル

注：追加の構成（ボーレートなど）は必要ありません。

CTS/RTSエミュレーション



USBCTS1.

CTS/RTSエミュレーション オン



USBCTS0.

* CTS/RTSエミュレーション オフ

ACK/NAKモード



USBACK1.

ACK/NAKモード オン



USBACK0.

* ACK/NAKモード オフ

USB用Remote MasterMind™

USBインターフェイスを使用している場合は、スキャナーをRemote MasterMindスキャナー管理ソフトウェア（ReM）と通信するように設定することをおすすめします。ReMと通信するには、[ReMオン]バーコードをスキャンします。この機能を無効にするには、[ReMオフ]をスキャンします。



REMIFC0.

ReMオフ



REMIFC1.

ReMオン

Verifone® Ruby端末の初期設定

Verifone Ruby端末用にスキャンエンジンをプログラムするには、下記のプラグアンドプレイコードをスキャンします。このバーコードは、ボーレートを1200bpsに、データフォーマットを8データビット、パリティビットなし、1ストップビットに設定します。また、ラインフィード（LF）サフィックスを追加し、各読み取りコードに対して以下のプレフィックスをプログラムします。

読み取りコード	プレフィックス
UPC-A	A
UPC-E	A
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPRBY.
Verifone Rubyの設定

Gilbarco®端末の初期設定

Gilbarco端末用にスキャンエンジンをプログラムするには、下記のプラグアンドプレイコードをスキャンします。このバーコードは、ボーレートを2400bpsに、データフォーマットを7データビット、偶数パリティ、2ストップビットに設定します。また、キャリッジリターン（CR）サフィックスを追加し、各読み取りコードに対して以下のプレフィックスをプログラムします。

読み取りコード	プレフィックス
UPC-A	A
UPC-E	E0
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPGLB.
Gilbarcoの設定

Honeywell Bioptic Auxポートの構成

Honeywellバイオプティック スキャナー補助ポート構成用にスキャンエンジンをプログラムするには、下記のプラグアンドプレイコードをスキャンします。このバーコードは、ボーレートを38400bpsに、データフォーマットを8データビット、パリティなし、1ストップビットに設定します。



PAPBIO.
Honeywellバイオプティックの設定

Datalogic™ Magellan® Auxポートの構成

Datalogic Magellan補助ポート構成用にスキャンエンジンをプログラムするには、下記のプラグアンドプレイコードをスキャンします。このバーコードは、ボーレートを9600bpsに、データフォーマットを8データビット、パリティなし、1ストップビットに設定します。



PAPMAG.
Datalogic Magellanバイオプティックの設定

NCR Bioptic Auxポートの構成

NCRバイオプティック スキャナー補助ポート構成用にスキャンエンジンをプログラムするには、下記のプラグアンドプレイコードをスキャンします。以下のプレフィックスは各読み取りコードに対してプログラムされています。

読み取りコード	プレフィックス	読み取りコード	プレフィックス
UPC-A	A	Code 39	B1
UPC-E	E0	Interleaved 2 of 5	B2
EAN-8	FF	他のすべての バーコード	B3
EAN-13	F		



PAPNCR.

NCRバイオプティックの設定

Wincor Nixdorf端末の初期設定

Wincor Nixdorf端末用にスキャンエンジンをプログラムするには、下記のプラグアンドプレイコードをスキャンします。このバーコードは、ボーレートを9600 bpsに、データフォーマットを8データビット、パリティなし、1ストップビットに設定します。



PAPWNX.

Wincor Nixdorf端末の設定

Wincor Nixdorf Beetle™ 端末の初期設定

Wincor Nixdorf Beetle™ 端末用にスキャナーをプログラムするには、下記のプラグアンドプレイコードをスキャンします。以下のプレフィックスは各読み取りコードに対してプログラムされています。

読み取りコード	プレフィックス	読み取りコード	プレフィックス
Aztec Code	V	Interleaved 2 of 5	I
Codabar	N	MaxiCode	T
Code 93	L	MicroPDF417	S
Code 128	K	PDF417	Q
Data Matrix	R	QRコード	U
EAN-8	B	Straight 2 of 5 IATA	H
EAN-13	A	UPC-A	AO
GS1 DataBar	E	UPC-E	C
GS1-128	P	他のすべての バーコード	M



PAPBTL.

Wincor Nixdorf Beetleの設定

Wincor Nixdorf RS232モードA

Wincor Nixdorf RS232モードA端末用にスキャナーをプログラムするには、下記のプラグアンドプレイコードをスキャンします。このバーコードは、ボーレートを9600 bpsに、データフォーマットを8データビット、奇数パリティ、1ストップビットに設定します。以下のプレフィックスは各読み取りコードに対してプログラムされています。

読み取りコード	プレフィックス	読み取りコード	プレフィックス
Code 128	K	EAN-13	A
Code 93	L	GS1-128	K
Codabar	N	Interleaved 2 of 5	I
UPC-A	A0	Plessey	O
UPC-E	C	Straight 2 of 5 IATA	H
EAN-8	B	GS1 DataBar	E
他のすべての バーコード	M		



PAPWMA.

Wincor Nixdorf RS232モードAの設定

キーボードの言語レイアウト

お使いのインターフェイスがUSBキーボードまたはキーボード ウェッジの場合、キーボード レイアウトの初期設定はUSキーボードです。このレイアウトを変更するには、下の表を参照してお使いのキーボードの言語を探します。該当するバーコードをスキャンしてレイアウトを変更します。

初期設定では、#\$@[N]^ '[]~の文字は各国語文字に置き換えられます。各国語の文字置換については、A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください。

キーボードの言語



KBDCTY0.
*米国



KBDCTY81.
アゼリー語 (キリル)



KBDCTY82.
ベラルーシ



KBDCTY33.
ボスニア



KBDCTY59.
ブラジル (MS)



KBDCTY35.
アルバニア



KBDCTY80.
アゼリー語 (ラテン)



KBDCTY1.
ベルギー



KBDCTY16.
ブラジル



KBDCTY52.
ブルガリア (キリル)

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY53.
ブルガリア (ラテン)



KBDCTY18.
カナダ (フランス語)



KBDCTY32.
クロアチア



KBDCTY40.
チェコ語 (プログラマー)



KBDCTY38.
チェコ語 (QWERTZ)



KBDCTY11.
オランダ語 (オランダ)



KBDCTY54.
カナダ (フランス語レガシー)



KBDCTY55.
カナダ (マルチリンガル)



KBDCTY15.
チェコ語



KBDCTY39.
チェコ語 (QWERTY)



KBDCTY8.
デンマーク

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY83.
フェロー語



KBDCTY3.
フランス



KBDCTY4.
ドイツ



KBDCTY64.
ギリシャ語 (220ラテン)



KBDCTY65.
ギリシャ語 (319ラテン)



KBDCTY41.
エストニア



KBDCTY2.
フィンランド



KBDCTY84.
ゲール語



KBDCTY17.
ギリシャ語



KBDCTY61.
ギリシャ語 (220)



KBDCTY62.
ギリシャ語 (319)

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY63.
ギリシャ語 (ラテン)



KBDCTY60.
ギリシャ語 (Polytonic)



KBDCTY50.
ハンガリー語 (101キー)



KBDCTY75.
アイスランド



KBDCTY56.
イタリア語 (142)



KBDCTY28.
日本ASCII



KBDCTY66.
ギリシャ語 (MS)



KBDCTY12.
ヘブライ語



KBDCTY19.
ハンガリー



KBDCTY73.
アイルランド語



KBDCTY5.
イタリア

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY79.
キルギス語 (キリル)



KBDCTY42.
ラトビア



KBDCTY44.
リトアニア



KBDCTY34.
マケドニア



KBDCTY86.
モンゴル語 (キリル)



KBDCTY78.
カザフ語



KBDCTY14.
ラテンアメリカ



KBDCTY43.
ラトビア (QWERTY)



KBDCTY45.
リトアニア (IBM)



KBDCTY74.
マルタ



KBDCTY9.
ノルウェー

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY20.
ポーランド



KBDCTY58.
ポーランド語 (プログラマー)



KBDCTY25.
ルーマニア



KBDCTY67.
ロシア語 (MS)



KBDCTY21.
SCS



KBDCTY36.
セルビア (ラテン)



KBDCTY57.
ポーランド語 (214)



KBDCTY13.
ポルトガル



KBDCTY26.
ロシア



KBDCTY68.
ロシア語 (タイプライター)



KBDCTY37.
セルビア (キリル)

キーボードの言語 (続き)



KBDCTY49.
スロバキア (QWERTY)



KBDCTY31.
スロベニア



KBDCTY51.
スペイン語バリエーション



KBDCTY29.
スイス (フランス語)



KBDCTY85.
タタール語



KBDCTY22.
スロバキア



KBDCTY48.
スロバキア (QWERTZ)



KBDCTY10.
スペイン



KBDCTY23.
スウェーデン



KBDCTY6.
スイス (ドイツ語)



KBDCTY27.
トルコF

キーボードの言語（続き）



KBDCTY24.

トルコQ



KBDCTY7.

イギリス



KBDCTY88.

米国（Dvorak左）



KBDCTY30.

米国（インターナショナル）



KBDCTY76.

ウクライナ語



KBDCTY87.

米国（Dvorak）



KBDCTY89.

米国（Dvorak右）



KBDCTY77.

ウズベク語（キリル）

キーボードスタイル

これはCaps LockやShift Lockなどのキーボードスタイルをプログラムします。キーボード変換設定を使用している場合は、以下のキーボードスタイル設定より優先されます。初期設定は、[標準]です。

[標準]は、Caps Lockキーを通常オフにする場合に使用します。



KBDSTY0.

*標準

[Caps Lock]は、Caps Lockキーを通常オンにする場合に使用します。



KBDSTY1.

Caps Lock

[Shift Lock]は、Shift Lockキーを通常オンにする場合に使用します（USキーボードでは一般的ではありません）。



KBDSTY2.
Shift Lock

[自動Caps Lock]は、Caps Lockキーのオン/オフを切り替える場合に使用します。Caps Lockのオンまたはオフの設定がソフトウェアで追跡されて反映されます。この選択項目は、Caps Lockの状態を示すLEDを備えたシステム（ATキーボード）でのみ使用できます。



KBDSTY6.
自動Caps Lock

Caps LockキーでCaps Lockを切り替えることができない国（ドイツ、フランスなど）では、[NumLockによる自動Caps]バーコードをスキャンしてください。このNumLockオプションは通常の自動Capsと同様に機能しますが、NumLockキーを使用するとCaps Lockの現在の状態を取得できます。



KBDSTY7.
NumLockによる自動Caps

[外付けキーボードのエミュレート]は、外付けキーボード（IBM ATまたは同等のもの）がない場合にスキャンしてください。



KBDSTY5.
外付けキーボードのエミュレート

注：[外付けキーボードのエミュレート]バーコードをスキャンした後は、コンピューターの電源を入れ直す必要があります。

キーボード変換

キーボードのアルファベット文字を強制的にすべて大文字またはすべて小文字にすることができます。たとえば、バーコード"abc569GK"は、[すべての文字を大文字に変換]をスキャンすると"ABC569GK"と出力され、[すべての文字を小文字に変換]をスキャンすると"abc569gk"と出力されます。

これらの設定は**キーボードスタイル**の選択項目より優先されます。

注：お使いのインターフェイスがキーボードウェッジの場合は、**自動Caps Lock**（2-15ページ）のメニューコードを最初にスキャンしてください。これを行わないと、出力が期待どおりにならない場合があります。

初期設定は、[キーボード変換オフ]です。



KBDCNV0.
*キーボード変換オフ



KBDCNV1.
すべての文字を大文字に変換



KBDCNV2.
すべての文字を小文字に変換

制御文字の出力

これを選択すると、制御文字の代わりにテキスト文字列が送信されます。たとえば、キャリッジリターンの制御文字が想定されている場合、出力にはASCIIコード0Dの代わりに[CR]と表示されます。[A-3ページのASCII変換表（コードページ1252）](#)を参照してください。00から1Fまでのコードのみが変換されます（表の第1列）。

注：このモードよりControl + X（Control + ASCII）モードが優先されます。初期設定は、オフです。



KBDNPE1.
制御文字の出力オン



KBDNPE0.
*制御文字の出力オフ

キーボード修飾子

CTRL + ASCIIコードやターボモードなどの特殊なキーボード機能を変更します。

Control + X（Control + ASCII）モード オン：スキャン エンジンには値00～1FのASCII制御文字を表すキーの組み合わせを送信します。推奨されるモードはWindowsです。すべてのキーボード言語コードがサポートされます。DOSモードはレガシーモードであり、すべてのキーボード言語コードをサポートしているわけではありません。新しいユーザーはWindowsモードを使用するようにしてください。CTRL + Xの値については、[キーボード機能関係（8-1ページ）](#)を参照してください。

Windowsモード プレフィックス/サフィックス オフ：スキャン エンジンには値00～1FのASCII制御文字を表すキーの組み合わせを送信しますが、プレフィックスやサフィックスの情報は変換しません。

初期設定は、[Control + Xモード オフ]です。



KBDCAS2.
WindowsモードControl + Xモード オン



KBDCAS0.
* Control + Xモード オフ



KBDCAS1.
DOSモードControl + Xモード オン



KBDCAS3.
Windowsモードプレフィックス/
サフィックスオフ

ターボモード：スキャン エンジンには端末に文字を高速送信します。端末で文字が失われる場合は、ターボモードを使用しないでください。

初期設定は、オフです。



KBDTMD1.
ターボモードオン



KBDTMD0.
*ターボモードオフ

テンキーモード：テンキーから入力された場合と同様に数字を送信します。初期設定は、オフです。



KBDNPS1.
テンキーモードオン



KBDNPS0.
*テンキーモードオフ

自動直接接続モード：このモードを選択すると、IBM AT系端末で文字が失われる場合に使用できます。初期設定は、オフです。



KBDADC1.
自動直接接続モードオン



KBDADC0.
*自動直接接続モードオフ

RS232修飾子

RS232ボーレート

データはボーレートで指定された速度でスキャンエンジンから端末に送信されます。ホスト端末はスキャンエンジンと同じボーレートに設定されている必要があります。初期設定値は115,200です。



232BAD0.
300



232BAD1.
600



232BAD2.
1200



RS232ワード長：データビット、ストップビット、およびパリティ

データビットでは、ワード長を1文字あたり7または8データビットに設定します。ASCII 16進文字0から7Fまでの10進数（テキスト、数字、および句読点）のみを必要とするアプリケーションでは、7データビットを選択します。ASCIIのフルセットを必要とするアプリケーションでは、1文字あたり8データビットを選択します。初期設定値は8です。

ストップビットでは、ストップビットを1または2に設定します。初期設定値は1です。

パリティを使用すると、文字のビットパターンが有効かどうかを確認できます。初期設定は、なしです。





232WRD1.

7データ、2ストップ、パリティなし



232WRD5.

8データ、1ストップ、パリティ偶数



232WRD8.

8データ、1ストップ、パリティ奇数



232WRD4.

7データ、2ストップ、パリティ偶数



232WRD7.

7データ、2ストップ、パリティ奇数



232WRD2.

*8データ、1ストップ、パリティなし



232WRD14.

8データ、1ストップ、パリティマーク

RS232レシーバー タイムアウト

ユニットは、RS232レシーバー タイムアウトの時間切れまで、データ受信のために起動状態のままになります。タイムアウトは手動トリガーまたはシリアルトリガーによってリセットされます。RS232レシーバーがスリープ状態のときは、文字を送信することによってレシーバーを復帰させ、タイムアウトをリセットできます。CTSライン上のトランザクションもレシーバーを復帰させます。レシーバーが完全に復帰するには300ミリ秒かかります。RS232レシーバーのタイムアウトを変更するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある数字をスキャンした後で、**【保存】**をスキャンします。この範囲は0~300秒です。**初期設定値は0秒**（タイムアウトなし、常にオン）です。



232LPT.

RS232レシーバー タイムアウト

RS232ハンドシェイク

RS232ハンドシェイクでは、ホスト デバイスからソフトウェア コマンドを使用して、スキャン エンジンからのデータ送信を制御できます。RTS/CTSが**オフ**のときは、データ フロー制御は使用されません。

フロー制御、タイムアウトなし：スキャン エンジン は、データを送信する必要があるときにRTSをアサートし、ホストによってCTSがアサートされるまで無期限に待機します。

2方向フロー制御：スキャン エンジン は、ホストからの送信が可能ときにRTSをアサートします。ホストは、デバイスからの送信が可能ときにCTSをアサートします。

フロー制御、タイムアウトあり：スキャン エンジン は、データを送信する必要があるときにRTSをアサートし、ホストによってCTSがアサートされるまでの遅延時間（2-20ページのRS232タイムアウトを参照してください）のみ待機します。CTSがアサートされずに遅延時間が経過すると、デバイスの送信バッファはクリアされ、スキャンが再開します。

初期設定は、[RTS/CTSオフ]です。



232CTS1.
フロー制御、タイムアウトなし



232CTS3.
フロー制御、タイムアウトあり



232CTS2.
2方向フロー制御



232CTS0.
*RTS/CTSオフ

RS232タイムアウト

[フロー制御、タイムアウトあり]を使用する場合は、ホストからのCTSを待機する遅延時間をプログラムする必要があります。タイムアウトの時間（ミリ秒単位）を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンしてタイムアウト（1～5100ミリ秒）を設定した後で、**[保存]**をスキャンします。



232DEL.
RS232タイムアウト

XON/XOFF

標準のASCII制御文字を使用して、スキャン エンジン にデータ送信の開始（XON/XOFFオン）またはデータ送信の停止（XON/XOFFオフ）を指示できます。ホストがスキャンエンジンにXOFF文字（DC3、16進数の13）を送信すると、データ送信が停止します。送信を再開するには、ホストがXON文字（DC1、16進数の11）を送信します。データ送信は、XOFFの送信によって中断されたところから続行されません。初期設定は、[XON/XOFFオフ]です。



232XON1.
XON/XOFFオン



232XON0.
*XON/XOFFオフ

ACK/NAK

データを送信した後、スキャンエンジンはホストからの応答としてACK文字（16進数の06）またはNAK文字（16進数の15）を待機します。ACKを受信した場合、その通信サイクルは完了し、スキャンエンジンはさらにバーコードを探します。NAKを受信した場合、スキャンエンジンは最後のバーコードデータセットを再送し、ACK/NAKをもう一度待機します。ACK/NAKプロトコルをオンにするには、下記の[ACK/NAKオン]バーコードをスキャンします。プロトコルをオフにするには、[ACK/NAKオフ]をスキャンします。初期設定は、[ACK/NAKオフ]です。



232ACK1.
ACK/NAKオン



232ACK0.
* ACK/NAKオフ

RS232停止モード

エンジンを強制的に停止モードにするには、下記のバーコードをスキャンします。エンジンを再起動するには、トリガーを引くか、nWakeまたはRxDトグルを使用します。



232SDY.
RS232停止モードオン

スキャナーとバイオプティックの通信

以下の設定は、Honeywellスキャンエンジンとバイオプティックスキャナーの間の通信セットアップに使用されます。

注：バイオプティックスキャナーと通信するには、スキャンエンジンのボーレートを38400に設定し、RS232タイムアウトを3000に設定する必要があります。詳しくは、2-17ページのRS232ボーレートおよび2-20ページのRS232タイムアウトを参照してください。

スキャナー-バイオプティック パケットモード

スキャンエンジンのフォーマットをバイオプティックスキャナーと互換性を持つように設定するには、[パケットモードオン]をスキャンする必要があります。初期設定は、[パケットモードオフ]です。



232PKT0.
*パケットモードオフ



232PKT2.
パケットモードオン

スキャナー-バイオプティックACK/NAKモード

各パケットが送信された後にスキャン エンジンがバイオプティック スキャナーからのACKまたはNAKを待機するように設定するには、**[バイオプティックACK/NAKオン]**をスキャンする必要があります。**[スキャナー-バイオプティックACK/NAKタイムアウト]**（下記）は、スキャナーが応答を待機する時間を制御します。

初期設定は、**[バイオプティックACK/NAKオフ]**です。



232NAK0.

*バイオプティックACK/NAKオフ



232NAK1.

バイオプティックACK/NAKオン

スキャナー-バイオプティックACK/NAKタイムアウト

バイオプティック スキャナーのACK/NAK応答のタイムアウトの時間（ミリ秒単位）を設定します。下記のバーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンしてタイムアウト（1～30,000ミリ秒）を設定した後で、**[保存]**をスキャンします。初期設定値は5100です。



232DLK.

ACK/NAKタイムアウト

入出力設定

電源投入ビーブ音

スキャン エンジンは電源投入時にビーブ音を鳴らすようにプログラムできます。電源投入ビーブ音が不要な場合は、**オフ** パーコードをスキャンします。初期設定は、**[電源投入ビーブ音オン：スキャナー]**です。



BEPPWR0.
電源投入ビーブ音オフ：
スキャナー



BEPPWR1.
*電源投入ビーブ音オン：
スキャナー

BEL文字でのビーブ音

ホストから送信されたコマンドで強制的にスキャンエンジンのビーブ音を鳴らすこともできます。下記の**[BELでのビーブ音オン]**パーコードをスキャンすると、スキャンエンジンはホストからBEL文字を受信するたびにビーブ音を鳴らします。初期設定は、**[BELでのビーブ音オフ]**です。



BELBEP0.
*BELでのビーブ音オフ



BELBEP1.
BELでのビーブ音オン

トリガー クリック音

スキャナーのトリガーを押すたびにクリック音を鳴らすには、下記の**[トリガー クリック音オン]**パーコードをスキャンします。クリック音が不要な場合は、**[トリガー クリック音オフ]**パーコードをスキャンします（この機能は、シリアル トリガーまたは自動トリガーには影響しません）。初期設定は、**[トリガー クリック音オフ]**です。



BEPTRG0.
*トリガー クリック音オフ



BEPTRG1.
トリガー クリック音オン

読み取り成功およびエラーのインジケータ

ビープ音：読み取り成功

読み取りが成功したときのビープ音をオンまたはオフにプログラムできます。このオプションをオフにすると、読み取りが成功したことを示すビープ音のみがオフになります。エラーおよびメニューのビープ音はすべて聞こえます。初期設定は、[ビープ音：読み取り成功オン]です。



BEPBEP0.
ビープ音：読み取り成功オフ



BEPBEP1.
*ビープ音：読み取り成功オン

ビープ音量：読み取り成功

ビープ音量のコードは、読み取りが成功したときにスキャンエンジンが鳴らすビープ音の音量を変更します。初期設定は、大です。



BEPLVL1.
小



BEPLVL2.
中



BEPLVL3.
*大



BEPLVL0.
オフ

ビープ音程：読み取り成功

ビープ音程のコードは、読み取りが成功したときにスキャンエンジンが鳴らすビープ音の音程（周波数）を変更します。初期設定は、中です。



BEPFQ11600.
低 (1600 Hz)



BEPFQ12700.
*中 (2700 Hz)



BEPFQ14200.
高 (4200 Hz)

ビープ音程：エラー

ビープ音程のコードは、異常な読み取りまたはエラーが発生したときにスキャン エンジンが鳴らす音の音程（周波数）を変更します。初期設定は、Razzです。



BEPFQ2250.
* Razz (250 Hz)



BEPFQ23250.
中 (3250 Hz)



BEPFQ24200.
高 (4200 Hz)

ビープ音の長さ：読み取り成功

ビープ音の長さのコードは、読み取りが成功したときにスキャン エンジンが鳴らすビープ音の長さを変更します。初期設定は、標準です。



BEPBIP0.
* 標準のビープ音



BEPBIP1.
短いビープ音

LED：読み取り成功

読み取りが成功したときのLEDインジケータをオンまたはオフにプログラムできます。初期設定は、オンです。



BEPLED1.
* LED：読み取り成功オン



BEPLED0.
LED：読み取り成功オフ

ビープ音の回数：読み取り成功

読み取りが成功したときのビープ音の回数を1～9にプログラムできます。この回数は、読み取りが成功したときのビープ音およびLEDに適用されます。たとえば、このオプションでビープ音を5回にプログラムすると、読み取りが成功したときにビープ音が5回鳴り、LEDが5回点滅します。ビープ音とLEDの点滅は互いに同期しています。ビープ音の回数を変更するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある **プログラミングチャート** の数字（1～9）バーコードをスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。**初期設定値は1です。**



BEPRPT.

読み取り成功のビープ音/LED点滅の回数

ビープ音の回数：エラー

異常な読み取りまたはエラーの場合にスキャンエンジンが発するビープ音およびLED点滅の回数を1～9にプログラムできます。たとえば、このオプションでエラービープ音を5回にプログラムすると、エラーが発生したときにエラービープ音が5回鳴り、LEDが5回点滅します。エラービープ音の回数を変更するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある **プログラミングチャート** の数字（1～9）バーコードをスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。**初期設定値は1です。**



BEPERR.

エラービープ音/LED点滅の回数

読み取り成功遅延

スキャンエンジンで次のバーコードが読み取り可能になるまでの最短時間を設定します。**初期設定値は0ミリ秒（遅延なし）です。**



DLYGRD0.

*遅延なし



DLYGRD500.

短い遅延（500ミリ秒）



DLYGRD1000.

中程度の遅延（1,000ミリ秒）



DLYGRD1500.

長い遅延（1,500ミリ秒）

ユーザー指定の読み取り成功遅延

ユーザー独自の読み取り成功遅延を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンして遅延（0～30,000ミリ秒）を設定した後で、**[保存]**をスキャンします。



DLYGRD.

ユーザー指定の読み取り成功遅延

手動トリガー モード

手動トリガーモードでは、バーコードを読み取るかトリガーを離すまで、スキャナーはスキャンを続けます。**標準モード**と**拡張モード**の2つのモードを使用できます。標準モードでは、適切なスキャン速度および最長の動作範囲（フィールドの奥行き）が得られます。拡張モードでは、可能な限り高いスキャン速度が得られますが、動作範囲は標準モードよりわずかに短くなります。拡張モードは、非常に高速のスキャンを必要とするが長い動作範囲は必要としない場合に適しています。**初期設定は、[手動トリガー：標準]です。**



PAPHHF.
*手動トリガー：標準



PAPHHS.
手動トリガー：拡張

LED照明：手動トリガー

照明LEDの明るさを設定するには、以下のバーコードをスキャンします。これにより、トリガーを押したときのスキャンエンジンのLED照明が設定されます。**初期設定は、高です。**

注：LEDはカメラのフラッシュに似ています。スキャンエンジンでバーコードを読み取るには、部屋の周辺光が弱いほど、LEDの輝度を上げる必要があります。



PWRNOLD.
オフ



PWRNOL100.
低



PWRNOL120.
中



PWRNOL150.
*高

文字有効化モード

ホストから送信される文字によってスキャン エンジンをトリガーして、スキャンを開始できます。有効化文字を受信すると、[文字有効化タイムアウト](#) (3-7ページ) になるか、無効化文字を受信するか (3-7ページの[無効化文字](#)を参照してください)、バーコードを送信するまで、スキャンエンジンはスキャンを継続します。文字有効化を使用するには、以下の[オン]バーコードをスキャンしてから、有効化文字 (下記) を使用して、スキャン開始のためにホストから送信する文字を選択します。**初期設定は、オフです。**



有効化文字

文字有効化モードの使用時にスキャン開始のために使用する文字を設定します。[A-3ページのASCII変換表 \(コードページ1252\)](#) で、スキャン開始のために使用する文字を表す16進値を見つけます。以下のバーコードをスキャンしてから、そのASCII文字を表す英数字の組み合わせを[プログラミングチャート](#)で読み取ります。[保存]をスキャンして終了します。**初期設定は、12 (DC2) です。**



読み取り成功後に文字有効化を終了

スキャン エンジンでバーコードの検出および読み取りに成功した後、照射をオンのままにしてスキャンを継続するか、照射をオフにするかをプログラムできます。[読み取り成功後に文字有効化を終了]を有効にすると、読み取り成功後に照射はオフになりスキャンが停止します。[読み取り成功後に文字有効化を終了しない]をスキャンすると、読み取り成功後も照射はオン状態のままになります。**初期設定は、[読み取り成功後に文字有効化を終了しない]です。**



文字有効化タイムアウト

文字有効化モードの使用時に照射をオンのままにしてバーコードのデコードを試行する時間を表す、タイムアウトを設定できます。タイムアウトの時間（ミリ秒単位）を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)の数字をスキャンしてタイムアウト（1～300,000ミリ秒）を設定した後で、**[保存]**をスキャンします。**初期設定値は30,000ミリ秒**です。



HSTCDT.

文字有効化タイムアウト

文字無効化モード

ホストから文字を送信することによってスキャン エンジンをトリガーしてスキャンを開始した場合は、無効化文字を送信してスキャンを停止することもできます。文字無効化を使用するには、以下の**[オン]**バーコードをスキャンしてから、無効化文字（下記）を使用して、スキャン終了のためにホストから送信する文字を選択します。**初期設定は、オフ**です。



HSTDEN0.

*オフ



HSTDEN1.

オン

無効化文字

文字無効化モードの使用時にスキャン終了のために使用する文字を設定します。[A-3ページのASCII変換表](#)（コードページ1252）で、スキャン終了のために使用する文字を表す16進値を見つけます。以下のバーコードをスキャンしてから、そのASCII文字を表す英数字の組み合わせを、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で読み取ります。**[保存]**をスキャンして終了します。**初期設定は、14（DC4）**です。



HSTDCH.

無効化文字

シリアルトリガー モード

トリガーを押すか、シリアルトリガー コマンド（[9-3ページのトリガー コマンド](#)を参照してください）を使用することで、スキャン エンジンを有効化できます。シリアルモードでは、バーコードを読み取るか無効化コマンドが送信されるまで、スキャン エンジンはスキャンを続けます。指定の時間が経過したら自動的にオフになるようにスキャン エンジンを設定することもできます（次の[読み取りタイムアウト](#)を参照してください）。

読み取りタイムアウト

シリアルコマンドを使用してスキャン エンジンをトリガーする場合に、この選択項目を使用してスキャン エンジンのトリガーのタイムアウト（ミリ秒単位）を設定します。スキャン エンジンがタイムアウトになった場合は、トリガーを押すか、シリアルトリガー コマンドを使用することでスキャン エンジンを有効化できます。**[読み取りタイムアウト]**バーコードをスキャンした後、裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)の数字をスキャンしてタイムアウト時間（0～300,000ミリ秒）を設定し、**[保存]**をスキャンします。**初期設定値は30,000ミリ秒**です。



TRGSTO.

読み取りタイムアウト

携帯電話読み取りモード

このモードを選択すると、携帯電話などのLEDディスプレイからバーコードを読み取るためにスキャン エンジンが最適化されます。ただし、このモードを有効にすると、印刷されたバーコードの読み取り速度が若干遅くなる可能性があります。ハンドヘルド デバイスまたはハンズフリー（プレゼンテーション）アプリケーションのどちらかで携帯電話読み取りを有効にできます。



PAPHHC.

ハンドヘルド スキャン：
携帯電話



PAPSPC.

ストリーミング
プレゼンテーション：携帯電話

注：携帯電話読み取りモードをオフにするには、手動トリガー モードまたはシリアル トリガー モードのバーコードをスキャンします（3-5 ページを参照してください）。

プレゼンテーション モード

プレゼンテーションモードでは、周辺光およびスキャンエンジンの照明を使用してバーコードを検出します。プレゼンテーションモードでは、バーコードがスキャンエンジンに提示されるまでLEDは減光されています。提示されると照準が点灯し、LEDが明るくなってコードを読み取ります。室内が十分明るくないと、プレゼンテーションモードが正しく機能しない場合があります。

スキャンエンジンをプレゼンテーションモードにプログラムするには、以下のバーコードをスキャンします。



TRGMOD3.

プレゼンテーションモード

LED照明：プレゼンテーションモード

照明LEDの明るさを設定するには、以下のバーコードをスキャンします。これによって、スキャナーがプレゼンテーションモードのときのLED照明が設定されます（スキャナーが手動でトリガーされた場合、LED照明は手動トリガー用の設定に切り替わります。3-5ページの「LED照明：手動トリガー」を参照してください）。初期設定は、高です。

注：LEDはカメラのフラッシュに似ています。スキャナーでバーコードを読み取るには、部屋の周辺光が弱いほど、LEDの輝度を上げる必要があります。



PWRLDC0.

オフ



PWRLDC100.

低



PWRLDC150.

* 高

注：LED照明：プレゼンテーションモードはCodeGate®または携帯電話読み取りモードには適用されません。

デコード後のプレゼンテーションLEDの動作

スキャン エンジンがプレゼンテーション モードのときは、バーコードがデコードされてから30秒後にLEDが暗くなります。バーコードがデコードされた直後にLEDを暗くしたい場合は、下記の[LED消灯]バーコードをスキャンします。初期設定は、[LED点灯]です。



プレゼンテーション感度

プレゼンテーション感度は、提示されたバーコードに対するスキャン エンジンの反応時間を増減する数値範囲です。感度を設定するには、[感度]バーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンして感度 (0~20) を設定した後で、[保存]をスキャンします。0は最も感度が高い設定で、20は最も感度が低い設定です。初期設定値は1です。



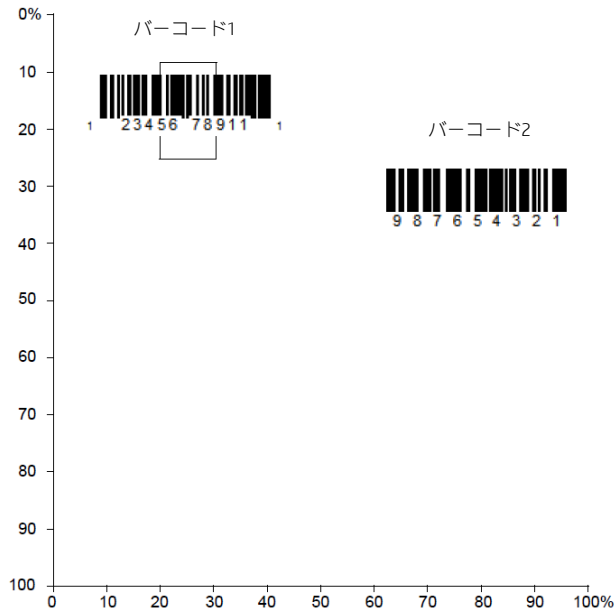
プレゼンテーションセンタリング

スキャナーをスタンドに装着したときに、ユーザーの意図するバーコードだけが読み取られるようにスキャナーの読み取りエリアを狭めるには、プレゼンテーション センタリングを使用します。たとえば、複数のコードが互いに近接している場合に、プレゼンテーション センタリングを使用することで、目的のコードだけが読み取られるようになります。

注：スキャナーをハンドヘルドで使用する場合のセンタリングの調整については、[3-15ページのセンタリング](#)を参照してください。

事前定義されたウィンドウにバーコードが重ならなければ、スキャナーでデコードも出力もされません。[プレゼンテーション センタリングオン]をスキャンしてプレゼンテーションセンタリングをオンにした場合、[プレゼンテーション センタリングウィンドウ上辺]、[プレゼンテーション センタリングウィンドウ下辺]、[プレゼンテーション センタリングウィンドウ左辺]、および[プレゼンテーション センタリングウィンドウ右辺]バーコードで指定したセンタリングウィンドウに重なるコードのみがスキャナーで読み取られます。

下の例では、白いボックスがセンタリングウィンドウです。センタリングウィンドウは左辺20%、右辺30%、上辺8%、および下辺25%に設定されています。バーコード1はセンタリングウィンドウに重なるため、バーコードが読み取られます。バーコード2はセンタリングウィンドウに重ならないため、読み取られません。



注：バーコードはセンタリング ウィンドウに重なると読み取られます。バーコードがセンタリング ウィンドウを完全に通過する必要はありません。

センタリング ウィンドウの上辺、下辺、左辺、または右辺を変更するには、[プレゼンテーション センタリング オン]をスキャンしてから、以下のバーコードをスキャンします。次に、このガイドの裏表紙内側にある数字を使用して、センタリング ウィンドウの位置を変更する割合をスキャンします。[保存]をスキャンします。プレゼンテーションセンタリングの初期設定は、上辺および左辺が40%、下辺および右辺が60%です。


PDCWIN1.
プレゼンテーションセンタリング オン


PDCWIND.
*プレゼンテーション
センタリング オフ


PDCTOP.
プレゼンテーション
センタリング ウィンドウ上辺


PDCBOT.
プレゼンテーション センタリング
ウィンドウ下辺


PDCLFT.
プレゼンテーション
センタリング ウィンドウ左辺


PDCRGT.
プレゼンテーション センタリング
ウィンドウ右辺

CodeGate®

CodeGateが**オン**の場合、デコードされたデータをホスト システムに送信するためにトリガーを使用します。スキャナーはオン状態のままでもバーコードのスキャンおよびデコードを継続しますが、トリガーが押されるまでバーコード データは送信されません。CodeGateが**オフ**の場合、バーコード データはデコードされたときに送信されます。初期設定は、**[スタンド非装着時CodeGateオフ]**です。



AOSCGD0.
* スタンド非装着時
CodeGateオフ



AOSCGD1.
スタンド非装着時
CodeGateオン

ストリーミング プレゼンテーション™モード

ストリーミング プレゼンテーション モードでは、スキャン エンジンの照準は短時間で消えますが、連続してバーコードを検索するために、スキャン照明は常にオンのままになります。標準モードと拡張モードの2つのモードを使用できます。標準モードでは、適切なスキャン速度および最長の動作範囲（フィールドの奥行き）が得られます。拡張モードでは、可能な限り高いスキャン速度が得られますが、動作範囲は標準モードよりわずかに短くなります。拡張モードは、非常に高速のスキャンを必要とするが長い動作範囲は必要としない場合に適しています。



PAPSPN.
ストリーミング
プレゼンテーションモード：標準



PAPSPE.
ストリーミング
プレゼンテーションモード：拡張

[優先読み取りコード](#) (3-17ページ) を使用する場合、ストリーミング プレゼンテーション モードで読み取るには、優先順位の低い読み取りコードを照準パターンの中央に配置する必要があります。

スタンド装着時のストリーミング プレゼンテーションのプログラミング

このオプションは、CodeGate® (3-11ページ) を使用する場合に利用できます。スタンド装着時スキャンに特定のストリーミング プレゼンテーション モード、スタンド非装着時スキャンに手動トリガー モードをプログラムすることができます。これを行うには、まずお好みのストリーミング プレゼンテーション モード（標準、拡張、または携帯電話）をスキャンしてから、使用する手動トリガー モード（標準、拡張、または携帯電話）をスキャンする必要があります。

低品質コード

低品質1Dコード

この設定を使用すると、損傷した線形バーコードおよび印刷状態の悪い線形バーコードを読み取る機能が向上します。【低品質1D読み取りオン】をスキャンすると、低品質の線形バーコードの読み取りが向上しますが、スキャナーの機敏性が低下するため、高品質のバーコードを読み取る際の生産性が低くなります。この設定は、2Dバーコードの読み取りには影響しません。初期設定は、【低品質1D読み取りオフ】です。



DECLD11.
低品質1D読み取りオン



DECLD10.
* 低品質1D読み取りオフ

低品質PDFコード

この設定を使用すると、複数の画像の情報を組み合わせることにより、損傷したPDFバーコードおよび印刷状態の悪いPDFバーコードを読み取る機能が向上します。【低品質PDF読み取りオン】をスキャンすると、低品質のPDFコードの読み取りが向上しますが、スキャナーの機敏性が低下するため、高品質のバーコードを読み取る際の生産性が低くなります。この設定は、1Dバーコードの読み取りには影響しません。初期設定は、【低品質PDF読み取りオフ】です。



PDFXPR1.
低品質PDF読み取りオン



PDFXPR0.
* 低品質PDF読み取りオフ

ハンズフリー タイムアウト

スキャンスタンドモードおよびプレゼンテーションモードは、「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリーモードの使用中にスキャナーのトリガーを引くと、スキャナーは手動トリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、スキャナーの手動トリガーモードの継続時間を設定できます。タイムアウトの値に達すると、(その間にトリガーが引かれていなければ) スキャナーは元のハンズフリーモードに戻ります。

[ハンズフリータイムアウト]バーコードをスキャンした後、裏表紙内側にある数字をスキャンしてタイムアウト時間 (0~300,000ミリ秒) を設定し、[保存]をスキャンします。初期設定値は5,000ミリ秒です。



TRGPTO.
ハンズフリータイムアウト

再読み取り遅延

スキャンエンジンが同じバーコードを再度読み取れるようになるまでの時間を設定します。再読み取り遅延を設定することで、同じバーコードを誤って再度読み取ることを防止できます。遅延を長くするほど、誤った再読み取りを最小限に抑えられます。バーコードを繰り返しスキャンする必要のある使用方法では、短い遅延を使用してください。再読み取り遅延はプレゼンテーションモード (3-8ページを参照してください) でのみ機能します。初期設定は、中です。



DLYRRD500.
短 (500ミリ秒)



DLYRRD1000.
長 (1000ミリ秒)



DLYRRD750.
*中 (750ミリ秒)



DLYRRD2000.
極長 (2000ミリ秒)

ユーザー指定の再読み取り遅延

ユーザー独自の再読み取り遅延を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンして遅延 (0~30,000ミリ秒) を設定した後で、[保存]をスキャンします。



DLYRRD.
ユーザー指定の再読み取り遅延

2D再読み取り遅延

2Dバーコードの読み取りには他のバーコードより時間がかかることがあります。2Dバーコード用に別の再読み取り遅延を設定するには、以下のプログラミングコードをスキャンします。[2D再読み取り遅延オフ]は、再読み取り遅延に設定した時間を1Dバーコードと2Dバーコードの両方に使用することを示します。初期設定は、[2D再読み取り遅延オフ]です。



DLY2RR0.
* 2D再読み取り遅延オフ



DLY2RR2000.
中 (2000ミリ秒)



DLY2RR4000.
極長 (4000ミリ秒)



DLY2RR1000.
短 (1000ミリ秒)



DLY2RR3000.
長 (3000ミリ秒)

照明光

バーコードの読み取り中に照明光を点灯させるには、下記の[ライトオン]バーコードをスキャンします。消灯させるには、[ライトオフ]バーコードをスキャンします。初期設定は、[ライトオン]です。

注：この設定は、照準光には影響しません。照準光は照準モード (3-15ページ) を使用して設定できます。



SCNLED1.
* ライトオン



SCNLED0.
ライトオフ

照準遅延

照準遅延を使用すると、画像を取り込む前にオペレーターがスキャン エンジンの照準を合わせるための遅延時間を設定できます。トリガーを引いてから画像が取り込まれるまでの時間を設定するには、以下のコードを使用します。遅延時間の間は、照準光が照射されますが、遅延時間が経過するまでLEDは点灯しません。**初期設定は、オフです。**



ユーザー指定の照準遅延

ユーザー独自の遅延時間を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある [プログラミングチャート](#)の数字をスキャンしてタイムアウト (0~4,000ミリ秒) を設定した後で、**[保存]**をスキャンします。



照準モード

この機能を使用すると、照準のオン/オフを切り替えることができます。[インターレース]バーコードをスキャンすると、照準と照明LEDが組み合わさります。**初期設定は、[インターレース]です。**

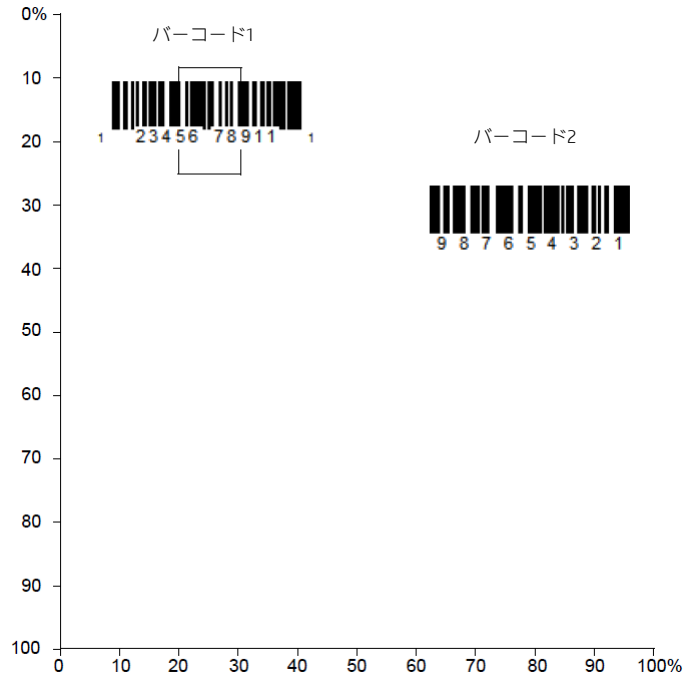


センタリング

スキャナーをハンドヘルドで使用するとき、ユーザーの意図するバーコードだけが読み取られるようにスキャン エンジンの読み取りエリアを狭めるには、センタリングを使用します。たとえば、複数のコードが互いに近接している場合に、センタリングを使用することで、目的のコードだけが読み取られるようになります (センタリングは、複数のコードが互いに接近して配置されている場合でもできるだけエラーなく動作するように、[照準遅延](#) (3-15ページ) と組み合わせて使用できます。照準遅延機能およびセンタリング機能を使用すると、スキャナーでリニアレーザーバーコードスキャナーなどの古いシステムの動作をエミュレートできます)。

事前定義されたウィンドウにバーコードが重ならなければ、スキャンエンジンでデコードも出力もされません。**[センタリングオン]**をスキャンしてセンタリングをオンにした場合、**[センタリング ウィンドウ上辺]**および**[センタリング ウィンドウ下辺]**バーコードで指定したセンタリングウィンドウに重なるコードだけがスキャンエンジンで読み取られます。

下の例では、白いボックスがセンタリングウィンドウです。センタリングウィンドウは、上辺8%および下辺25%に設定されています。バーコード1はセンタリングウィンドウに重なるため、バーコードが読み取られます。バーコード2はセンタリングウィンドウに重ならないため、読み取られません。



バーコードはセンタリングウィンドウに重なると読み取られます。バーコードがセンタリングウィンドウを完全に通過する必要はありません。

センタリングウィンドウの上辺および下辺を変更するには、[センタリング オン]をスキャンしてから、以下のバーコードをスキャンします。次に、このガイドの裏表紙内側にある数字を使用して、センタリングウィンドウの位置を変更する割合をスキャンします。[保存]をスキャンします。センタリングの初期設定は、上辺が40%、下辺が60%です。



優先読み取りコード

両方のバーコード読み取りコードが同じラベルに表示されていても、優先順位の低い読み取りコードを無効にすることができない場合は、1つの読み取りコードを他の読み取りコードよりも高い優先順位として指定するようにスキャンエンジンをプログラムできます。

たとえば、UPC読み取りコードを読み取るために小売設定でスキャナーを使用していても、運転免許証上のコード読み取りが必要になる場合があります。一部の免許証にはCode 39読み取りコードとPDF417読み取りコードがあるため、[優先読み取りコード]を使用して、Code 39ではなくPDF417読み取りコードを読み取るように指定できます。

[優先読み取りコード]では、各読み取りコードが**高優先度**、**低優先度**、または**未指定タイプ**に分類されます。低優先度の読み取りコードが提示された場合、スキャナーが高優先度の読み取りコードを検索している間、低優先度の読み取りコードは一定時間（3-18ページの**優先読み取りコードのタイムアウト**を参照してください）無視されます。この期間中に高優先度の読み取りコードが検出された場合は、そのデータがすぐに読み取られます。

高優先度の読み取りコードが読み取られる前にタイムアウト時間になった場合、スキャナーはその読み取りエリア（低優先度または未指定）で任意のバーコードを読み取ります。タイムアウト時間が終了した後にスキャナーの読み取りエリアにバーコードがない場合、データはレポートされません。

注：低優先度の読み取りコードは、読み取られる照準パターンの中央に配置する必要があります。

[優先読み取りコード]を有効または無効にするには、下記のバーコードをスキャンします。初期設定は、[優先読み取りコード オフ]です。



PRFENA1.
優先読み取りコード オン



PRFENA0.
*優先読み取りコード オフ

高優先度の読み取りコード

高優先度の読み取りコードを指定するには、下記の[高優先度の読み取りコード]バーコードをスキャンします。A-1ページの**読み取りコード表**で、高優先度として設定する読み取りコードを見つけます。その読み取りコードの16進値を確認し、裏表紙内側にあるプログラミングチャートで、2桁の16進値をスキャンします。[保存]をスキャンして選択項目を保存します。初期設定は、なしです。



PRFCOD.
高優先度の読み取りコード

低優先度の読み取りコード

低優先度の読み取りコードを指定するには、下記の[低優先度の読み取りコード]バーコードをスキャンします。A-1ページの**読み取りコード表**で、低優先度として設定する読み取りコードを見つけます。その読み取りコードの16進値を確認し、裏表紙内側にあるプログラミングチャートで、2桁の16進値をスキャンします。

追加の低優先度の読み取りコードを設定する場合は、FFをスキャンしてから、次の読み取りコードについてプログラミングチャートから2桁の16進値をスキャンします。最大5つの低優先度の読み取りコードをプログラムできます。[保存]をスキャンして選択項目を保存します。初期設定は、なしです。



PRFBLK.
低優先度の読み取りコード

優先読み取りコードタイムアウト

[優先読み取りコード]を有効にし、高優先度の読み取りコードおよび低優先度の読み取りコードを入力したら、タイムアウト時間を設定する必要があります。これは、低優先度のバーコードが検出された後にスキャン エンジンが高優先度のバーコードを検索する時間です。下記のバーコードをスキャンしてから、裏表紙内側にある数字をスキャンして遅延（1～3,000ミリ秒）を設定した後で、**[保存]**をスキャンします。初期設定値は500ミリ秒です。



PRFPTO.

優先読み取りコードタイムアウト

優先読み取りコードの初期設定

すべての優先読み取りコード エントリを初期設定値に設定するには、下記のバーコードをスキャンします。



PRFDFT.

優先読み取りコードの初期設定

出力シーケンスの概要

出力シーケンス エディター

このプログラミング選択では、バーコードがスキャンされる順序に関係なく、アプリケーションが要求する順序でスキャン エンジンがデータを出力するようにプログラムできます（複数の読み取りコードをスキャンする場合）。**[シーケンスを初期化]**読み取りコードを読み取ると、スキャンエンジンは以下に示すユニバーサル値にプログラムされます。これらは初期設定値です。**[シーケンスを初期化]**読み取りコードを読み取る前に、すべてのフォーマットが削除またはクリアされることを確認してください。

注：出力シーケンスエディターを選択するには、アプリケーションに必要なコードID、コード長、およびキャラクタの一致を知っておく必要があります。これらのオプションを読み取るには、裏表紙内側にある英数字の読み取りコードを使用します。シーケンス内の各バーコードを読み取る間は、トリガーを押さえておく必要があります。

出力シーケンスを追加する

1. **[シーケンスを入力]**読み取りコードをスキャンします（**出力シーケンス必須**（3-20ページ）を参照してください）。
2. **コードID**
A-1ページの**読み取りコード表**で、この出力シーケンス フォーマットを適用する読み取りコードを見つけます。その読み取りコードの16進値を確認し、裏表紙内側にあるプログラミング チャートで、2桁の16進値をスキャンします。
3. **長さ**
この読み取りコードで許容されるデータ出力の長さ（最大9999文字）を指定します。プログラミングチャートから4桁のデータ長をスキャンします（注：50文字の場合は0050と入力します。9999は、任意の長さを表す汎用の数値です）。長さを計算するときは、プログラムされたプレフィックス、サフィックス、またはフォーマットされた文字を長さの一部として数える必要があります（9999を使用する場合を除く）。
4. **キャラクタの一致シーケンス**
A-3ページの**ASCII変換表（コードページ1252）**で、一致させる文字を表す16進値を見つけます。プログラミングチャートを使用して、ASCII文字を表す英数字の組み合わせを読み取ります（99は、任意の文字を表す汎用の数値です）。
5. **出力シーケンスエディターの終了**
出力シーケンスに追加の読み取りコードを入力する場合は**[FF]**を、入力を保存する場合は**[保存]**をスキャンします。

その他のプログラミング選択項目

- **破棄**
出力シーケンスの変更を保存しないで終了します。

出力シーケンスの例

この例では、Code 93、Code 128、およびCode 39のバーコードをスキャンしていますが、以下に示すように、スキャナーは最初にCode 39、2番目にCode 128、3番目にCode 93を出力します。

注：この例を使用するには、Code 93を有効にする必要があります。



A : Code 39



B : Code 128



C : Code 93

以下のコマンドラインを使用してシーケンス エディターを設定します。

```
SEQBLK62999941FF6A999942FF69999943FF
```

コマンドラインの内訳は以下のとおりです。

SEQBLKシーケンス エディター 起動コマンド

```
62      Code 39のコード識別子
9999    Code 39について一致する必要があるコード長、9999 =任意の長さ
41      Code 39について一致するスタート キャラクタ、41h = 「A」
FF      最初のコードの終端文字列
6A      Code 128のコード識別子
9999    Code 128について一致する必要があるコード長、9999 =任意の長さ
42      Code 128について一致するスタート キャラクタ、42h = 「B」
FF      2番目のコードの終端文字列
69      Code 93のコード識別子
9999    Code 93について一致する必要があるコード長、9999 =任意の長さ
43      Code 93について一致するスタート キャラクタ、43h = 「C」
FF      3番目のコードの終端文字列
```

特定の長さを使用して上記の例をプログラムするには、プログラムされたプレフィックス、サフィックス、またはフォーマットされた文字を長さの一部として数える必要があります。[3-19ページ](#)の例で<CR>サフィックスおよび明示的なコード長を想定する場合は、以下のコマンドラインを使用します。

```
SEQBLK62001241FF6A001342FF69001243FF
```

コマンドラインの内訳は以下のとおりです。

SEQBLKシーケンス エディター 起動コマンド

```
62      Code 39のコード識別子
0012    A : Code 39サンプルの長さ (11) + CRサフィックス (1) = 12
41      Code 39について一致するスタート キャラクタ、41h = 「A」
FF      最初のコードの終端文字列
6A      Code 128のコード識別子
0013    B : Code 128サンプルの長さ (12) + CRサフィックス (1) = 13
42      Code 128について一致するスタート キャラクタ、42h = 「B」
FF      2番目のコードの終端文字列
69      Code 93のコード識別子
0012    C : Code 93サンプルの長さ (11) + CRサフィックス (1) = 12
43      Code 93について一致するスタート キャラクタ、43h = 「C」
FF      3番目のコードの終端文字列
```

出力シーケンス エディター



SEQBLK.
シーケンスを入力



SEQDFT.
シーケンスを初期化

部分シーケンス

すべての出力シーケンス基準が満たされる前に出力シーケンス操作が終了した場合、その時点までに取得されたバーコード データは「部分シーケンス」です。

出力シーケンス操作が完了前に終了したときに部分シーケンスを破棄するには、**[部分シーケンスを破棄]**をスキャンします。部分シーケンスを送信するには、**[部分シーケンスを送信]**をスキャンします（データが一致しなかったシーケンス内のフィールドは、出力ではスキップされます）。



SEQTS1.
部分シーケンスを送信



SEQTS0.
*部分シーケンスを破棄

出力シーケンス必須

出力順序が**[必須]**の場合、すべての出力データが編集された順序に一致する必要があります。そうしないとスキャン エンジン は出力データをホスト デバイスに送信しません。**[オン/必須でない]**の場合、スキャン エンジン は編集された順序に一致するように出力データを取得しようとしますが、それができない場合、スキャン エンジン はすべての出力データをそのままホスト デバイスに送信します。

出力順序が**[オフ]**の場合は、スキャン エンジンによるデコード時にバーコード データがホストに出力されます。**初期設定は、オフ**です。

注：この選択は、**[複数の読み取りコード]**の選択がオンになっているときは利用できません。



SEQ_EN2.
必須



SEQ_EN1.
オン/必須でない



SEQ_EN0.
*オフ

複数の読み取りコード

このプログラミング選択を[オン]にすると、スキャナーのトリガーを1回引くだけで複数の読み取りコードを読み取ることができます。スキャナーを一連の読み取りコードに向けてトリガーを押したままにすると、一意の読み取りコードが1回読み取られ、読み取りごとにピープ音が鳴ります（オンになっている場合）。スキャナーは、トリガーが引かれている限り、新しい読み取りコードを見つけてデコードしようとします。このプログラミング選択を[オフ]にすると、スキャナーは照準LED光の最も近くにある読み取りコードのみを読み取ります。**初期設定は、オフです。**



SHOTGM1.

オン



SHOTGND.

* オフ

No Read

No Read（読み取りなし）を**オン**にすると、スキャンエンジンはコードを読み取れない場合にユーザーに通知します。[EZConfig-Scanning]ツールのスキャンデータウィンドウ（[8-3](#)ページを参照してください）を使用している場合、コードを読み取れないときに[NR]と表示されます。No Readを**オフ**にすると、[NR]は表示されません。**初期設定は、オフです。**



SHWNRD1.

オン



SHWNRD0.

* オフ

[NR]ではなく[Error]（エラー）や[Bad Code]（異常なコード）などの別の表記にしたい場合は、出力メッセージを編集できます（5-1ページ以降の[データフォーマット](#)を参照してください）。No Read読み取りコードの16進数コードは9Cです。

ビデオ反転

ビデオ反転を使用すると、スキャンエンジンは反転したバーコードを読み取ることができます。下記の[ビデオ反転オフ]バーコードは、このようなバーコードの一例です。反転したバーコード**だけ**を読み取るには、[ビデオ反転のみ]をスキャンします。両方のタイプのコードを読み取るには、[ビデオ反転および標準のバーコード]をスキャンします。

注：[ビデオ反転のみ]をスキャンした後は、メニューバーコードを読み取ることができません。メニューバーコードを読み取るには、[ビデオ反転オフ]または[ビデオ反転および標準のバーコード]をスキャンする必要があります。

注：ユニットからダウンロードされる画像は反転されません。これはデコードのみに関する設定です。



VIDREV1.

ビデオ反転のみ



VIDREV2

ビデオ反転および標準の
バーコード



VIDREVO.

* ビデオ反転オフ

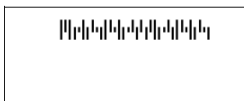
読み取り方向

バーコードには、読み取り方向の影響を受けるものがあります。たとえば、KIXコードやOCRは、横からまたは上下逆さまにスキャンすると誤読が発生する可能性があります。読み取り方向の影響を受けるコードが、スキャナーに対して常に直立で提示されない場合は、読み取り方向を設定します。初期設定は、**[直立]**です。

直立：



上下逆さま：



垂直、先頭上：
(時計方向に90度回転)



垂直、先頭下：
(反時計方向に90度回転)



ROTATN0.

* 直立



ROTATN2.

上下逆さま



ROTATN1.
垂直、先頭上

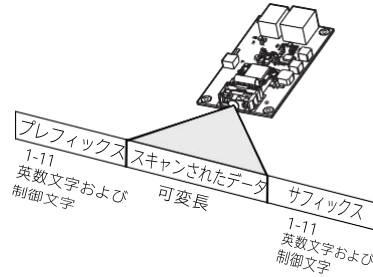


ROTATN3.
垂直、先頭下

プレフィックス/サフィックスの概要

バーコードをスキャンすると、バーコードデータとともに追加情報がホストコンピュータに送信されます。このバーコードデータとユーザー定義の追加データの集まりを「メッセージ文字列」と呼びます。このセクションの選択項目は、ユーザー定義のデータをメッセージ文字列に組み込むために使用します。

プレフィックス文字およびサフィックス文字は、スキャンされたデータの前後に送信できるデータ文字列です。すべての読み取りコードに付加して送信するか、特定の読み取りコードのみに付加して送信するかを指定できます。以下の図は、メッセージ文字列の内訳を示しています。



注意点

- メッセージ文字列の構築は必須ではありません。この章の選択項目は、初期設定を変更したい場合にのみ使用します。**プレフィックスの初期設定は、なしです。サフィックスの初期設定は、なしです。**
- プレフィックスまたはサフィックスの追加または消去は、1つの読み取りコードのみ、またはすべての読み取りコードに対して行うことができます。
- [A-3ページ以降のASCII変換表（コードページ1252）](#) から任意のプレフィックスまたはサフィックスを追加でき、コードIDおよびAIM IDも追加できます。
- 一度に複数の読み取りコードの複数のエントリを1つの文字列にまとめることができます。
- プレフィックスおよびサフィックスは、出力に表示したい順序で入力します。
- 特定の読み取りコード（すべての読み取りコードではなく）を対象にセットアップする場合、その読み取りコードのID値は、追加されたプレフィックス文字またはサフィックス文字として扱われます。
- プレフィックスまたはサフィックスの構成の最大サイズは、ヘッダー情報も含めて200文字です。

プレフィックスまたはサフィックスを追加する方法

手順1. **[プレフィックスの追加]**または**[サフィックスの追加]**読み取りコード ([4-2ページ](#)) をスキャンします。

手順2. プレフィックスまたはサフィックスを適用する読み取りコードの2桁の16進値を、読み取りコード表 (A-1ページ以降の[読み取りコード表](#)) で調べます。たとえば、Code 128の場合、コードIDは「j」、16進数IDは「6A」です。

手順3. このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で、この2桁の16進値をスキャンします。すべての読み取りコードの場合は9、9をスキャンします。

手順4. 入力するプレフィックスまたはサフィックスの16進値を、A-3ページ以降の[ASCII変換表（コードページ1252）](#) で調べます。

注：コードIDを追加するには、**5、C、8、0**をスキャンします。

AIM IDを追加するには、**5、C、8、1**をスキャンします。

バックスラッシュ (\) を追加するには、**5、C、5、C**をスキャンします。

バックスラッシュ (\) を追加するには、5Cを2回スキャンする必要があります。1回目は先行バックスラッシュ、2回目はバックスラッシュ自体を作成するためです。

手順5. このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で、この2桁の16進値をスキャンします。

手順6. すべてのプレフィックス文字またはサフィックス文字について手順4および5を繰り返します。

手順7. 保存して終了するには**[保存]**をスキャンし、保存しないで終了するには**[破棄]**をスキャンします。

別の読み取りコードのプレフィックスまたはサフィックスを追加する場合は、手順1～6を繰り返します。

例：すべての読み取りコードにタブサフィックスを追加する

手順1. [サフィックスの追加]をスキャンします。

手順2. このサフィックスをすべての読み取りコードに適用するために、このガイドの裏表紙内側にある **プログラミングチャート** で9、9をスキャンします。

手順3. このガイドの裏表紙内側にある **プログラミングチャート** で、0、9をスキャンします。A-3ページ以降の **ASCII変換表（コードページ1252）** に示されているとおり、これは水平タブの16進値に一致します。

[保存]をスキャンします。または、保存しないで終了する場合は[破棄]をスキャンします。

1つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスを消去するには

読み取りコードのプレフィックスまたはサフィックスを1つ消去することも、すべて消去することもできます。個々の読み取りコードにプレフィックスおよびサフィックスを入力した場合、[1つのプレフィックス（サフィックス）を消去]を使用すると、読み取りコードから特定の文字を削除できます。[すべてのプレフィックス（サフィックス）を消去]を使用すると、読み取りコードのプレフィックスまたはサフィックスがすべて削除されます。

手順1. [1つのプレフィックスを消去]または[1つのサフィックスを消去]読み取りコードをスキャンします。

手順2. プレフィックスまたはサフィックスを消去する読み取りコードの2桁の16進値を、読み取りコード表（A-1ページ以降の **読み取りコード表**）で調べます。

手順3. このガイドの裏表紙内側にある **プログラミングチャート** で、この2桁の16進値をスキャンします。すべての読み取りコードの場合は9、9をスキャンします。

変更内容は自動的に保存されます。

すべての読み取りコードにキャリッジリターンサフィックスを追加するには

すべての読み取りコードに、一括でキャリッジリターンサフィックスを追加するには、以下のバーコードをスキャンします。この操作では、まず現在のサフィックスがすべて消去され、次にすべての読み取りコードに対してキャリッジリターンサフィックスがプログラムされます。



VSUF CR.

すべての読み取りコードに
CRサフィックスを追加

プレフィックスの選択項目



PREBK2.
プレフィックスの追加



PRECA2.
すべてのプレフィックスを消去



PRECL2.
1つのプレフィックスを消去

サフィックスの選択項目



SUFBK2.
サフィックスの追加



SUFCL2.
1つのサフィックスを消去



SUFCA2.
すべてのサフィックスを消去

ファンクションコードの送信

この選択が有効になっているときに、スキャンしたデータ内にファンクションコードが含まれていた場合、スキャンエンジンから端末にファンクションコードが送信されます。これらのファンクションコードの表は、[8-3ページ以降のサポートされるインターフェイスキー](#)に記載されています。スキャナーがキーボードウェッジモードの場合は、スキャンコードは送信前にキーコードに変換されます。初期設定は、**[有効]**です。



RMVFNC0.
*有効



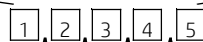
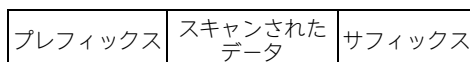
RMVFNC1.
無効

文字間、ファンクション間、およびメッセージ間の遅延

端末によっては、データの着信が速すぎると情報（文字）が失われることがあります。文字間、ファンクション間、およびメッセージ間の遅延を使用すると、データの送信速度を下げてデータの整合性を高めることができます。

文字間遅延

スキャンされたデータを送信するときに、各文字の間に最大5000ミリ秒（5ミリ秒刻み）の文字間遅延を挿入できます。下記の**[文字間遅延]**バーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で5ミリ秒の遅延の回数をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。



文字間遅延



DLYCHR.
文字間遅延

この遅延を削除するには、**[文字間遅延]**バーコードをスキャンしてから、遅延の回数を0に設定します。このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で**[保存]**バーコードをスキャンします。

注：文字間遅延はUSBシリアルエミュレーションではサポートされません。

ユーザー指定の文字間遅延

スキャンされたデータを送信するときに、特定の文字の後に最大5000ミリ秒（5ミリ秒刻み）の文字間遅延を挿入できます。下記の[遅延時間]バーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで5ミリ秒の遅延の回数をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。

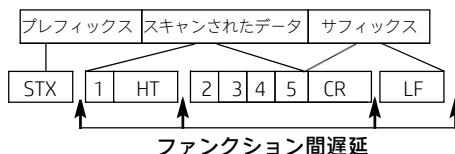
次に、[遅延を発生させる文字]バーコードをスキャンしてから、遅延を発生させるASCII文字を表す2桁の16進値をスキャンします（A-3ページ以降のASCII変換表（コードページ1252）を参照してください）。



この遅延を削除するには、[遅延時間]バーコードをスキャンしてから、遅延の回数を0に設定します。このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで[保存]バーコードをスキャンします。

ファンクション間遅延

メッセージ文字列を送信するときに、各制御文字の間に最大5000ミリ秒（5ミリ秒刻み）のファンクション間遅延を挿入できます。下記の[ファンクション間遅延]バーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで5ミリ秒の遅延の回数をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。



この遅延を削除するには、[ファンクション間遅延]バーコードをスキャンしてから、遅延の回数を0に設定します。このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで[保存]バーコードをスキャンします。

メッセージ間遅延

各スキャン送信の間に最大5000ミリ秒（5ミリ秒刻み）のメッセージ間遅延を挿入できます。下記の[メッセージ間遅延]バーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで5ミリ秒の遅延の回数をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。



この遅延を削除するには、[メッセージ間遅延]バーコードをスキャンしてから、遅延の回数を0に設定します。このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで[保存]バーコードをスキャンします。

データフォーマット

データフォーマットエディターの概要

データフォーマットエディターを使用してスキャンエンジンの出力を変更できます。たとえば、データフォーマットエディターを使用すると、バーコードデータのスキャン時にデータ中の特定位置に文字を挿入できます。以下のページの選択項目は、出力を変更したい場合にのみ使用します。データフォーマットの初期設定は、なしです。

通常、バーコードをスキャンするとデータは自動的に出力されます。ただし、フォーマットを作成する場合は、フォーマットプログラム内で「送信」コマンド（5-3ページの送信コマンドを参照してください）を使用してデータを出力する必要があります。

スキャンエンジンには複数のフォーマットをプログラムできます。それらは入力された順にスタックされます。ただし、フォーマットが適用される順序は以下のとおりです。

1. 特定の端末ID、実際のコードID、実際の長さ
2. 特定の端末ID、実際のコードID、汎用の長さ
3. 特定の端末ID、汎用のコードID、実際の長さ
4. 特定の端末ID、汎用のコードID、汎用の長さ
5. 汎用の端末ID、実際のコードID、実際の長さ
6. 汎用の端末ID、実際のコードID、汎用の長さ
7. 汎用の端末ID、汎用のコードID、実際の長さ
8. 汎用の端末ID、汎用のコードID、汎用の長さ

データフォーマットの構成の最大サイズは、ヘッダー情報も含めて2000バイトです。

バーコードが読み取られ、最初のデータフォーマットで失敗した場合、次のデータフォーマットがあれば、それがバーコードデータに使用されます。他にデータフォーマットがない場合は、未処理のデータが出力されます。

データフォーマットの設定を変更した場合、すべてのフォーマットを消去して工場出荷時の設定に戻すには、下記の[初期設定のデータフォーマット]をスキャンします。



DF MDF3.

* 初期設定のデータフォーマット

データフォーマットの追加

手順1. [データフォーマットの入力]読み取りコード（5-2ページ）をスキャンします。

手順2. メインのフォーマット/代替のフォーマットの選択

これをメインのデータフォーマットにするか、3つの代替フォーマットの1つにするかを決定します。合計4つの異なるデータフォーマットを保存できます。メインのフォーマットをプログラムする場合は、このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで0をスキャンします。代替フォーマットをプログラムする場合は、プログラムする代替フォーマットに応じて1、2、または3をスキャンします（詳しくは、5-13ページの「メインのフォーマット/代替のフォーマット」を参照してください）。

手順3. 端末の種類

端末ID表（5-3ページ）を参照し、お使いのPCの端末ID番号を確認します。裏表紙内側にある数字バーコードを3つスキャンして、スキャンエンジンに端末IDをプログラムします（3桁入力する必要があります）。たとえば、ATウェッジの場合は003をスキャンします。

注：099はすべての端末種類を示します。

手順4. コードID

A-1ページ以降の読み取りコード表で、このデータフォーマットを適用する読み取りコードを見つけます。その読み取りコードの16進値を確認し、このガイドの裏表紙内側にあるプログラミングチャートで、2桁の16進値をスキャンします。

特定の読み取りコードを除き、すべての読み取りコードに対してデータフォーマットを作成したい場合は、B8（5-11ページ）を参照してください。

バッチモード数のデータフォーマットを作成する場合は、コードIDとして35を使用します。

注：99はすべての読み取りコードを示します。

手順5.長さ

この読み取りコードで許容されるデータの長さ(最大9999文字)を指定します。このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で、この4桁のデータ長をスキャンします。たとえば、50文字の場合は0050と入力します。

注：9999は任意の長さを示します。

手順6.エディター コマンド

[データフォーマットエディターのコマンド](#) (5-3ページ)を参照してください。入力したいコマンドを表す読み取りコードをスキャンします。各読み取りコードデータフォーマットに94文字の英数字を入力できます。

手順7.データフォーマットを保存するには**[保存]**をスキャンし、変更内容を保存しないで終了するには**[破棄]**をスキャンします。



DFMBK3.
データフォーマットの入力



MNUSAV.
保存



MNUABT.
破棄

その他のプログラミング選択項目

1つのデータフォーマットを消去

1つの読み取りコードのデータフォーマットを1つ削除します。メインのフォーマットを消去する場合は、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で**0**をスキャンします。代替フォーマットを消去する場合は、消去するフォーマットに応じて**1**、**2**、または**3**をスキャンします。削除する特定のデータフォーマットの端末の種類、コードID (A-1ページの[読み取りコード表](#)を参照してください)、およびバーコードデータ長をスキャンします。その他のフォーマットは影響を受けません。

すべてのデータフォーマットを消去

すべてのデータフォーマットを消去します。

データフォーマットの変更内容を保存して終了するには、**[保存]**をスキャンします。

データフォーマットの変更内容を保存しないで終了するには、**[破棄]**をスキャンします。



DFMCL3.
1つのデータフォーマットを消去



DFMCA3.
すべてのデータフォーマットを消去



MNUSAV.
保存



MNUABT.
破棄

端末ID表

端末	モデル	端末ID
USB	PCキーボード (HID)	124
	Macキーボード	125
	PCキーボード (日本語)	134
	シリアル (COMドライバーが必要)	130
	HID POS	131
	USB SurePOSハンドヘルド	128
	USB SurePOSテーブルトップ	129
シリアル	RS232 TTL	000
	RS232 True	000
	RS485 (IBM-HHBCR 1 + 2、46xx)	051
キーボード	PS2互換	003
	AT互換	002

データフォーマットエディターのコマンド

データフォーマットエディターで作業しているときは、仮想カーソルが入力データ文字列に沿って移動します。以下のコマンドは、このカーソルをさまざまな位置に移動し、データを選択、置換、および最終出力に挿入するために使用します。

送信コマンド

すべての文字を送信する

- F1 入力メッセージのうち現在のカーソル位置以降にあるすべての文字を出力メッセージに含め、その後に挿入文字を付加します。**構文は、F1xxです。**xxは挿入文字のASCIIコードを表す16進値です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

指定の文字数を送信する

- F2 指定した数の文字を出力メッセージに含め、その後に挿入文字を付加します。入力メッセージのうち現在のカーソル位置以降にある「nn」個の文字または最後の文字までが含まれ、その後に「xx」の文字が付加されます。**構文は、F2nnxxです。**nnは文字数を表す数値(00~99)で、xxは挿入文字のASCIIコードを表す16進値です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

F2の例：指定の文字数を送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

上記のバーコードの先頭から10文字にキャリッジリターンを付加したものを送信します。コマンド文字列：**F2100D**

F2は「指定の文字数を送信する」コマンドです

10は送信する文字数です

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：**1234567890**

F2とF1の例：文字を2行に分割する

上記のバーコードの先頭から10文字にキャリッジリターンを付加し、続いて残りの文字を送信します。

コマンド文字列：**F2100DF10D**

F2は「指定の文字数を送信する」コマンドです

10は1行目として送信する文字数です

0DはCRの16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

1234567890

ABCDEFGHIJ

<CR>

特定の文字までの文字をすべて送信する

- F3 入力メッセージのうち現在のカーソル位置から検索文字「ss」の直前までのすべての文字を出力メッセージに含め、その後に挿入文字を付加します。カーソルは文字「ss」まで前進します。**構文は、F3ssxxです。**ssは検索文字のASCIIコードを表す16進値で、xxは挿入文字のASCIIコードを表す16進値です。

10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

F3の例：特定の文字までの文字をすべて送信する



上記のバーコードのうち「D」の直前までのすべての文字にキャリッジリターンを付加したものを送信します。

コマンド文字列：**F3440D**

F3は「特定の文字までの文字をすべて送信する」コマンドです

44は「D」の16進値です

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

1234567890ABC

<CR>

指定の文字列までの文字をすべて送信する

- B9 入力メッセージのうち現在のカーソル位置から検索文字列「s...s」の直前までのすべての文字を出力メッセージに含めます。カーソルは「s...s」文字列の先頭に移動します。**構文は、B9nnnns...sです。**nnnnは文字列の長さを表し、s...sは一致させる文字列を表します。文字列は、文字列内の文字の16進値で構成されています。10進コード、16進コード、および文字コードについては、[A-3ページ以降のASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

B9の例：定義された文字列までの文字をすべて送信する



上記のバーコードのうち「AB」の直前までのすべての文字を送信します。

コマンド文字列：**B900024142**

B9は「指定の文字列までの文字をすべて送信する」コマンドです

0002は文字列の長さです (2文字)

41はAの16進値です

42はBの16進値です

出力されるデータ：**1234567890**

末尾を除くすべての文字を送信する

- E9 現在のカーソル位置以降にあるすべての文字を、末尾の「nn」個の文字を除いて出力メッセージに含めます。カーソルは、入力メッセージのうち含められた最後の文字を1つ越えた位置に前進します。**構文は、E9nnです。**nnは、送信しないメッセージ末尾の文字数を表す数値 (00~99) です。

文字を複数回挿入する

- F4 現在のカーソル位置は変更しないで、出力メッセージで文字「xx」を「nn」回送信します。構文は、F4xxnnです。xxは挿入文字のASCIIコードを表す16進値で、nnはその送信回数を表す数値（00～99）です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降のASCII変換表（コードページ1252）を参照してください。

E9とF4の例：末尾を除くすべての文字に2つのタブを付加したものを送信する



上記のバーコードから末尾の8文字を除いたすべての文字に、2つのタブを付加して送信します。

コマンド文字列：E908F40902

E9は「末尾を除くすべての文字を送信する」コマンドです

08は無視する末尾の文字数です

F4は「文字を複数回挿入する」コマンドです

09は水平タブの16進値です

02はタブ文字を送信する回数です

出力されるデータ：1234567890AB <tab><tab>

文字列を挿入する

- BA 現在のカーソル位置は変更しないで、出力メッセージに長さ「nn」の文字列「ss」を送信します。構文は、BAnnnns...sです。nnnnは文字列の長さを表し、s...sは文字列を表します。文字列は、文字列内の文字の16進値で構成されています。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降のASCII変換表（コードページ1252）を参照してください。

B9とBAの例：文字列「AB」を探して、2つのアスタリスク（**）を挿入します。



上記のバーコードのうち「AB」の直前までのすべての文字を送信します。その時点で2つのアスタリスクを挿入し、その後にキャリッジリターンを付加して残りのデータを送信します。

コマンド文字列：B900024142BA00022A2AF10D

B9は「指定の文字列までの文字をすべて送信する」コマンドです

0002は文字列の長さです（2文字）

41はAの16進値です

42はBの16進値です

BAは「文字列を挿入する」コマンドです

0002は追加する文字列の長さです（2文字）

2Aはアスタリスク（*）の16進値です

2Aはアスタリスク（*）の16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

1234567890**ABCDEFGHIJ
<CR>

読み取りコード名を挿入する

- B3 カーソルを動かさずに、出力メッセージにバーコードの読み取りコード名を挿入します。Honeywell IDを持つ読み取りコードのみが含まれます（A-1ページの読み取りコード表を参照してください）。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降のASCII変換表（コードページ1252）を参照してください。

バーコードの長さを挿入する

- B4 カーソルを動かさずに、出力メッセージにバーコードの長さを挿入します。長さは数値文字列として表され、先頭のゼロは含まれません。

B3とB4の例：読み取りコード名および長さを挿入する



上記のバーコードのバーコードデータの前に読み取りコード名および長さを送信します。これらの挿入はスペースで区切ります。キャリッジリターンで終わります。

コマンド文字列：B3F42001B4F42001F10D

B3は「読み取りコード名を挿入する」コマンドです

F4は「文字を複数回挿入する」コマンドです

20はスペースの16進値です

01はスペース文字を送信する回数です

B4は「バーコードの長さを挿入する」コマンドです

F4は「文字を複数回挿入する」コマンドです

20はスペースの16進値です

01はスペース文字を送信する回数です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

Code128 20 1234567890ABCDEF GHIJ

<CR>

キー操作を挿入する

- B5 1つのキー操作またはキー操作の組み合わせを挿入します。キー操作はキーボードによって異なります（A-10ページの**キーボードのキーリファレンス**を参照してください）。矢印キーやファンクションキーを含む任意のキーを挿入できます。構文は、B5xxssnnです。xxは押されるキーの数（キーモディファイアを除く）、ssは下の表のキーモディファイア、nnはA-10ページの**キーボードのキーリファレンス**のキー番号です。

キーモディファイア	
キーモディファイアなし	00
左Shiftキー	01
右Shiftキー	02
左Altキー	04
右Altキー	08
左Ctrlキー	10
右Ctrlキー	20

たとえば、B501021Fは、104キー米国式キーボードで「A」を挿入します。B5はコマンド、01は押されるキーの数（キーモディファイアを除く）、02は右Shiftキーのキーモディファイア、1Fは「a」キーです。小文字の「a」を挿入する場合は、B501001Fを入力します。

3回のキー操作がある場合、構文は1回のキー操作のB5xxssnnからB5xxssnnssnnssnnに変わります。「abc」を挿入する例は、B503001F00320030F833です。

注：必要に応じて複数のキーモディファイアを同時に追加することができます。例：左Ctrlキー + 左Shiftキー = 11。

移動コマンド

カーソルを指定の文字数だけ前進させる

- F5 カーソルを現在のカーソル位置から「nn」文字数だけ前進させます。

構文は、F5nnです。nnはカーソルを前進させる文字数を表す数値（00～99）です。

F5の例：カーソルを前進させ、データを送信する



上記のバーコードで、カーソルを3文字分前進させてから、残りのバーコードデータを送信します。キャリッジリターンで終わります。

コマンド文字列：F503F10D

F5は「カーソルを指定の文字数だけ前進させる」コマンドです

03はカーソルを移動する文字数です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

4567890ABCDEFGHIJ

<CR>

カーソルを指定の文字数だけ後退させる

F6 カーソルを現在のカーソル位置から「nn」文字数だけ後退させます。

構文は、F6nnです。nnはカーソルを後退させる文字数を表す数値（00～99）です。

カーソルを先頭に移動する

F7 カーソルを入力メッセージの最初の文字に移動します。構文は、F7です。

FEとF7の例：1で始まるバーコードを操作する



1で始まるバーコードを検索します。一致するバーコードであれば、カーソルをデータの先頭に移動し、6文字にキャリッジリターンを付加したものを送信します。上記のバーコードを使用すると以下のようになります。

コマンド文字列：FE31F7F2060D

FEは「文字を比較する」コマンドです

31は1の16進値です

F7は「カーソルを先頭に移動する」コマンドです

F2は「指定の文字数を送信する」コマンドです

06は送信する文字数です

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

123456

<CR>

カーソルを末尾に移動する

EA カーソルを入力メッセージの最後の文字に移動します。構文は、EAです。

検索コマンド

文字を前進方向へ検索する

F8 入力メッセージ内で現在のカーソル位置から前進方向へ文字「xx」を検索します。カーソルは文字「xx」に移動します。構文は、F8xxです。xxは検索文字のASCIIコードを表す16進値です。

10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降のASCII変換表（コードページ1252）を参照してください。

F8の例：特定の文字以降のバーコードデータを送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

バーコード内で文字「D」を検索し、「D」およびそれに続くすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用すると以下のようになります。コマンド文字列：**F844F10D**

F8は「文字を前進方向へ検索する」コマンドです

44は「D」の16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

DEFGHIJ

<CR>

文字を後退方向へ検索する

F9 入力メッセージ内で現在のカーソル位置から後退方向へ文字「xx」を検索します。カーソルは文字「xx」に移動します。**構文は、F9xxです。**xxは検索文字のASCIIコードを表す16進値です。

10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

文字列を前進方向へ検索する

B0 現在のカーソル位置から「s」文字列を前進方向に検索します。カーソルは「s」文字列に移動します。構文は、B0nnnnSです。nnnnは文字列の長さ（最大9999）であり、Sは一致文字列内の各文字のASCII 16進値で構成されます。たとえば、B0000454657374は、4文字の文字列「Test」の最初の出現箇所を前進方向に検索します。

10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

B0の例：指定の文字列以降のバーコードデータを送信する



1234567890ABCDEFGHIJ

バーコード内で文字列「FGH」を検索し、「FGH」およびそれに続くすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用すると以下のようになります。

コマンド文字列：**B00003464748F10D**

B0は「文字列を前進方向へ検索する」コマンドです

0003は文字列の長さです（3文字）

46は「F」の16進値です

47は「G」の16進値です

48は「H」の16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

FGHIJ

<CR>

文字列を後退方向へ検索する

B1 現在のカーソル位置から「s」文字列を後退方向に検索します。カーソルは「s」文字列に移動します。構文は、B1nnnnSです。nnnnは文字列の長さ（最大9999）であり、Sは一致文字列内の各文字のASCII 16進値で構成されます。たとえば、B1000454657374は、4文字の文字列「Test」の最初の出現箇所を後退方向に検索します。

10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

一致しない文字を前進方向へ検索する

E6 入力メッセージ内で現在のカーソル位置から前進方向へ「xx」以外の最初の文字を検索します。カーソルは「xx」以外の文字に移動します。**構文は、E6xxです。**xxは検索文字のASCIIコードを表す16進値です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表 \(コードページ1252\)](#)を参照してください。

E6の例：バーコードデータの先頭の0を削除する



この例のバーコードは0で埋められています。0を無視して、それより後のすべてのデータを送信することもできます。E6は、0以外の最初の文字を前進方向へ検索し、それより後のすべてのデータにキャリッジリターンを付加したものを送信します。上記のバーコードを使用すると以下ようになります。

コマンド文字列：**E630F10D**

E6は「一致しない文字を前進方向へ検索する」コマンドです

30は0の16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

37692

<CR>

一致しない文字を後退方向へ検索する

- E7 入力メッセージ内で現在のカーソル位置から後退方向へ「xx」以外の最初の文字を検索します。カーソルは「xx」以外の文字に移動します。**構文は、E7xxです。**xxは検索文字のASCIIコードを表す16進値です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表（コードページ1252）](#)を参照してください。

その他のコマンド

文字を抑制する

- FB 他のコマンドによってカーソルが現在の位置から移動するに従い、最大15種類の文字をすべて抑制します。FCコマンドが検出されると抑制機能は終了します。FBコマンドではカーソルは移動しません。

構文は、FBnnxxyy..zzです。nnはリストに指定する抑制する文字の数で、xxyy..zzは抑制する文字のリストです。

FBの例：バーコードデータ内のスペースを削除する



この例のバーコードにはスペースが含まれています。データを送信する前にスペースを削除することもできます。上記のバーコードを使用すると以下ようになります。

コマンド文字列：**FB0120F10D**

FBは「文字を抑制する」コマンドです

01は抑制される文字の種類の数です

20はスペースの16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

34567890

<CR>

文字の抑制を停止する

- FC 抑制フィルターを無効にし、抑制対象の文字をすべて消去します。**構文は、FCです。**

文字を置換する

- E4 カーソルは移動しないで、出力メッセージ内の最大15の文字を置換します。置換はE5コマンドが検出されるまで続きます。**構文は、E4nnxx1xx2yy1yy2...zz1zz2**です。nnは、リストに指定する文字の合計数（置換する文字と置換文字）です。xx1は置換する文字で、xx2は置換文字です。以下、zz1およびzz2まで同様です。

E4の例：バーコードデータ内の0をCRで置換する



ホスト アプリケーションにとって不適切な文字がバーコードに含まれている場合は、E4コマンドを使用してそれらを別の文字で置換できます。この例では、上記のバーコード内の0をキャリッジリターンで置換します。

コマンド文字列：E402300DF10D

E4は「文字を置換する」コマンドです

02は、置換する文字と置換文字の合計数です（0をCRで置換するため、文字の合計数は2）

30は0の16進値です

0DはCR（0を置換する文字）の16進値です

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

出力されるデータ：

1234
5678
ABC
<CR>

文字の置換を停止する

E5 文字の置換を終了します。構文は、E5です。

文字を比較する

FE 現在のカーソル位置にある文字を文字「xx」と比較します。文字が等しい場合は、カーソルが1つ前進します。構文は、FExxです。xxは比較文字のASCIIコードを表す16進値です。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表（コードページ1252）](#)を参照してください。

文字列を比較する

B2 入力メッセージ内の文字列と文字列「S」を比較します。文字列が等しい場合、カーソルは文字列の末尾の次の位置に前進します。構文は、B2nnnnSです。nnnnは文字列の長さ（最大9999）であり、Sは一致文字列内の各文字のASCII 16進値で構成されます。たとえば、B2000454657374は現在のカーソル位置の文字列と4文字の文字列「Test」を比較します。10進コード、16進コード、および文字コードについては、A-3ページ以降の[ASCII変換表（コードページ1252）](#)を参照してください。

数字かどうかを確認する

EC 現在のカーソル位置にASCII数字があることを確認します。文字が数字でない場合、フォーマットは中止されます。

ECの例：バーコードが数字で始まっている場合にのみデータを出力する


バーコードが数字で始まっている場合にのみデータが必要な場合は、ECを使用して数字かどうかを確認できます。


コマンド文字列：ECF10D

ECは「数字かどうかを確認する」コマンドです

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

このバーコード  が読み取られた場合、次のデータ フォーマットがあれば、それがデータに使用されます。
AB1234
他のフォーマットがなければ、フォーマットは失敗し、未処理のデータAB1234が出力されます。

このバーコード  が読み取られた場合、データは次のよう出力されます。

1234AB
<CR>

数字以外かどうかを確認する

ED 現在のカーソル位置に数字以外のASCII文字があることを確認します。文字が数字である場合、フォーマットは中止されます。

EDの例：バーコードが英文字で始まっている場合にのみデータを出力する


バーコードが英文字で始まっている場合にのみデータが必要な場合は、EDを使用して英文字かどうかを確認できます。


コマンド文字列：EDF10D

EDは「数字以外かどうかを確認する」コマンドです

F1は「すべての文字を送信する」コマンドです

0DはCRの16進値です

このバーコード  が読み取られた場合、次のデータフォーマットがあれば、それがこのデータに使用されます。
1234AB
他のフォーマットがなければ、フォーマットは失敗し、未処理のデータ1234ABが出力されます。

このバーコード  が読み取られた場合、データは次のように出力されます。
AB1234

AB1234

<CR>

遅延を挿入する

EF 現在のカーソル位置から、最大49,995ミリ秒（5の倍数）の遅延を挿入します。構文は、EFnnnnです。nnnnは5ミリ秒刻みの遅延で、最大9999です。このコマンドはキーボードエミュレーションでのみ使用できます。

データを破棄する

B8 指定の種類のデータを破棄します。たとえば、文字Aで始まるCode 128バーコードを破棄することができます。手順4（5-1ページ）で6A（Code 128）を選択し、手順5で9999（すべての長さ）を選択します。文字Aで始まるCode 128バーコードを比較して破棄するには、FE41B8を入力します。構文は、B8です。

注：B8コマンドは他のすべてのコマンドの後に入力する必要があります。

B8コマンドを機能させるには、データフォーマットが**【必須】**（5-12ページを参照）である必要があります。

データフォーマットが**【オン】**になっているが**【必須でない】**（5-12ページ）場合、B8フォーマットを満たすバーコードデータは通常どおりにスキャンされて出力されます。

B8コマンドではデータフォーマットを**【オン】**および**【必須】**（5-12ページ）にする必要があるため、廃棄するすべてのバーコードおよび出力するすべてのバーコードのデータフォーマットを入力する必要があります。

他のデータフォーマット設定はB8コマンドに反映されます。[データフォーマット不一致エラー音]が**【オン】**の場合（5-13ページ）、スキャンエンジンはエラー音を発します。[データフォーマット不一致エラー音]が**【オフ】**の場合、コードは読み取りが無効になり、音は鳴りません。

データフォーマッター

データフォーマッターをオフにすると、読み取られたバーコードデータがプレフィックスおよびサフィックスも含めてそのままホストに出力されます。



DFM_EN0.

データフォーマッターオフ

作成して保存してあるデータフォーマットに従うように要求することもできます。以下の設定をデータフォーマットに適用できます。

データフォーマッターオン、必須でない、プレフィックス/サフィックスを保持

スキャンされたデータはユーザーのデータフォーマットに従って変更され、プレフィックスおよびサフィックスも送信されます。

データフォーマッターオン、必須でない、プレフィックス/サフィックスを破棄

スキャンされたデータはユーザーのデータフォーマットに従って変更されます。特定の読み取りコードのデータフォーマットが見つかった場合、それらのプレフィックスおよびサフィックスは送信されません。その読み取りコードのデータフォーマットが見つからない場合、プレフィックスおよびサフィックスは送信されます。

データフォーマット必須、プレフィックス/サフィックスを保持

スキャンされたデータはユーザーのデータフォーマットに従って変更され、プレフィックスおよびサフィックスも送信されます。データがユーザーのデータフォーマットの要件に一致しない場合、エラー音が鳴り、そのバーコードのデータは送信されません。エラー音を生成しないでこの種のバーコードを処理する場合は、[データフォーマット不一致エラー音](#)を参照してください。

データフォーマット必須、プレフィックス/サフィックスを破棄

スキャンされたデータはユーザーのデータフォーマットに従って変更されます。特定の読み取りコードのデータフォーマットが見つかった場合、それらのプレフィックスおよびサフィックスは送信されません。データフォーマットの要件に一致しないデータはエラー音を生成します。エラー音を生成しないでこの種のバーコードを処理する場合は、[データフォーマット不一致エラー音](#)を参照してください。

以下のオプションのどれか1つを選択します。初期設定は、[データフォーマッターオン、必須でない、プレフィックス/サフィックスを保持]です。



DFM_EN1.

*データフォーマッターオン、
必須でない、プレフィックス/
サフィックスを保持



DFM_EN3.

データフォーマッターオン、
必須でない、プレフィックス/
サフィックスを破棄



DFM_EN2.

データフォーマット必須、
プレフィックス/サフィックスを保持



DFM_EN4.

データフォーマット必須、
プレフィックス/サフィックスを破棄

データフォーマット不一致エラー音

必要なデータフォーマットと一致しないバーコードが見つかった場合、スキャンエンジンは通常、エラー音を生成します。ただし、エラー音を鳴らさずにバーコードのスキャンを続けることもできます。[データフォーマット不一致エラー音オフ]バーコードをスキャンした場合、データフォーマットに準拠していないデータは送信されず、エラー音は鳴りません。一致しないバーコードが見つかったときにエラー音を鳴らす場合は、[データフォーマット不一致エラー音オン]バーコードをスキャンします。初期設定は、[データフォーマット不一致エラー音オン]です。



DFMDEC0.
*データフォーマット不一致
エラー音オン



DFMDEC1.
データフォーマット不一致
エラー音オフ

メインのデータフォーマット/代替のデータフォーマット

データフォーマットは4つまで保存でき、これらを切り替えて使用できます。メインのデータフォーマットは0として保存されます。他の3つのフォーマットは1、2、および3として保存されます。お使いのデバイスでこれらのフォーマットを使用するように設定するには、以下のバーコードをスキャンします。



ALTFNM0.
メインのデータフォーマット



ALTFNM2.
データフォーマット2



ALTFNM1.
データフォーマット1



ALTFNM3.
データフォーマット3

シングルスキャンのデータフォーマットの変更

シングルスキャンのデータフォーマットを切り替えることもできます。別のデータフォーマットを使用して次のバーコードをスキャンした後、上で選択したフォーマット（プライマリ、1、2、または3）に戻ります。

たとえば、データフォーマット3として保存したデータフォーマットにデバイスを設定したとします。下記の[シングルスキャン:データフォーマット1]バーコードをスキャンすることで、トリガーを1回引くだけでデータフォーマット1に切り替えることができます。次にスキャンされるバーコードにはデータフォーマット1を使用し、その後でデータフォーマット3に戻ります。



VSAF_0.
シングルスキャン:
メインのデータフォーマット



VSAF_2.
シングルスキャン:
データフォーマット2



VSAF_1.
シングルスキャン:
データフォーマット1



VSAF_3.
シングルスキャン:
データフォーマット3

読み取りコード

このプログラミングセクションには、以下のメニュー項目があります。設定および初期設定については、[第9章](#)を参照してください。

- すべての読み取りコード
- Aztecコード
- China Post (Hong Kong 2 of 5)
- Chinese Sensible (Han Xin) コード
- Codabar
- Codablock A
- Codablock F
- Code 11
- Code 128
- Code 32 Pharmaceutical (PARAF)
- Code 39
- Code 93
- Data Matrix
- EAN/JAN-13
- EAN/JAN-8
- GS1コンボジットコード
- GS1 DataBar Expanded
- GS1 DataBar Limited
- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1エミュレーション
- GS1-128
- Interleaved 2 of 5
- Korea Post
- Matrix 2 of 5
- MaxiCode
- MicroPDF417
- MSI
- NEC 2 of 5
- 郵便コード (2D)
- 郵便コード (線形)
- PDF417
- GS1 DataBar Omnidirectional
- QRコード
- Straight 2 of 5 IATA (2バー開始/終了)
- Straight 2 of 5 Industrial (3バー開始/終了)
- TCIF Linked Code 39 (TLC39)
- Telepen
- Trioptic Code
- UPC-A
- 拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13
- UPC-E0
- UPC-E1

すべての読み取りコード

お使いのスキャナーで対応可能なすべての読み取りコードをデコードする場合は、**【すべての読み取りコードをオン】**コードをスキャンします。一方、特定の読み取りコードのみをデコードする場合は、**【すべての読み取りコードをオフ】**をスキャンした後、その特定の読み取りコードの**【オン】**の読み取りコードをスキャンします。

注：**【すべての読み取りコードをオン】**をスキャンすると、スキャナーのパフォーマンスが低下する場合があります。**【すべての読み取りコードをオン】**は必要な場合のみスキャンしてください。



ALLENA1.
すべての読み取りコードをオン



ALLENA0.
すべての読み取りコードをオフ

注：**【すべての読み取りコードをオン】**をスキャンしても、2D郵便コードは有効になりません。2D郵便コードは個別に有効にする必要があります。

メッセージ長の説明

一部の読み取りコードでは、有効読み取り長を設定できます。最小長と最大長を同じ値に設定すれば、スキャナーにバーコードデータの特定の桁数の読み取りを指定することができるため、誤読の可能性を減らすことができます。

例：文字数9～20のバーコードのみをデコードします。
最小長=09、最大長=20

例：文字数15のバーコードのみをデコードします。

最小長=15、最大長=15

最小および最大のメッセージ長を初期設定とは異なる値にするには、読み取りコードの説明に含まれているメッセージ長のバーコードをスキャンしてから、このガイドの裏表紙内側にある **プログラミング チャート** でメッセージ長の桁数をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。最小長と最大長および初期設定値についての情報は、それぞれのコード欄に記載されています。

Codabar

<Codabarのすべての設定を初期化>



Codabarのオン/オフ



Codabarのスタート/ストップ キャラクタ

スタート/ストップ キャラクタは、バーコードの先頭および末尾を識別します。スタート/ストップ キャラクタを送信するように設定することも、送信しないように設定することもできます。初期設定は、**[送信しない]**です。



Codabarのチェック キャラクタ

Codabarでは、いくつかの「モジュラス」を使用して、チェックキャラクタが作成されます。モジュラス16チェックキャラクタを使用するCodabarバーコードのみを読み取るよう、スキャナーをプログラミングできます。初期設定は、**[チェック文字なし]**です。

[チェック文字なし]は、チェックキャラクタの有無にかかわらずバーコードデータを読み取って送信することを示します。

チェックキャラクタを**[検証して送信]**に設定すると、スキャナーはチェックキャラクタ付きで印刷されたCodabarバーコードのみを読み取り、スキャンされたデータの末尾にこの文字を付加して送信します。

チェックキャラクタを**[検証するが送信しない]**に設定すると、スキャナーはチェックキャラクタ付きで印刷されたCodabarバーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェックキャラクタを付加しないで送信します。





CBRCK21.
モジュラス16を検証するが
送信しない



CBRCK22.
モジュラス16を検証して送信

Codabarの連結

Codabarは読み取りコードの連結をサポートしています。連結を有効にすると、スキャナーは、「D」ストップキャラクタを持つ読み取りコードの隣にある、「D」スタートキャラクタを持つCodabar読み取りコードを探します。この場合、これら2つのメッセージは、「D」文字を除去して1つに連結されます。



A 1 2 3 4 D D 5 6 7 8 A

対になっていない単一の「D」Codabar読み取りコードをデコードしないようにするには、[必須]を選択します。この選択は、スタート/ストップキャラクタDを持たないCodabar読み取りコードには影響しません。



CBRCT1.
オン



CBRCT0.
*オフ



CBRCT2.
必須

Codabarのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は2～60です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は60です。



CBRMIN.
最小メッセージ長



CBRMAX.
最大メッセージ長

Code 39

<Code 39のすべての設定を初期化>



Code 39のオン/オフ



Code 39のスタート/ストップ キャラクタ

スタート/ストップ キャラクタは、バーコードの先頭および末尾を識別します。スタート/ストップ キャラクタを送信するように設定することも、送信ないように設定することもできます。初期設定は、[送信しない]です。



Code 39のチェック キャラクタ

[チェック文字なし]は、チェック キャラクタの有無にかかわらずバーコード データを読み取って送信することを示します。

チェック キャラクタを[検証するが送信しない]に設定すると、ユニットはチェック キャラクタ付きで印刷されたCode 39バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェック キャラクタを付加しないで送信します。

チェック キャラクタを[検証して送信]に設定すると、スキャナーはチェック キャラクタ付きで印刷されたCode 39バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータの末尾にこの文字を付加して送信します。初期設定は、[チェック文字なし]です。



Code 39のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は0～48です。最小長の初期設定値は0、最大長の初期設定値は48です。



C39MIN.
最小メッセージ長



C39MAX.
最大メッセージ長

Code 39の連結

この機能を使用すると、いくつかのCode 39バーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているCode 39バーコードを検出すると、連結のトリガー文字が含まれていないCode 39バーコードを読み取るまで、Code 39バーコードをバッファリングします。その後、バーコードが読み取られた順番にデータが送信されます（先入れ先出し）。初期設定は、オフです。



C39APP1.
オン



C39APP0.
*オフ

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceuticalは、イタリアの医薬分野で使用されているCode 39読み取りコードのフォーマットです。この読み取りコードはPARAFとも呼ばれます。

注：Code 32 Pharmaceuticalコードをスキャンする間は、Trioptic Code（[6-32ページ](#)）をオフにする必要があります。



C39B321.
オン



C39B320.
*オフ

Full ASCII

Full ASCII Code 39デコードが有効になっている場合、バーコード読み取りコード内の特定の文字ペアは1つの文字として解釈されま
す。たとえば、\$VはASCII文字SYNとしてデコードされ、/CはASCII文字#としてデコードされます。**初期設定は、オフです。**

NUL %U	DLE \$P	SP SPACE	0 0	@ %V	P P	' %W	p +P
SOH \$A	DC1 \$Q	! /A	1 1	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX \$B	DC2 \$R	" /B	2 2	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 3	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 4	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 5	E E	U U	e +E	u +U
ACK \$F	SYN \$V	& /F	6 6	F F	V V	f +F	v +V
BEL \$G	ETB \$W	' /G	7 7	G G	W W	g +G	w +W
BS \$H	CAN \$X	(/H	8 8	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y) /I	9 9	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	SUB \$Z	* /J	: /Z	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT \$K	ESC %A	+ /K	; %F	K K	[%K	k +K	[%P
FF \$L	FS %B	, /L	< %G	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- -	= %H	M M] %M	m +M] %R
SO \$N	RS %D	. .	> %I	N N	^ %N	n +N	~ %S
SI \$O	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

文字ペア/Mはマイナス記号、/Nはピリオドとしてそれぞれデコードされます。

文字ペア/P~/Nは、0~9としてデコードされます。



C39ASCII1.
Full ASCIIオン



C39ASCO.
* Full ASCIIオフ

Code 39のコード ページ

コード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから (A-7ページのISO 2022/ISO 646の文字置換を参照してください)、このガイドの裏表紙内側にあるプログラミング チャートで値をスキャンし、[保存]バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



C39DCP.
Code 39のコード ページ

Interleaved 2 of 5

<Interleaved 2 of 5のすべての設定を初期化>



Interleaved 2 of 5のオン/オフ



チェック デジット

[チェック デジットなし]は、チェック デジットの有無にかかわらずバーコードデータを読み取って送信することを示します。

チェック デジットを[検証するが送信しない]に設定すると、ユニットはチェック デジット付きで印刷されたInterleaved 2 of 5バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェック デジットを付加しないで送信します。

チェック デジットを[検証して送信]に設定すると、スキャナーはチェック デジット付きで印刷されたInterleaved 2 of 5バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータの末尾にこの数字を付加して送信します。初期設定は、[チェック デジットなし]です。



Interleaved 2 of 5のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は2~80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



NEC 2 of 5

<NEC 2 of 5のすべての設定を初期化>



NEC 2 of 5のオン/オフ



チェック デジット

[チェック デジットなし]は、チェック デジットの有無にかかわらずバーコードデータを読み取って送信することを示します。

チェック デジットを[検証するが送信しない]に設定すると、ユニットはチェック デジット付きで印刷されたNEC 2 of 5バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータにチェック デジットを付加しないで送信します。

チェック デジットを[検証して送信]に設定すると、スキャナーはチェック デジット付きで印刷されたNEC 2 of 5バーコードのみを読み取り、スキャンされたデータの末尾にこの数字を付加して送信します。初期設定は、[チェック デジットなし]です。



NEC 2 of 5のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は2～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



Code 93

<Code 93のすべての設定を初期化>



Code 93のオン/オフ



Code 93のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は0～80です。最小長の初期設定値は0、最大長の初期設定値は80です。



Code 93の連結

この機能を使用すると、いくつかのCode 93バーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。この機能を有効にすると、スキャナーは、(開始および終了の読み取りコードを除いて)スペースで始まるCode 93バーコードのデータをすぐには送信しないで保存します。スキャナーは、各データの最初のスペースを削除し、バーコードが読み取られた順番にデータを保存します。スキャナーは、スペース以外の文字で始まるCode 93バーコードを読み取ると、連結されたデータを送信します。**初期設定は、オフです。**



C93APP1.
オン



C93APP0.
*オフ

Code 93のコード ページ

コード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから (A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください)、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



C93DCP.

Code 93のコード ページ

Straight 2 of 5 Industrial (3バー開始/終了)

<Straight 2 of 5 Industrialのすべての設定を初期化>



R25DFT.

Straight 2 of 5 Industrialのオン/オフ



R25ENA1.
オン



R25ENA0.
*オフ

Straight 2 of 5 Industrialのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は1~48です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は48です。



R25MIN.
最小メッセージ長



R25MAX.
最大メッセージ長

Straight 2 of 5 IATA (2バー開始/終了)

<Straight 2 of 5 IATAのすべての設定を初期化>



Straight 2 of 5 IATAのオン/オフ



Straight 2 of 5 IATAのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は1~48です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は48です。



Matrix 2 of 5

<Matrix 2 of 5のすべての設定を初期化>



Matrix 2 of 5のオン/オフ



Matrix 2 of 5のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



Code 11

<Code 11のすべての設定を初期化>



C11DFT.

Code 11のオン/オフ



C11ENA1.
オン



C11ENA0.
*オフ

必要なチェック デジット

このオプションは、Code 11バーコードに必要なチェック デジットが1桁か2桁かを設定します。初期設定は、[2桁チェック デジット]です。



C11CK20.
1桁チェック デジット



C11CK21.
*2桁チェック デジット

Code 11のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は1~80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



C11MIN.
最小メッセージ長



C11MAX.
最大メッセージ長

Code 128

<Code 128のすべての設定を初期化>



Code 128のオン/オフ



ISBT 128の連結

1994年に、International Society of Blood Transfusion (ISBT) は重要な血液情報を統一された方法で伝達するための規格を承認しました。ISBTフォーマットの使用には、有料のライセンスが必要です。ISBT 128アプリケーション仕様では次のことが規定されています。1) 血液製剤にラベル付けするための重要なデータ要素、2) 高いセキュリティとスペース効率のよい設計により現在はCode 128の使用を推奨、3) 隣り合う読み取りコードの連結をサポートするCode 128の変形、4) 血液製剤ラベルのバーコードの標準レイアウト。連結のオン/オフを切り替えるには、以下のバーコードを使用します。**初期設定は、オフです。**



Code 128のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は0~80です。最小長の初期設定値は0、最大長の初期設定値は80です。



Code 128の連結

この機能を使用すると、いくつかのCode 128バーコードのデータを連結してから、ホストコンピュータに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているCode 128バーコードを検出すると、連結のトリガー文字が含まれていないCode 128バーコードを読み取るまで、Code 128バーコードをバッファリングします。その後、バーコードが読み取られた順番にデータが送信されます（先入れ先出し）。初期設定は、オンです。



128APP1.
* オン



128APP0.
オフ

Code 128のコード ページ

コード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



128DCP.
Code 128のコード ページ

GS1-128

<GS1-128のすべての設定を初期化>



GS1-128のオン/オフ



GS1-128のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～80です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は80です。



Telepen

<Telepenのすべての設定を初期化>



Telepenのオン/オフ



Telepen出力

AIM Telepen出力を使用する場合、スキャナーは開始/終了パターン1を持つ読み取りコードを読み取り、標準のフルASCII（開始/終了パターン1）としてデコードします。オリジナルTelepen出力を選択した場合、スキャナーは開始/終了パターン1を持つ読み取りコードを読み取り、オプションのフルASCII（開始/終了パターン2）を持つ圧縮数値としてデコードします。初期設定は、[AIM Telepen出力]です。



Telepenのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～60です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は60です。



UPC-A

<UPC-Aのすべての設定を初期化>



UPC-Aのオン/オフ



注：UPC-AバーコードをEAN-13に変換するには、6-24ページの[UPC-AからEAN-13への変換](#)を参照してください。

UPC-Aのチェック デジット

この選択では、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。初期設定は、オンです。



UPC-Aのナンバー システム

通常は、スキャンされたデータの先頭にUPC読み取りコードのナンバー システム デジットが送信されますが、それを送信しないようにユニットをプログラミングできます。初期設定は、オンです。



UPC-Aのアドオン

この選択では、スキャンされたすべてのUPC-Aデータの末尾に2桁または5桁を追加します。
初期設定は、2桁アドオンも5桁アドオンもオフです。



UPAAD21.
2桁アドオン オン



UPAAD51.
5桁アドオン オン



UPAAD20.
* 2桁アドオン オフ



UPAAD50.
* 5桁アドオン オフ

UPC-Aのアドオン必須

[必須]をスキャンすると、スキャナーはアドオンが含まれているUPC-Aバーコードのみを読み取ります。その場合、[6-20ページ](#)に示されている2桁または5桁のアドオンをオンにする必要があります。初期設定は、**[必須でない]**です。



UPAARQ1.
必須



UPAARQ0.
* 必須でない

アドオンタイムアウト

スキャナーでアドオンを探す時間を設定できます。この時間内にアドオンが見つからない場合、[UPC-Aのアドオン必須](#) (6-20ページ) に使用している設定に基づいて、データは送信または破棄されます。このタイムアウトの時間 (ミリ秒単位) を設定するには、下記のバーコードをスキャンしてから、[プログラミングチャート](#)にある数字をスキャンしてタイムアウト (0 ~ 65535ミリ秒) を設定した後に、**[保存]**をスキャンします。初期設定値は100です。



DLYADD.
アドオンタイムアウト

UPC-Aのアドオン セパレーター

この機能がオンのときは、バーコードデータとアドオン データの間にスペースがあります。オフのときは、スペースはありません。
初期設定は、オンです。



UPAADS1.
* オン



UPAADS0.
オフ

拡張クーポン コード付きUPC-A/EAN-13

拡張クーポンコード付きUPC-AおよびEAN-13を有効または無効にするには、以下のコードを使用します。初期設定（オフ）のままにすると、スキャナーはクーポンコードおよび拡張クーポンコードを単一のバーコードとして扱います。

[連結許可]コードをスキャンすると、スキャナーは1回のスキャンでクーポンコードと拡張クーポンコードを見つけた場合、両方を1つの読み取りコードとして送信します。それ以外の場合は、最初に読み取ったクーポンコードを送信します。

[連結必須]コードをスキャンすると、データを送信するには1回のスキャンでクーポンコードと拡張クーポンコードを見つけて読み取る必要があります。両方のコードが読み取られなければデータは出力されません。初期設定は、オフです。



CPNENA0.
* オフ



CPNENA1.
連結許可



CPNENA2.
連結必須

クーポンGS1 DataBar出力

UPCコードとGS1 DataBarコードの両方が含まれているクーポンをスキャンする場合に、GS1 DataBarコードのデータのみをスキャンして出力することもできます。GS1 DataBarコードのデータのみをスキャンして出力するには、以下の[GS1出力オン]コードをスキャンします。初期設定は、[GS1出力オフ]です。



CPNGS10.
* GS1出力オフ



CPNGS11.
GS1出力オン

UPC-E0

<UPC-Eのすべての設定を初期化>



UPC-E0のオン/オフ

ほとんどのUPCバーコードは、0ナンバーシステムで始まります。これらのコードを読み取るには、[UPC-E0オン]を使用します。1ナンバーシステムで始まるコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1（6-24ページ）を使用します。初期設定は、オンです。



UPC-E0の拡張

UPC-Eの拡張は、UPC-Eコードを12桁のUPC-Aフォーマットに拡張します。初期設定は、オフです。



UPC-E0のアドオン必須

[必須]をスキャンすると、スキャナーはアドオンが含まれているUPC-Eバーコードのみを読み取ります。初期設定は、[必須でない]です。



UPC-E0のアドオン セパレーター

この機能が**オン**のときは、バーコードデータとアドオンデータ間にスペースがあります。**オフ**のときは、スペースはありません。
初期設定は、**オン**です。



UPEADS1.
*オン



UPEADS0.
オフ

UPC-E0のチェック デジット

チェック デジットでは、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定します。初期設定は、**オン**です。



UPECKX1.
*オン



UPECKX0.
オフ

UPC-E0の先頭のゼロ

この機能を使用すると、スキャンされたデータの先頭にゼロ (0) を送信できます。送信しないようにするには、**オフ**をスキャンします。初期設定は、**オン**です。



UPENSX1.
*オン



UPENSX0.
オフ

UPC-E0のアドオン

この選択では、スキャンされたすべてのUPC-Eデータの末尾に2桁または5桁を追加します。初期設定は、**2桁アドオンも5桁アドオンもオフ**です。



UPEAD21.
2桁アドオン オン



UPEAD20.
*2桁アドオン オフ



UPEAD51.
5桁アドオンオン



UPEAD50.
*5桁アドオンオフ

UPC-E1

ほとんどのUPCバーコードは、0ナンバー システムで始まります。これらのコードにはUPC-E0 (6-22ページ) を使用します。1ナンバー システムで始まるコードを読み取る必要がある場合は、[UPC-E1オン]を使用します。初期設定は、オフです。



UPEEN11.
UPC-E1オン



UPEEN10.
*UPC-E1オフ

EAN/JAN-13

<EAN/JANのすべての設定を初期化>



E13DFT.

EAN/JAN-13のオン/オフ



E13ENA1.
*オン



E13ENA0.
オフ

UPC-AからEAN-13への変換

[UPC-AをEAN-13に変換]を選択すると、UPC-Aバーコードは13桁のEAN-13コードに変換され、先頭にゼロが付加されます。[UPC-Aを変換しない]を選択すると、UPC-AコードはUPC-Aとして読み取られます。



UPAENA0.
UPC-AをEAN-13に変換



UPAENA1.
*UPC-Aを変換しない

EAN/JAN-13のチェック デジット

この選択では、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。初期設定は、オンです。



E13CKX1.
*オン



E13CKX0.
オフ

EAN/JAN-13のアドオン

この選択では、スキャンされたすべてのEAN/JAN-13データの末尾に2桁または5桁を追加します。初期設定は、2桁アドオンも5桁アドオンもオフです。



E13AD21.
2桁アドオン オン



E13AD20.
*2桁アドオン オフ



E13AD51.
5桁アドオン オン



E13AD50.
*5桁アドオン オフ

EAN/JAN-13のアドオン必須

[必須]をスキャンすると、スキャナーはアドオンが含まれているEAN/JAN-13バーコードのみを読み取ります。初期設定は、[必須でない]です。



E13ARQ1.
必須



E13ARQ0.
* 必須でない

EAN/JAN-13のアドオンセパレーター

この機能が**オン**のときは、バーコードデータとアドオンデータ間にスペースがあります。**オフ**のときは、スペースはありません。
初期設定は、**オン**です。



E13ADS1.

*オン



E13ADS0.

オフ

注：拡張クーポンコード付きEAN-13を有効または無効にするには、[拡張クーポンコード付きUPC-A/EAN-13](#)（6-21ページ）を参照してください。

ISBN変換

オンをスキャンすると、EAN-13 Bookland読み取りコードはそれと同等のISBN番号フォーマットに変換されます。初期設定は、**オフ**です。



E13ISB1.

オン



E13ISB0.

*オフ

EAN/JAN-8

<EAN/JAN-8のすべての設定を初期化>



EAN/JAN-8のオン/オフ



EAN/JAN-8のチェック デジット

この選択では、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。初期設定は、オンです。



EAN/JAN-8のアドオン

この選択では、スキャンされたすべてのEAN/JAN-8データの末尾に2桁または5桁を追加します。初期設定は、2桁アドオンも5桁アドオンもオフです。



EAN/JAN-8のアドオン必須

[必須]をスキャンすると、スキャナーはアドオンが含まれているEAN/JAN-8バーコードのみを読み取ります。初期設定は、[必須でない]です。



EA8ARQ1.
必須



EA8ARQ0.
*必須でない

EAN/JAN-8のアドオンセパレーター

この機能が**オン**のときは、バーコードデータとアドオンデータ間にスペースがあります。**オフ**のときは、スペースはありません。初期設定は、**オン**です。



EA8ADS1.
*オン



EA8ADS0.
オフ



MSICHECK5.
MSIのチェックキャラクタを
無効にする

MSIのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は4～48です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は48です。



MSIMIN.
最小メッセージ長



MSICHECK5.
タイプ10文字の後に
タイプ11文字を検証して送信



MSIMAX.
最大メッセージ長

GS1 DataBar Omnidirectional

<GS1 DataBar Omnidirectionalのすべての設定を初期化>



GS1 DataBar Omnidirectionalのオン/オフ



GS1 DataBar Limited

<GS1 DataBar Limitedのすべての設定を初期化>



GS1 DataBar Limitedのオン/オフ



GS1 DataBar Expanded

<GS1 DataBar Expandedのすべての設定を初期化>



GS1 DataBar Expandedのオン/オフ



GS1 DataBar Expandedのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は4～74です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は74です。



Trioptic Code

注：Code 32 Pharmaceuticalコード（[6-5ページ](#)）をスキャンする場合は、Trioptic Codeをオフにする必要があります。

Trioptic Codeは磁気ストレージメディアのラベルに使用されます。



Codablock A

<Codablock Aのすべての設定を初期化>



Codablock Aのオン/オフ



Codablock Aのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～600です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は600です。



Codablock F

<Codablock Fのすべての設定を初期化>



Codablock Fのオン/オフ



Codablock Fのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～2048です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は2048です。



Label Code

標準のLabel Codeは図書館で使用されます。初期設定は、オフです。



PDF417

<PDF417のすべての設定を初期化>



PDF417のオン/オフ



PDF417のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～2750です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は2750です。



PDF417のコード ページ

コード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホスト プログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミング チャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。

MacroPDF417

MacroPDF417はPDF417の1つの実装であり、大量のデータをエンコードして複数のPDF417バーコードに分割できます。この選択を有効にすると、このような複数のバーコードは単一のデータ文字列に組み立てられます。**初期設定は、オンです。**



MicroPDF417

<MicroPDF417のすべての設定を初期化>



MicroPDF417のオン/オフ



MicroPDF417のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～366です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は366です。



GS1コンボジットコード

一意の2Dコンボジットコンポーネントを線形コードに組み合わせることで、GS1コンボジットと呼ばれる新しいクラスの読み取りコードが形成されます。GS1コンボジット読み取りコードを使用すると、すでに使用中の読み取りコードを共存させることができます。初期設定は、オフです。



UPC/EANのバージョン

UPCまたはEAN線形コンポーネントを持つGS1コンポジット読み取りコードをデコードするには、**[UPC/EANバージョンオン]**バーコードをスキャンします（これはGS1-128またはGS1線形コンポーネントを持つGS1コンポジット読み取りコードには影響しません）。初期設定は、**[UPC/EANバージョンオフ]**です。



注：UPCコードとGS1 DataBarコードの両方が含まれているクーポンをスキャンする場合に、GS1 DataBarコードのデータのみをスキャンして出力することもできます。詳しくは、[クーポンGS1 DataBar出力](#)（6-21ページ）を参照してください。

GS1コンポジットコードのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～2435です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は2435です。



GS1エミュレーション

スキャナーは任意のGS1データキャリアからの出力を自動的にフォーマットして、同等のGS1-128またはGS1 DataBar読み取りコードへのエンコードをエミュレートできます。GS1データキャリアには、UPC-AとUPC-E、EAN-13とEAN-8、ITF-14、GS1-128とGS1-128 DataBar、GS1コンポジットなどがあります（GS1データを受信するアプリケーションは、1種類のデータキャリアを認識するだけで済むため、簡略化できます）。

[GS1-128エミュレーション]をスキャンすると、すべての小売コード（UPC、UPC-E、EAN-8、EAN-13）が16桁に拡張されます。AIMIDが有効になっている場合、この値はGS1-128のAIMIDである「[C1]」になります（A-1ページの[読み取りコード表](#)を参照してください）。

[GS1 DataBarエミュレーション]をスキャンすると、すべての小売コード（UPC、UPC-E、EAN-8、EAN-13）が16桁に拡張されます。AIMIDが有効になっている場合、この値はGS1-DataBarのAIMIDである「[Jem]」になります（A-1ページの[読み取りコード表](#)を参照してください）。

[GS1コード拡張オフ]をスキャンすると、小売コード拡張は無効になり、UPC-E拡張は[UPC-E0の拡張](#)（6-22ページ）の設定によって制御されます。AIMIDが有効になっている場合、この値はGS1-128のAIMIDである「[C1]」になります（A-1ページの[読み取りコード表](#)を参照してください）。

[EAN-8をEAN-13に変換]をスキャンすると、すべてのEAN-8バーコードがEAN-13フォーマットに変換されます。

初期設定は、**[GS1エミュレーションオフ]**です。





EANEMU3.
GS1コード拡張オフ



EANEMU0.
*GS1エミュレーションオフ



EANEMU4.
EAN-8をEAN-13に変換

TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このコードは、Code 39線形コンポーネントおよびMicroPDF417スタックコードコンポーネントを持っているため、コンポジットコードです。どのバーコードリーダーも、Code 39線形コンポーネントを読み取ることができます。MicroPDF417コンポーネントをデコードできるのは、[TLC39オン]が選択されている場合だけです。TLC39がオフになっている場合でも、線形コンポーネントをCode 39としてデコードできます。初期設定は、オフです。



T39ENA1.
オン



T39ENA0.
*オフ

QRコード

<QRコードのすべての設定を初期化>



QRCDFT.

QRコードのオン/オフ

この選択は、QRコードおよびMicro QRコードに適用されます。



QRCENA1.
*オン



QRCENA0.
オフ

QRコードのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～7089です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は7089です。



QRCMIN.
最小メッセージ長



QRCMAX.
最大メッセージ長

QRコードの連結

この機能を使用すると、いくつかのQRコードバーコードのデータを連結してから、ホストコンピューターに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているQRコードバーコードを検出すると、バーコードにエンコードされている情報によって指定された数だけ、QRコードバーコードをバッファリングします。コードの数が適切な数に達すると、バーコードに指定されている順序でデータが出力されます。初期設定は、オンです。



QRCAPP1.
*オン



QRCAPP0.
オフ

QRコードページ

QRコードページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホストプログラムが想定しているものとは異なるコードページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコードページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



QRCDP.
QRコードページ

Data Matrix

<Data Matrixのすべての設定を初期化>



Data Matrixのオン/オフ



Data Matrixのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1~3116です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は3116です。



Data Matrixの連結

この機能を使用すると、いくつかのData Matrixバーコードのデータを連結してから、ホスト コンピューターに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているData Matrixバーコードを検出すると、バーコードにエンコードされている情報によって指定された数だけ、Data Matrixバーコードをバッファリングします。コードの数が適切な数に達すると、バーコードに指定されている順序でデータが出力されます。**初期設定は、オンです。**



Data Matrixのコード ページ

Data Matrixコード ページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホストプログラムが想定しているものとは異なるコード ページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコード ページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



IDMDCP.

Data Matrixのコードページ

MaxiCode

<MaxiCodeのすべての設定を初期化>



MAXDFT.

MaxiCodeのオン/オフ



MAXENA1.
オン



MAXENA0.
*オフ

MaxiCodeのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～150です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は150です。



MAXMIN.
最小メッセージ長



MAXMAX.
最大メッセージ長

Aztecコード

<Aztecコードのすべての設定を初期化>



Aztecコードのオン/オフ



Aztecコードのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は1～3832です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は3832です。



Aztecの連結

この機能を使用すると、いくつかのAztecバーコードのデータを連結してから、ホストコンピュータに送信できます。スキャナーは、連結のトリガー文字が含まれているAztecバーコードを検出すると、バーコードにエンコードされている情報によって指定された数だけ、Aztecバーコードをバッファリングします。コードの数が適切な数に達すると、バーコードに指定されている順序でデータが出力されます。初期設定は、オンです。



Aztecのコードページ

Aztecコードページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホストプログラムが想定しているものとは異なるコードページを使用して作成された可能性があります。その場合は、以下のバーコードをスキャンし、バーコードの作成に使われたコードページを選択してから（A-7ページの[ISO 2022/ISO 646の文字置換](#)を参照してください）、このガイドの裏表紙内側にある[プログラミングチャート](#)で値をスキャンし、**[保存]**バーコードをスキャンします。データの文字が正しく表示されるようになります。



IDMDCP.

Aztecのコードページ

Chinese Sensible (Han Xin) コード

<Han Xinのすべての設定を初期化>



HX_DFT.

Han Xinコードのオン/オフ



HX_ENA1.

オン



HX_ENA0.

*オフ

Han Xinコードのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#) (6-1ページ) を参照してください。最小長および最大長は1~7833です。最小長の初期設定値は1、最大長の初期設定値は7833です。



HX_MIN.

最小メッセージ長



HX_MAX.

最大メッセージ長

郵便コード（2D）

以下に、使用可能な2D郵便コードおよび許可される2D郵便コードの組み合わせを示します。2D郵便コードは一度に1つだけ選択して有効にできます。2つ目の2D郵便コードをスキャンして選択すると、最初の選択は無効になります。初期設定は、[2D郵便コード オフ]です。



POSTAL0.

* 2D郵便コード オフ

2D郵便コード（単独）



POSTAL1.

Australian Postオン



POSTAL30.

Canadian Postオン



POSTAL3.

日本郵便オン



POSTAL5.

Planet Codeオン

6-47ページの
[Planet Codeのチェック デジット](#)も
参照してください。



POSTAL7.

British Postオン



POSTAL10.

Intelligent Mail/バーコード オン



POSTAL4.

KIX Postオン



POSTAL9.

Postal-4iオン



POSTAL6.
Postnetオン

6-47ページの
[Postnetのチェック デジット](#)も
参照してください。



POSTAL2.
InfoMailオン

2D郵便コード（組み合わせ）



POSTAL8.
InfoMailとBritish Postオン



POSTAL14.
PostnetとPostal-4iオン



POSTAL17.
Postal-4iと
Intelligent Mailバーコード オン



POSTAL12.
Planet CodeとPostnetオン



POSTAL11.
Postnet BおよびB' フィールド オン



POSTAL20.
Intelligent MailバーコードとPostnet B
およびB' フィールド オン



POSTAL16.
Postnetと
Intelligent Mailバーコード オン



POSTAL19.
Postal-4iと
Postnet BおよびB' フィールド オン



POSTAL13.
Planet CodeとPostal-4iオン



POSTAL21.
Planet Code、Postnet、
Postal-4iオン



POSTAL23.
Planet Code、Postal-4i、
Intelligent Mailバーコードオン



POSTAL25.
Planet Code、Postal-4i、
Postnet BおよびB' フィールドオン



POSTAL27.
Postal-4i、Intelligent Mailバーコード、
Postnet BおよびB' フィールドオン



POSTAL18.
Planet CodeとPostnet Bおよび
B' フィールドオン



POSTAL15.
Planet Codeと
Intelligent Mailバーコードオン



POSTAL22.
Planet Code、Postnet、
Intelligent Mailバーコードオン



POSTAL24.
Postnet、Postal-4i、
Intelligent Mailバーコードオン



POSTAL26.
Planet Code、
Intelligent Mailバーコード、
Postnet BおよびB' フィールドオン



POSTAL29.
Planet Code、Postal-4i、
Intelligent Mailバーコード、
Postnet BおよびB' フィールド オン



POSTAL28.
Planet Code、Postal-4i、
Intelligent Mailバーコード、
Postnet オン

Planet Codeのチェック デジット

この選択では、Planet Codeデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。初期設定は、[送信しない]です。



PLNCKX1.
チェック デジットを送信



PLNCKX0.
*チェック デジットを送信しない

Postnetのチェック デジット

この選択では、Postnetデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。初期設定は、[送信しない]です。



NETCKX1.
チェック デジットを送信



NETCKX0.
*チェック デジットを送信しない

Australian Postの解釈

このオプションは、Australian 4-State読み取りコード内の顧客フィールドに、どの解釈を適用するかを制御します。

[バー出力]は、バー パターンを「0123」フォーマットで一覧表示します。

[数字Nテーブル]は、Nテーブルを使用してフィールドを数字データとして解釈させます。

[英数字Cテーブル]は、Cテーブルを使用してフィールドを英数字データとして解釈させます。Australian Postの仕様表を参照してください。

[CおよびNテーブルの組み合わせ]は、CまたはNテーブルを使用してフィールドを解釈させます。



AUSINT0.
*バー出力



AUSINT2.
英数字Cテーブル



AUSINT1.
数字Nテーブル



AUSINT3.
CおよびNテーブルの組み合わせ

郵便コード（線形）

以下に、線形郵便コードを示します。線形郵便コードは一度に任意の組み合わせで選択して有効にできます。

China Post（Hong Kong 2 of 5）

<China Post（Hong Kong 2 of 5）のすべての設定を初期化>



CPCDFT.

China Post（Hong Kong 2 of 5）のオン/オフ



CPCENA1.
オン



CPCENAD.
*オフ

China Post（Hong Kong 2 of 5）のメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は2～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は80です。



CPCMIN.
最小メッセージ長



CPCMAX.
最大メッセージ長

Korea Post

<Korea Postのすべての設定を初期化>



Korea Post



Korea Postのメッセージ長

メッセージ長を変更するには、以下のバーコードをスキャンします。詳しくは、[メッセージ長の説明](#)（6-1ページ）を参照してください。最小長および最大長は2～80です。最小長の初期設定値は4、最大長の初期設定値は48です。



Korea Postのチェック デジット

この選択では、スキャンされたデータの末尾にチェック デジットを付加して送信するかどうかを指定できます。初期設定は、[送信しない]です。





イメージング コマンド

スキャンエンジンは、デジタルカメラのように画像のキャプチャ、処理、および転送を行うことができます。以下のコマンドを使用すると、スキャンエンジンでのこれらの機能の実行方法を変更できます。

注：スキャンエンジンをスタンドに置いて使用している場合、画像を撮影するには、[スタンド装着時のセンサーモード]をオフに設定する必要があります（3-11ページのCodeGate®を参照してください）。

シングルユースベース

イメージングコマンドとその修飾子を使用すると、命令がシングルユースベースでスキャンエンジンに送信され、1回の画像キャプチャに対して有効になります。キャプチャが完了すると、スキャンエンジンはイメージングの初期設定に戻ります。設定を恒久的に変更するには、初期設定のシリアルコマンドを使用する必要があります（第9章を参照してください）。初期設定のシリアルコマンドを使用すると、その選択内容がスキャンエンジンの新しい恒久的な設定になります。

コマンド構文

複数の修飾子とコマンドを1つのシーケンス内で発行できます。同じコマンドに追加の修飾子を適用するには、そのコマンドに修飾子を追加します。たとえば、[画像撮影]コマンドに[イメージングスタイル]を[1P]、[トリガー待機]を[1T]に設定する2つの修飾子を追加するには、IMGSNP1P1Tと入力します。

注：画像キャプチャコマンド（IMGSNPまたはIMGBOX）を処理した後、端末でその画像を表示するには、IMGSHPCOMMANDを続けて実行する必要があります。

シーケンスにコマンドを追加するには、新しいコマンドをそれぞれセミコロンで区切ります。たとえば、上記のシーケンスに[画像送信]コマンドを追加するには、IMGSNP1P1T;IMGSHPCOMMANDと入力します。

イメージングコマンドは次のとおりです。

[画像撮影 - IMGSNP](#) (7-1ページ)

[画像送信 - IMGSHPCOMMAND](#) (7-3ページ)

[インテリジェントな署名キャプチャ - IMGBOX](#) (7-10ページ)

これらの各コマンドの修飾子は、コマンドの説明に従います。

注：各コマンドの説明に含まれている画像は一例にすぎません。実際に得られる結果は、このマニュアル内のものと異なる場合があります。実際に得られる出力の品質は、照明、最初にキャプチャされる画像/対象物の品質、および画像/対象物からスキャンエンジンまでの距離によって異なります。高品質の画像を得るためには、キャプチャする画像/対象物からスキャンエンジンを4~6インチ（10.2~15.2 cm）離して配置することをおすすめします。

ステップ1 - IMGSNPを使用して写真を撮影する

画像撮影 - IMGSNP

ハードウェアボタンが押されるたびに、または画像撮影（IMGSNP）コマンドが処理されたときに、画像が撮影されます。

画像撮影コマンドには、メモリ内の画像の外観を変更するために使用できるさまざまな修飾子があります。IMGSNPコマンドには、任意の数の修飾子を追加できます。たとえば、次のコマンドを使用すると、画像を撮影し、ゲインを上げ、撮影完了時にピープ音を鳴らすことができます。IMGSNP2G1B

IMGSNPの修飾子

P - イメージングスタイル

画像撮影のスタイルを設定します。

- 0P **デコードスタイル**。この処理では、露出パラメーターが満たされるまで数フレームを撮影できます。最後のフレームは後で利用できます。
- 1P **写真スタイル（初期設定）**。簡単なデジタルカメラのように、視覚的に最適化された画像が得られます。
- 2P **手動スタイル**。これは高度なスタイルであり、経験豊富なユーザーのみが使用する必要があります。スキャンエンジンを最も自由に設定できますが、自動露出機能はありません。

B - ビープ音

画像の撮影後にビープ音を鳴らします。

- 0B ビープ音なし (初期設定)
- 1B 画像がキャプチャされたときにビープ音を鳴らします。

T - トリガー待機

ハードウェア ボタンが押されてから画像を撮影します。これは[写真スタイル] (1P) を使用している場合にのみ利用可能です。

- 0T すぐに画像を撮影します (初期設定)
- 1T ボタンが押されてから画像を撮影します

L - LED状態

LEDを点灯するか消灯するか、そしていつ点灯/消灯するかを決定します。IDカードなどのカラー文書の写真撮影には、スキャンエンジンがスタンドに置かれている場合は特に、周辺光 (0L) が適しています。スキャナーを手に持つ場合は、LED照明 (1L) が適しています。[デコードスタイル] (0P) を使用している場合、[LED状態]は利用できません。

- 0L LED消灯 (初期設定)
- 1L LED点灯

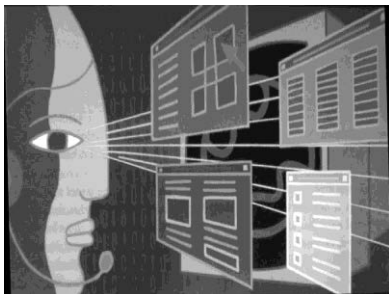
E - 露出

露出は[手動スタイル] (2P) でのみ使用され、露出時間を設定できます。これは、カメラのシャッター速度の設定に似ています。露出時間によって、スキャナーでの画像の記録にかかる時間が決まります。明るい日には、画像の記録に十分な採光があるため、露出時間は非常に短くて済みます。夜間は、採光がほとんどないために露出時間が大幅に長くなる場合があります。単位は127マイクロ秒です。

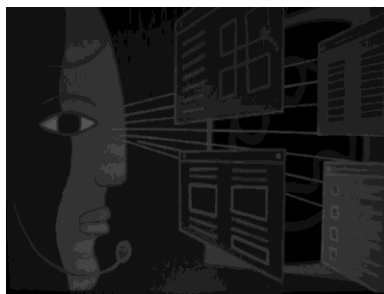
(初期設定は7874)

nE 範囲 : 1 ~ 7874

蛍光灯下での露出7874Eの例 :



蛍光灯下での露出100Eの例 :

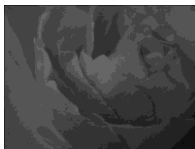


G - ゲイン

ゲインは[手動スタイル] (2P) でのみ使用されます。音量コントロールのように、ゲイン修飾子は信号を増幅し、ピクセル値を増加させます。ゲインを上げると、画像内のノイズも増幅されます。

- 1G ゲインなし (初期設定)
- 2G ゲイン中
- 4G ゲイン大
- 8G ゲイン最大

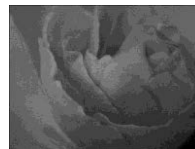
ゲイン1Gの例 :



ゲイン4Gの例 :



ゲイン8Gの例 :



W-ターゲットホワイト値

キャプチャされる画像のグレースケール中央値のターゲットを設定します。コントラストの高い文書の接写画像を取り込むには、75などの低めの設定をおすすめします。設定を高くするほど露出時間が長くなり、画像が明るくなりますが、設定が高すぎると画像が露出オーバーになることがあります。[ターゲットホワイト値]は[写真スタイル] (1P) を使用している場合にものみ利用可能です。(初期設定は125)

nW 範囲 : 0 ~ 255

ホワイト値75Wの例 :



ホワイト値125Wの例 :



ホワイト値200Wの例 :



D-許容デルタ

ホワイト値設定の許容範囲を設定します (W-ターゲットホワイト値を参照してください)。デルタは[写真スタイル] (1P) を使用している場合にものみ利用可能です。(初期設定は25)

nD 範囲 : 0 ~ 255

U-更新試行回数

スキャンエンジンがD-許容デルタに達するために取り込むフレームの最大数を設定します。[更新試行回数]は[写真スタイル] (1P) を使用している場合にものみ利用可能です。(初期設定は6)

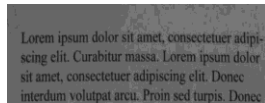
nU 範囲 : 0 ~ 10

%-ターゲットセットポイント割合

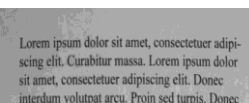
キャプチャされる画像の明暗値のターゲットポイントを設定します。75%に設定すると、ピクセルの75%がターゲットホワイト値以下になり、ピクセルの25%がターゲットホワイト値を上回ります。通常の場合では、この設定を初期設定から変更することはおすすめしません。グレースケール値を変更するには、W-ターゲットホワイト値を使用してください。(初期設定は50)

n% 範囲 : 1 ~ 99

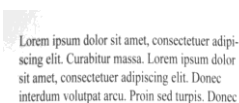
ターゲットセット
ポイント割合97%の例 :



ターゲットセット
ポイント割合50%の例 :



ターゲットセット
ポイント割合40%の例 :



ステップ2 - IMGSHPを使用して写真を送信する

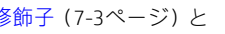
画像送信 - IMGSHP

ボタンが押されるたびに、または画像撮影 (IMGSNP) コマンドが処理されたときに、画像が撮影されます。最後の画像は常にメモリに保存されます。IMGSHPコマンドを使用して画像を「送信」できます。

画像送信コマンドには、画像出力の外観を変更するためにさまざまな修飾子を使用できます。修飾子は送信される画像に影響しますが、メモリ内の画像には影響しません。IMGSHPコマンドには、任意の数の修飾子を追加できます。たとえば、次のコマンドを使用すると、ガンマ補正と文書画像フィルタリングを行ったビットマップ画像を撮影して送信できます。IMGSNP;IMGSHP8F75K26U

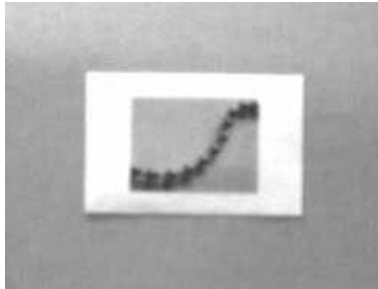
IMGSHPの修飾子

A-無限遠フィルター

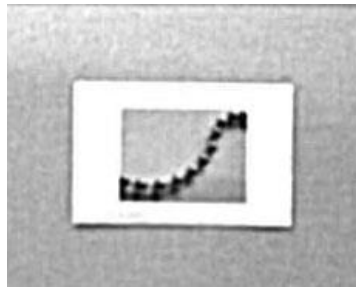
非常に長い距離（10フィートまたは3m以上）から撮影された画像を向上させます。無限遠フィルターは（7-3ページ）と一緒に使用しないでください。

- 0A 無限遠フィルター オフ（初期設定）
- 1A 無限遠フィルター オン

約12フィート（3.66 m）の距離で
無限遠フィルター オフ（0A）の例：



約12フィート（3.66 m）の距離で
無限遠フィルター オン（1A）の例：



C - 補正

画像全体の照度の変化を考慮して画像を平坦化します。

- 0C 補正無効（初期設定）
- 1C 補正有効

補正0Cの例：



補正1Cの例：



D - ピクセル深度

送信画像のピクセルあたりのビット数を示します（KIMまたはBMPフォーマットのみ）。

- 8D ピクセルあたり8ビット、グレースケール画像（初期設定）
- 1D ピクセルあたり1ビット、白黒画像

E-エッジシャープニング

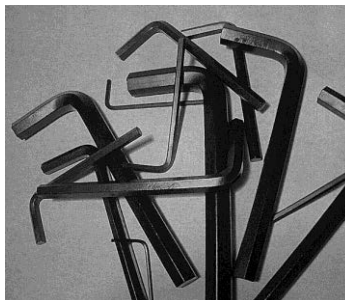
エッジシャープニングフィルターは、画像のエッジをきれいにし、よりきれいでシャープに見せます。エッジをシャープにすると画像がきれいに見えますが、元の画像から細かい部分が削除されます。エッジシャープニングフィルターの強度は、1から24の範囲で入力できます。23Eを入力するとエッジが最もシャープになりますが、画像のノイズも増えます。

- 0E 画像をシャープにしない (初期設定)
- 14E 標準画像用のエッジシャープニングを適用する
- ne 強度 n を使用してエッジシャープニングを適用する ($n=1\sim 24$)

エッジシャープニング0Eの例 :



エッジシャープニング24Eの例 :



F-ファイルフォーマット

希望する画像フォーマットを示します。

- 0F KIMフォーマット
- 1F TIFFバイナリ
- 2F TIFFバイナリグループ4、圧縮
- 3F TIFFグレースケール
- 4F 非圧縮バイナリ (左上から右下、1ピクセル/ビット、行末を0で埋める)
- 5F 非圧縮グレースケール (左上から右下、ビットマップフォーマット)
- 6F JPEG画像 (初期設定)
- 8F BMPフォーマット (右下から左上、非圧縮)
- 10F TIFFカラー圧縮画像
- 11F TIFFカラー非圧縮画像
- 12F JPEGカラー画像
- 14F BMPカラーフォーマット
- 15F BMP非圧縮未加工画像

H-ヒストグラムストレッチ

送信画像のコントラストを上げます。一部の画像フォーマットでは利用できません。

- 0H ストレッチなし (初期設定)
- 1H ヒストグラムストレッチ

ヒストグラム ストレッチ0Hの例 :



ヒストグラム ストレッチ1Hの例 :



I- 画像反転

画像反転は、X軸またはY軸を中心に画像を回転するために使用されます。

1ix X軸を中心に反転（画像を上下に反転）

1iy Y軸を中心に反転（画像を左右に反転）

反転されていない
画像の例：



画像反転を1ixに設定した
画像の例：



画像反転を1iyに設定した
画像の例：



IF - ノイズ低減

画像のごま塩ノイズを減らすために使用されます。

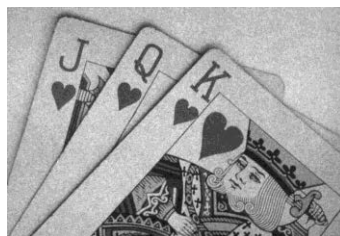
0if ごま塩ノイズ低減なし（初期設定）

1if ごま塩ノイズ低減

ノイズ低減オフ（0if）の例：



ノイズ低減オン（1if）の例：



IR - 画像回転

- 0ir 撮影したとおり（直立）の画像（初期設定）
- 1ir 画像を右に90度回転
- 2ir 画像を180度回転（上下逆さま）
- 3ir 画像を左に90度回転

画像回転を0irに設定した例：



画像回転を2irに設定した例：



画像回転を1irに設定した例：



画像回転を3irに設定した例：



J - JPEGの画質

JPEG画像フォーマットを選択したときの希望の画質を設定します。数値が高いほど画質が向上しますが、ファイルは大きくなります。数値が小さいほど、非可逆圧縮が多くなり、送信時間が短くなり、画質が低下しますが、ファイルは小さくなります。（初期設定は50）

- nJ 画質係数 n ($n=0\sim 100$)を維持しながら、画像をできるだけ圧縮する
- 0J 最低画質（最小ファイル）
- 100J 最高画質（最大ファイル）

K - ガンマ補正

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを表します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、画像は暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は50Kです。

- 0K ガンマ補正オフ（初期設定）
- 50K 標準的な文書画像を明るくするためのガンマ補正を適用
- nK ガンマ補正係数 n を適用 ($n=0\sim 1,000$)

ガンマ補正を0Kに
設定した例：



ガンマ補正を50Kに
設定した例：



ガンマ補正を255Kに
設定した例：

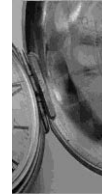


L、R、T、B、M - 画像の切り取り

左、右、上、および下のピクセル座標を指定して、画像のウィンドウを送信します。デバイスの列には0～1279の番号が付けられ、デバイスの行には0～959の番号が付けられています。

- nL 送信される画像の左端は、メモリ内の画像の列 n に対応します。範囲：000～843（初期設定は0）
- nR 送信される画像の右端は、メモリ内の画像の列 $n-1$ に対応します。範囲：000～843（初期設定は全列）
- nT 送信される画像の上端は、メモリ内の画像の行 n に対応します。範囲：000～639（初期設定は0）
- nB 送信される画像の下端は、メモリ内の画像の行 $n-1$ に対応します。範囲：000～639（初期設定は全行）

切り取られていない画像： 画像の切り取りを300Rに設定した例： 画像の切り取りを300Lに設定した例：



画像の切り取りを200Bに設定した例：



画像の切り取りを200Tに設定した例：



または、画像の外側のマージンから切り取るピクセル数を指定します。この場合、中央のピクセルだけが送信されます。

- nM マージン：画像の左から n 列、右から $n+1$ 列、上から n 行、下から $n+1$ 行を切り取ります。残りの中央のピクセルを送信します。範囲：0～238（初期設定は0、または全画像）

画像の切り取りを238Mに設定した例：



P-プロトコル

画像の送信に使用されます。プロトコルは、ホストに送信される画像データの2つの機能に対応しています。データの送信に使用されるプロトコル（Hmodem：追加のヘッダー情報を持つXmodem 1Kの変形）、および送信される画像データのフォーマットを扱います。

- 0P なし（未加工データ）
- 2P なし（USBの初期設定）
- 3P 圧縮Hmodem（RS232の初期設定）
- 4P Hmodem

S-ピクセル送信

ピクセル送信は、画像のサイズを元のサイズに対する割合で変更します。これは、一定間隔おきに一部のピクセルのみを送信することによってイメージを間引きします。たとえば、4Sでは4行ごと、4ピクセルごとに送信します。送信されるピクセル数が少ないほど、画像は小さくなりますが、ある時点を過ぎると画像は見えなくなります。

- 1S すべてのピクセルを送信（初期設定）
- 2S 縦横とも2ピクセルごとに送信

35 縦横とも3ピクセルごとに送信

ピクセル送信を15に
設定した例：



ピクセル送信を25に
設定した例：



ピクセル送信を35に
設定した例：



U- 文書画像フィルター

画像内のエッジをシャープにし、テキストのエッジ間の領域を滑らかにするためのパラメーターを入力できます。このフィルターは、スキャンエンジンをスタンドに置いた状態で、以下のコマンドでキャプチャした画像に、ガンマ補正(7-7ページを参照してください)とともに使用するようにしてください。

IMGSNP1POL168W90%32D

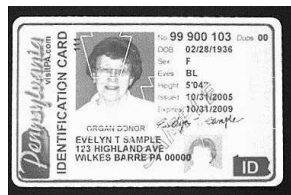
このフィルターは通常、標準のE- エッジシャープニング コマンド(7-9ページを参照してください)よりも優れたJPEG圧縮を提供します。このフィルターは、白黒のみの画像(ピクセルあたり1ビット)を送信するときにも役立ちます。最適な設定は26Uです。

0U 文書画像フィルターオフ(初期設定)

26U 標準文書画像用の文書画像フィルターを適用する

nU グレースケールしきい値nを使用して文書画像フィルターを適用する。画像のコントラストが低い場合は、低い数値を使用してください。1Uでは、E- エッジシャープニング(7-5ページ)を22eに設定した場合と同様の効果が得られます。範囲：0~255

文書画像フィルターを0Uに設定した例： 文書画像フィルターを26Uに設定した例：



V- 画像ぼかし

画像内の境界が明瞭な線および陰影領域のハードエッジに隣接するピクセルを平均化することによって、遷移を滑らかにします。

0V ぼかさない(初期設定)

1V ぼかす

画像ぼかしオフ(0V)の例：



画像ぼかしオン(1V)の例：



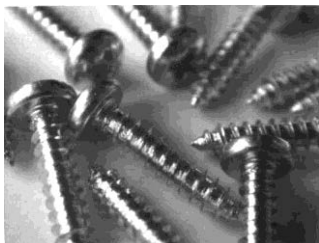
W- ヒストグラム送信

ヒストグラムによって、画像の色調範囲、つまりキーの種類を簡単に識別できます。ローキー画像では、細部がシャドウに集中します。ハイキー画像では、細部がハイライトに集中します。アベレージキー画像では、細部が中間トーンに集中します。この修飾子は画像のヒストグラムを送信します。

0W ヒストグラムを送信しない(初期設定)

1W ヒストグラムを送信する

ヒストグラムに使用された画像 :



左の画像のヒストグラム :



画像サイズの互換性

使用するアプリケーションで、画像送信が正確に640x480ピクセルを返すことを想定している場合は、[VGA解像度の強制]バーコードをスキャンします。初期設定は[ネイティブ解像度]です。



IMGVGA1.
VGA解像度の強制



IMGVGA0.
* ネイティブ解像度

インテリジェントな署名キャプチャ - IMGBOX

IMGBOXを使用すると、バーコードまでの距離を基に、署名キャプチャ領域のサイズと位置を設定できます。これにより、署名キャプチャ領域を特定のフォームに合わせることができます。IMGBOXを使用するには、署名ボックスの位置がバーコードに対して相対的な既知の位置にあるような一定のフォームが必要です。署名領域の全体的なサイズを入力できるほか、署名領域からバーコードまでの垂直方向および水平方向の距離を指定できます。また、署名キャプチャ画像の最終出力の解像度とファイルフォーマットも設定できます。

注 : IMGBOXコマンドは、PDF417、Code 39、Code 128、Aztec、Codabar、およびInterleaved 2 of 5のどれかのバーコードでのみ使用できます。これらの読み取りコードの1つが読み取られると、画像はIMGBOXコマンド用に保持されます。

署名キャプチャの最適化

スキャン エンジンで頻繁に署名をキャプチャする場合は、そのための最適化が必要です。ただし、このモードを有効にすると、バーコードの読み取り速度が遅くなる可能性があります。初期設定は、オフです。



DECBND1.
最適化オン

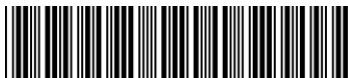


DECBND0.
* 最適化オフ

以下のIMGBOXの例は、QuickViewソフトウェアを使用して実行し、表示したものです。このソフトウェアは<https://www.honeywellaidc.com/ja-jp/>から入手できます。[ソフトウェアのダウンロード]をクリックします。製品リストから4600rを選択し、[QuickView Software Utility]を選択します。

署名キャプチャアプリケーションの例を以下に示します。この例では、署名キャプチャ領域の中央に照準を置いてトリガーを押します。ピープ音が1回鳴って、スキャンエンジンがCode 128バーコードを読み取り、データがホストに転送されたことを知らせます。この時点でホストからIMGBOXコマンドが送信され、そのコードの下の署名キャプチャ領域の座標が指定されます。これにより、署名を含むその領域のみが画像としてホストに転送されることを示します。

この例を見るには、照準を（バーコードではなく）署名領域に合わせてから、トリガーを押します。

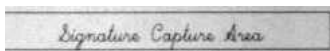


ボタンを押した後、以下のIMGBOXコマンド文字列を送信します。

例：IMGBOX245w37h55y

注：コマンド文字列では大文字と小文字は重要ではありません。ここでは単にわかりやすくするために使用しています。

以下の画像が取り込まれます。



IMGBOXコマンドには、スキャンエンジンから出力される署名画像のサイズと外観の変更に使用できるさまざまな修飾子があります。修飾子は送信される画像に影響しますが、メモリ内の画像には影響しません。IMGBOXコマンドには、任意の数の修飾子を追加できます。

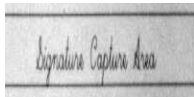
注：IMGBOXコマンドにウィンドウサイズ（幅と高さ）が指定されていないと、NAKが返されます。H-署名キャプチャ領域の高さ（7-12ページ）およびW-署名キャプチャ領域の幅（7-13ページ）を参照してください。

IMGBOXの修飾子

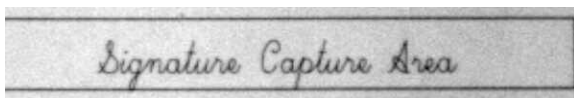
A - 出力画像の幅

このオプションは、画像を水平方向にサイズ変更するために使用されます。このオプションを使用する場合は、解像度（R）をゼロに設定してください。

画像の幅を200Aに設定した例：



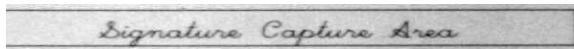
画像の幅を600Aに設定した例：



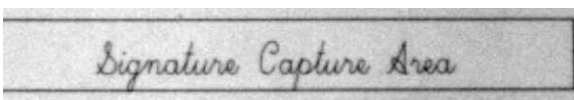
B - 出力画像の高さ

このオプションは、画像を垂直方向にサイズ変更するために使用されます。このオプションを使用する場合は、解像度 (R) をゼロに設定してください。

画像の高さを50Bに設定した例：



画像の高さを100Bに設定した例：



D- ピクセル深度

送信画像のピクセルあたりのビット数を示し、グレースケールか白黒かを定義します。

- 8D ピクセルあたり8ビット、グレースケール画像 (初期設定)
- 1D ピクセルあたり1ビット、白黒画像

F- ファイルフォーマット

このオプションは、画像を保存するファイルフォーマットの種類を示します。

- 0F KIMフォーマット
- 1F TIFFバイナリ
- 2F TIFFバイナリーグループ4、圧縮
- 3F TIFFグレースケール
- 4F 非圧縮バイナリ
- 5F 非圧縮グレースケール
- 6F JPEG画像 (初期設定)
- 7F 輪郭画像
- 8F BMPフォーマット

H- 署名キャプチャ領域の高さ

署名キャプチャ領域の高さは、インチ数を0.01で割った値で表されます。この例では、キャプチャされる領域の高さは3/8インチなので、 $H = 0.375 / 0.01 = 37.5$ という値になります。

例：IMGBOX245w**37**h55y

K- ガンマ補正

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを表します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、画像は暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は50Kです。

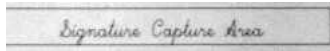
- 0K ガンマ補正オフ (初期設定)
- 50K 標準的な文書画像を明るくするためのガンマ補正を適用

nK ガンマ補正係数nを適用 (n=1~255)

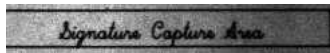
ガンマ補正を0Kに設定した例：



ガンマ補正を50Kに設定した例：



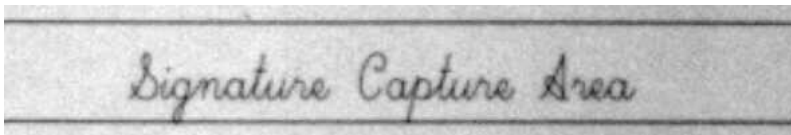
ガンマ補正を255Kに設定した例：



R-署名キャプチャ領域の解像度

解像度は、最小バー幅ごとにスキャンエンジンが出力するピクセル数です。Rの値が高いほど画質が向上しますが、ファイルサイズも大きくなります。値は1000から始まります。スキャンエンジンは自動的に1桁目と2桁目の間に小数点を挿入します。たとえば、2.5の解像度を指定するには、2500を使用します。AおよびB修飾子を使用する場合は、ゼロに設定してください（7-11ページのA-出力画像の幅およびB-出力画像の高さを参照してください）。

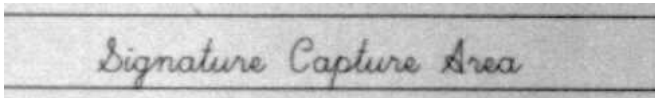
解像度を0Rに設定した例：



解像度を1000Rに設定した例：



解像度を2000Rに設定した例：



S-バーコード縦横比

IMGBOXで使用されるすべての寸法は、バーコードの最小エレメントサイズの倍数で表されます。バーコードの縦横比では、細エレメントの幅に対するバーコードの高さの比率を設定できます。この例では、細エレメントの幅は0.010インチ、バーコードの高さは0.400インチなので、 $S = 0.4/0.01 = 40$ という値になります。

W-署名キャプチャ領域の幅

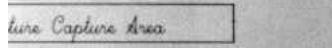
署名キャプチャ領域の幅は、インチ数を0.01で割った値で表されます。この例では、キャプチャされる領域の幅は2.4インチなので、 $W = 2.4/0.01 = 240$ という値になります（この例では、少し広い画像領域に対応するために245という値を使用しています）。

例：IMGBOX^{245w}37h55y

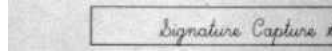
X-水平バーコードオフセット

水平バーコード オフセットを使用すると、署名キャプチャ領域の水平方向の中心をオフセットできます。正の値は水平方向の中心を右に、負の値は左に移動します。最小バー幅の倍数で表されます。

水平オフセットを75Xに設定した例：



水平オフセットを-75Xに設定した例：



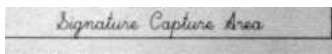
Y- 垂直バーコードオフセット

垂直バーコードオフセットを使用すると、署名キャプチャ領域の垂直方向の中心をオフセットできます。負の値は署名キャプチャ領域がバーコードの上にあることを示し、正の値は領域がバーコードの下にあることを示します。最小バー幅の倍数で表されます。

垂直オフセットを-7Yに設定した例：



垂直オフセットを65Yに設定した例：



RF初期設定のイメージング デバイス

スキャンエンジンはイメージングコマンド処理 (IMGSHF、IMGSNP、IMGBOX) をサポートしているため、[EZConfig-Scanning] (8-3ページを参照してください) および他のアプリケーションは、スキャナーと直接通信しているかのようにイメージング機能を実行できます。これを実現するために、スキャナーはRF_DID (RFの初期設定のイメージング デバイス) というメニュー コマンドを使用します。RF_DIDは、イメージングコマンドを受信するスキャナーの名前 (BT_NAM) です。RF_DIDの初期設定は「*」で、関連するすべてのスキャナーにイメージングコマンドが送信されることを示します。特定のスキャナーに送信されるようにするには、この設定をRF_DIDscanner_nameに変更します。

ユーティリティ

すべての読み取りコードにテストコードIDプレフィックスを追加する

この項目では、デコードされた読み取りコードの前にコードIDを送信する機能をオンにできます（各読み取りコードを識別する単一文字コードについては、A-1ページ以降の[読み取りコード表](#)を参照してください）。この操作では、まず現在のプレフィックスがすべて消去され、次にすべての読み取りコードに対してコードIDプレフィックスがプログラムされます。これは一時的な設定で、ユニットの電源を入れ直すと削除されます。



PRECA2,BK2995C80!

すべての読み取りコードへのコードID
プレフィックスの追加（一時的）

デコーダーのリビジョンの表示

デコーダーのリビジョンを出力するには、以下のバーコードをスキャンします。



REV_DR.

デコーダーのリビジョンの表示

スキャンドライバーのリビジョンの表示

スキャンドライバーのリビジョンを出力するには、以下のバーコードをスキャンします。スキャンドライバーは画像のキャプチャを制御します。



REV_SD.

スキャンドライバーのリビジョンの表示

ソフトウェアのリビジョンの表示

スキャンエンジンとベースの両方で、現在のソフトウェアのリビジョン、ユニットのシリアル番号、その他の製品情報を出力するには、以下のバーコードをスキャンします。



REVINF.

ソフトウェアのリビジョンの表示

データフォーマットの表示

現在のデータフォーマット設定を表示するには、以下のバーコードをスキャンします。



DFMBK3?.

データフォーマット設定

テストメニュー

テストメニューの[オン]コードをスキャンしてから、このガイドのプログラミングコードをスキャンすると、スキャンエンジンにプログラミングコードの内容が表示されます。プログラミング機能は引き続き動作しますが、それに加えて、そのプログラミングコードの内容が端末に出力されます。

注：通常のスキャンエンジン操作ではこの機能を使用しないでください。



TotalFreedom

TotalFreedomは、スキャンエンジンに常駐するアプリケーションを作成できるオープンシステムアーキテクチャです。TotalFreedomを使用してデコードアプリとデータフォーマットアプリを作成できます。TotalFreedomについて詳しくは、当社のWebサイト、<https://www.honeywellaidc.com/ja-jp/> にアクセスしてください。

アプリケーションプラグイン (アプリ)

以下のバーコードをスキャンすることで、使用するアプリをオフまたはオンにできます。アプリはデコードとフォーマットというグループごとに保存されています。以下のグループの**オン**または**オフ**のバーコードをスキャンして、これらのグループのアプリを有効または無効にすることができます。[アプリの一覧表示]バーコードをスキャンして、すべてのアプリのリストを出力することもできます。



注：アプリの設定を有効にするには、デバイスをリセットする必要があります。

[EZConfig-Scanning]の概要

[EZConfig-Scanning]は、PCに接続されたスキャンエンジンで実行できる、PCベースのさまざまなプログラミング機能を提供します。[EZConfig-Scanning]では、スキャンエンジンファームウェアのアップグレードのダウンロード、プログラム済みパラメーターの変更、プログラミングバーコードの作成と印刷を行うことができます。[EZConfig-Scanning]を使用すると、スキャンエンジンのプログラミングパラメーターを保存したり開いたりすることもできます。この保存したファイルを電子メール送信したり、必要に応じて、カスタマイズしたプログラミングパラメーターをすべて含めた単一のバーコードを作成し、電子メールやFaxでどこへでも送信したりできます。他の場所にいるユーザーは、そのバーコードをスキャンして、カスタマイズしたプログラミングに読み込むことができます。

[EZConfig-Scanning]の操作

[EZConfig-Scanning]ソフトウェアは、以下の操作を実行します。

Scan Data（スキャンデータ）

[Scan Data]では、バーコードをスキャンし、バーコードデータをウィンドウに表示できます。[Scan Data]では、スキャンエンジンにシリアルコマンドを送信し、スキャンエンジンの応答を受信して[Scan Data]ウィンドウで確認できます。[Scan Data]ウィンドウに表示されたデータは、ファイルに保存または印刷できます。

Configure（構成）

[Configure]には、スキャンエンジンのプログラミングおよび構成データが表示されます。スキャンエンジンのプログラミングおよび構成データは、いくつかのカテゴリにグループ化されています。各カテゴリは、アプリケーションエクスプローラーで[Configure]ツリーノード下にツリー項目として表示されます。これらのツリーノードをクリックすると、その特定のカテゴリに属するパラメーターフォームが右側に読み込まれます。[Configure]ツリーオプションには、スキャンエンジン用のプログラミングおよび構成パラメーターがすべて含まれています。これらのパラメーターは、必要に応じて設定または変更できます。その後、変更した設定をスキャンエンジンに書き込んだり、dcfファイルに保存したりできます。

Imaging（イメージング）

イメージングは、2Dスキャンエンジンが実行できるすべての画像関連機能を提供します。現在の設定を使用して画像をキャプチャでき、画像は画像ウィンドウに表示されます。スキャンエンジンからキャプチャした画像は、さまざまな画像フォーマットでファイルに保存できます。画像設定を変更してその画像設定をINIファイルに保存し、後でこれを読み込んで新しい画像をキャプチャすることができます。また、イメージングでは、スキャンエンジンによってキャプチャされた画像を連続してプレビューすることもできます。

Webからの[EZConfig-Scanning]のインストール

注：[EZConfig-Scanning]には.NETソフトウェアが必要です。お使いのPCに.NETがインストールされていない場合は、[EZConfig-Scanning]のインストール時に.NETのインストールを求めるメッセージが表示されます。

1. HoneywellのWebサイト、<https://www.honeywellaidc.com/ja-jp/> にアクセスします。
2. **[製品]**タブをクリックします。[ソフトウェア]の**[Device Management]**（デバイス管理）を選択します。
3. **[EZConfig-Device Configuration Software]**をクリックします。
4. **[ソフトウェア]**タブをクリックします。**[EZConfig Cloud For Scanning]**（オンライン版、アクセスには登録が必要）または**[EZConfig for Scanning]**（以下の手順に従ってお使いのPCにインストール）を選択します。
5. PCにインストールする場合は、メッセージが表示されたら**[Save File]**（ファイルの保存）を選択し、ファイルをc:\windows\tempディレクトリに保存します。
6. ファイルのダウンロードが終了したら、Webサイトを閉じます。
7. エクスプローラーを使用してc:\windows\tempのファイルにアクセスします。
8. **Setup.exe**ファイルをダブルクリックします。画面の説明に沿って[EZConfig-Scanning]プログラムをインストールします。
9. インストール時に初期設定値を選択した場合は、**[スタート]**メニュー、**[すべてのプログラム]**、**[Honeywell EZConfig-Scanning]**の順にクリックし、お使いのブラウザ用の[EZConfig]を選択します。

工場出荷時設定へのリセット



この項目では、ユーザー独自の設定をすべて消去し、スキャンエンジンを元の工場出荷時設定にリセットできます。プラグインもすべて無効になります。

スキャンエンジンにどのようなプログラミングオプションがあるかわからない場合や、一部のオプションの変更後にスキャンエンジンを工場出荷時設定に戻したい場合は、**[カスタム初期設定の削除]**バーコードをスキャンしてから、**[初期設定の有効化]**をスキャンします。これによってスキャンエンジンは工場出荷時設定にリセットされます。



DEFOVR.
カスタム初期設定の削除



DEFAULT.
初期設定の有効化

9-4ページ以降の**メニュー コマンド**には、各コマンドの工場出荷時設定の一覧が記載されています（プログラミング ページではアスタリスク（*）で示されています）。

シリアルプログラミングコマンド

プログラミングバーコードの代わりにシリアルプログラミングコマンドを使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらもスキャンエンジンをプログラムします。各シリアルプログラミングコマンドの説明と例については、このガイドに記載されている対応するプログラミングバーコードを参照してください。

デバイスはRS232インターフェイス (2-1ページ) またはUSBシリアルインターフェイス (2-3ページ) 向けに設定されている必要があります。以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを使用してPC COMポート経由で送信できます。

表記法

メニューコマンドおよびクエリコマンドの説明には、以下の表記法が使用されます。

parameter コマンドの一部として送信する実際の値を表すラベル。

[*option*] コマンドのオプション部分。

{*Data*} コマンド内の選択肢。

bold 画面に表示されるメニュー、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウの名前。

メニューコマンドの構文

メニューコマンドの構文は以下のとおりです（スペースを使用しているのは、単にわかりやすくするためです）。

Prefix Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [; Tag SubTag {Data}] [...] Storage

Prefix 3つのASCII文字：SYN M CR（ASCII 22、77、13）。

Tag 目的のメニューコマンドグループを識別する、大文字と小文字が区別されない3文字のフィールド。たとえば、RS-232構成の設定はすべて、232というTagで識別されます。

SubTag Tagのグループ内で目的のメニューコマンドを識別する、大文字と小文字が区別されない3文字のフィールド。たとえば、RS-232ボーレートのSubTagはBADです。

Data TagとSubTagで識別されるメニュー設定の新しい値。

Storage コマンドを適用するストレージテーブルを指定する1文字：

！（感嘆符）は、デバイスの揮発性のメニュー構成テーブルにコマンド操作を実行します。

。（ピリオド）は、デバイスの不揮発性のメニュー構成テーブルにコマンド操作を実行します。不揮発性のテーブルは、電源を入れ直したときにも保持したい半恒久的な変更にものみ使用してください。

重要：スキャンエンジンのフラッシュへの書き込み回数は限られています。頻繁にコマンドを送る場合、Honeywellではできる限り揮発性（!感嘆符）メモリを使用することを推奨しています。

シリアルコマンドの例

RS232ボーレートを115,200に設定します：SYN M CR 232BAD9. または \x16M\x0D232BAD9.

Prefix	Tag	SubTag	Data	Storage
SYN M CR	232	BAD	9	.

クエリコマンド

いくつかの特殊文字を使用してデバイスの設定を照会できます。

^ 設定の初期値。

? デバイスでの設定の現在値。

* 設定に指定可能な値の範囲（デバイスの応答では、連続する値の範囲はダッシュ（-）で示されます。連続しない値はパイプ（|）で区切られたリストで示されます）。

:Name:フィールドの使用方法（オプション）

このコマンドはスキャン エンジンからクエリ情報を取得します。

Tagフィールドの使用方法

Tagフィールドの代わりにクエリを使用すると、コマンドのStorageフィールドで指定された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドセット全体にクエリが適用されます。この場合、SubTagおよびDataフィールドはデバイスで無視されるため、使用しないでください。

SubTagフィールドの使用方法

SubTagフィールドの代わりにクエリを使用すると、Tagフィールドに一致する使用可能な一部のコマンドのみにクエリが適用されます。この場合、Dataフィールドはデバイスで無視されるため、使用しないでください。

Dataフィールドの使用方法

Dataフィールドの代わりにクエリを使用すると、TagフィールドとSubTagフィールドで識別される特定のコマンドのみにクエリが適用されます。

複数のコマンドの連結

1つのPrefix/Storageシーケンス内で複数のコマンドを発行できます。シーケンス内の各コマンドで繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、およびDataフィールドだけです。同じTagに適用するコマンドを追加する場合は、新しいコマンド シーケンスをコンマ (,) で区切り、追加のコマンドのSubTagフィールドおよびDataフィールドのみを発行します。追加のコマンドに別のTagフィールドが必要な場合は、コマンドをセミコロン (;) で前のコマンドから区切ります。

応答

デバイスはシリアル コマンドに対して以下の3つの応答を返します。

ACK コマンドが正常に処理されたことを示します。

ENQ TagまたはSubTagコマンドが無効であることを示します。

NAK コマンドは正しいが、Dataフィールドの入力がこのTagとSubTagの組み合わせで使用可能な範囲にないことを示します。たとえば、最小メッセージ長を100と入力したが、このフィールドは2文字しか受け付けられない場合などです。

応答時、デバイスはコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータス文字を挿入して、コマンドシーケンスをエコー バックします。

クエリ コマンドの例

以下の例で、角括弧[]は表示されない応答を示しています。

例： [Codabarコード有効化]に指定可能な値の範囲は?

入力： cbrena*

応答： CBRENA0-1[ACK]

この応答は、[Codabarコード有効化] (CBRENA) の値の範囲が0~1 (オフおよびオン) であることを示しています。

例： [Codabarコード有効化]の初期設定値は?

入力： cbrena^

応答： CBRENA1[ACK]

この応答は、[Codabarコード有効化] (CBRENA) の初期設定値が1 (オン) であることを示しています。

例： デバイスでの[Codabarコード有効化]の現在値は?

入力： cbrena?

応答： CBRENA1[ACK]

この応答は、デバイスの[Codabarコード有効化] (CBRENA) が1 (オン) に設定されていることを示しています。

例： デバイスでのCodabarの全項目の設定は?

入力： cbr?

応答 : CBRENA1[ACK],
SSX0[ACK],
CK20[ACK],
CCT1[ACK],
MIN2[ACK],
MAX60[ACK],
DFT[ACK]

この応答は以下のことを示しています。

- デバイスの[Codabarコード有効化] (CBRENA) が1 (オン) に設定されている。
- [開始/終了文字] (SSX) が0 (送信しない) に設定されている。
- [チェック文字] (CK2) が0 (必須でない) に設定されている。
- [連結] (CCT) が1 (有効) に設定されている。
- [最小メッセージ長] (MIN) が2文字に設定されている。
- [最大メッセージ長] (MAX) が60文字に設定されている。
- [初期設定] (DFT) に値がない。

トリガー コマンド

スキャン エンジンを実リアルトリガー コマンドで有効化および無効化できます。まず、[手動トリガー モード]バーコードをスキャンするか (3-5ページ)、トリガー用のシリアルメニュー コマンドを送信することで (9-8ページ)、スキャン エンジンを手動トリガー モードにする必要があります。スキャン エンジンがシリアルトリガー モードになったら、以下のコマンドを送信してトリガーを有効化および無効化できます。

有効化 : SYN T CR

無効化 : SYN U CR

バーコードが読み取られるか、無効化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウト (詳しくは、3-7ページの[読み取りタイムアウト]、および9-9ページのシリアルコマンドを参照してください) に達するまで、スキャン エンジンはスキャンを続行します。

カスタム初期設定の指定

シリアル コマンドを送信してカスタム初期設定を指定できます。製品にカスタム初期設定を保存するには、以下の連結コマンド形式を使用します。

MNUCDF;DEFOVR;<CMD1>;<CMD2>;...<CMDX>;MNUCDS@

カスタム初期設定の指定	カスタム初期設定リストの削除	メニュー コマンドリスト	カスタムの初期設定の保存 (@=カスタム初期設定テーブルに保存)
MNUCDF	DEFOVR	<CMD1>;<CMD2>;...<CMDX>	MNUCDS@

カスタム初期設定はすぐには適用されません。有効にするには、[初期設定の有効化]コマンドを送信します (または以下のバーコードを読み取ります)。

DEFAULT

カスタム初期設定へのリセット

お使いのスキャン エンジンにカスタム初期設定を復元するには、下記の[カスタム初期設定の有効化]バーコードをスキャンします。これによってスキャン エンジンはカスタム初期設定にリセットされます。カスタム初期設定が設定されていない場合、スキャン エンジンは工場出荷時の設定にリセットされます。カスタム初期設定で指定されていない設定はすべて工場出荷時の設定に戻ります。



DEFAULT.

カスタム初期設定の有効化

以降のページの表には、各コマンドの工場出荷時設定の一覧が記載されています (プログラミング ページではアスタリスク (*) で示されています)。

メニュー コマンド

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアル コマンド #は数値入力を示す	ページ
製品の初期設定			
カスタム初期設定の指定	カスタム初期設定の指定	MNUCDP	1-2
	カスタムの初期設定の保存	MNUCDS	1-2
カスタム初期設定へのリセット	カスタム初期設定の有効化	DEFAULT	1-3
工場出荷時設定へのリセット	カスタム初期設定の削除	DEFOVR	8-4
インターフェイスのプログラミング			
RS232インターフェイス	RS232シリアルポート	TERMID0;232BAD9;232 WRD2	2-1
プラグアンドプレイコード : IBM SurePos	USB IBM SurePosハンドヘルド	PAPSPH	2-2
	USB IBM SurePosテーブルトップ	PAPSPT	2-2
プラグアンドプレイコード : USB	USBキーボード (PC)	PAP124	2-2
	USBキーボード (Mac)	PAP125	2-2
	USB日本語キーボード (PC)	TRMUSB134	2-2
	USB HID	TERMID131	2-2
	USBシリアル	TERMID130	2-3
	CTS/RTSエミュレーション オン	USBCTS1	2-3
	CTS/RTSエミュレーション オフ*	USBCTS0	2-3
	ACK/NAKモード オン	USBACK1	2-3
	ACK/NAKモード オフ*	USBACK0	2-3
USB用Remote MasterMind	ReMオフ	REMIFC0	2-4
	ReMオン	REMIFC1	2-4
プラグアンドプレイコード	Verifone Ruby端末	PAPRBY	2-3
	Gilbarco端末	PAPGLB	2-4
	Honeywell Bioptic Auxポート	PAPBIO	2-4
	Datalogic Magellan Bioptic Auxポート	PAPMAG	2-4
	NCR Bioptic Auxポート	PAPNCR	2-5
	Wincor Nixdorf端末	PAPWNX	2-5
	Wincor Nixdorf Beetle	PAPBTL	2-5
	Wincor Nixdorf RS232モードA	PAPWMA	2-7
キーボードの国別の プログラミング	*米国	KBDCTY0	2-7
	アルバニア	KBDCTY35	2-7
	アゼリー語 (キリル)	KBDCTY81	2-7
	アゼリー語 (ラテン)	KBDCTY80	2-7
	ベラルーシ	KBDCTY82	2-7
	ベルギー	KBDCTY1	2-7
	ボスニア	KBDCTY33	2-7
	ブラジル	KBDCTY16	2-7
	ブラジル (MS)	KBDCTY59	2-7
	ブルガリア (キリル)	KBDCTY52	2-7
	ブルガリア (ラテン)	KBDCTY53	2-8

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
	カナダ (フランス語レガシー)	KBDCTY54	2-8
	カナダ (フランス語)	KBDCTY18	2-8
	カナダ (マルチリンガル)	KBDCTY55	2-8
	クロアチア	KBDCTY32	2-8
	チェコ語	KBDCTY15	2-8
	チェコ語 (プログラマー)	KBDCTY40	2-8
	チェコ語 (QWERTY)	KBDCTY39	2-8
	チェコ語 (QWERTZ)	KBDCTY38	2-8
	デンマーク	KBDCTY8	2-8
	オランダ語 (オランダ)	KBDCTY11	2-8
	エストニア	KBDCTY41	2-9
	フェロー語	KBDCTY83	2-9
	フィンランド	KBDCTY2	2-9
	フランス	KBDCTY3	2-9
	ゲール語	KBDCTY84	2-9
	ドイツ	KBDCTY4	2-9
	ギリシャ語	KBDCTY17	2-9
	ギリシャ語 (220ラテン)	KBDCTY64	2-9
	ギリシャ語 (220)	KBDCTY61	2-9
	ギリシャ語 (319ラテン)	KBDCTY65	2-9
	ギリシャ語 (319)	KBDCTY62	2-9
	ギリシャ語 (ラテン)	KBDCTY63	2-10
	ギリシャ語 (MS)	KBDCTY66	2-10
	ギリシャ語 (Polytonic)	KBDCTY60	2-10
	ヘブライ語	KBDCTY12	2-10
	ハンガリー語 (101キー)	KBDCTY50	2-10
	ハンガリー	KBDCTY19	2-10
	アイスランド	KBDCTY75	2-10
	アイルランド語	KBDCTY73	2-10
	イタリア語 (142)	KBDCTY56	2-10
	イタリア	KBDCTY5	2-10
	日本ASCII	KBDCTY28	2-10
	カザフ語	KBDCTY78	2-11
	キルギス語 (キリル)	KBDCTY79	2-11
	ラテンアメリカ	KBDCTY14	2-11
	ラトビア	KBDCTY42	2-11
	ラトビア (QWERTY)	KBDCTY43	2-11
	リトアニア	KBDCTY44	2-11
	リトアニア (IBM)	KBDCTY45	2-11
	マケドニア	KBDCTY34	2-11
	マルタ	KBDCTY74	2-11
	モンゴル語 (キリル)	KBDCTY86	2-11
	ノルウェー	KBDCTY9	2-11

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
	ポーランド	KBDCTY20	2-12
	ポーランド語 (214)	KBDCTY57	2-12
	ポーランド語 (プログラマー)	KBDCTY58	2-12
	ポルトガル	KBDCTY13	2-12
	ルーマニア	KBDCTY25	2-12
	ロシア	KBDCTY26	2-12
	ロシア語 (MS)	KBDCTY67	2-12
	ロシア語 (タイプライター)	KBDCTY68	2-12
	SCS	KBDCTY21	2-12
	セルビア (キリル)	KBDCTY37	2-12
	セルビア (ラテン)	KBDCTY36	2-12
	スロバキア	KBDCTY22	2-13
	スロバキア (QWERTY)	KBDCTY49	2-13
	スロバキア (QWERTZ)	KBDCTY48	2-13
	スロベニア	KBDCTY31	2-13
	スペイン	KBDCTY10	2-13
	スペイン語バリエーション	KBDCTY51	2-13
	スウェーデン	KBDCTY23	2-13
	スイス (フランス語)	KBDCTY29	2-13
	スイス (ドイツ語)	KBDCTY6	2-13
	タタール語	KBDCTY85	2-13
	トルコF	KBDCTY27	2-13
	トルコQ	KBDCTY24	2-14
	ウクライナ語	KBDCTY76	2-14
	イギリス	KBDCTY7	2-14
	米国 (Dvorak右)	KBDCTY89	2-14
	米国 (Dvorak左)	KBDCTY88	2-14
	米国 (Dvorak)	KBDCTY87	2-14
	米国 (インターナショナル)	KBDCTY30	2-14
	ウズベク語 (キリル)	KBDCTY77	2-14
キーボード変換	*キーボード変換オフ	KBDCNV0	2-15
	すべての文字を大文字に変換	KBDCNV1	2-15
	すべての文字を小文字に変換	KBDCNV1	2-15
キーボードスタイル	*標準	KBDSTY0	2-14
	Caps Lock	KBDSTY1	2-14
	Shift Lock	KBDSTY2	2-15
	自動Caps Lock	KBDSTY6	2-15
	外付けキーボード のエミュレート	KBDSTY5	2-15
制御文字の出力	*制御文字の出力オフ	KBDNPE0	2-16
	*制御文字の出力オン	KBDNPE1	2-16
キーボード修飾子	* Control + Xオフ	KBDCAS0	2-16

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
	DOSモード Control + X	KBDCAS1	2-16
	Windowsモード Control + X	KBDCAS2	2-16
	Windowsモード プレフィックス/サフィックス オフ	KBDCAS3	2-16
	*ターボモード オフ	KBDTMD0	2-17
	ターボモード オン	KBDTMD1	2-16
	*テンキー オフ	KBDNPS0	2-17
	テンキー オン	KBDNPS1	2-17
	*自動直接接続オフ	KBDADC0	2-17
	自動直接接続オン	KBDADC1	2-17
ボーレート	300 BPS	232BAD0	2-17
	600 BPS	232BAD1	2-17
	1200 BPS	232BAD2	2-17
	2400 BPS	232BAD3	2-18
	4800 BPS	232BAD4	2-18
	*9600 BPS	232BAD5	2-18
	19200 BPS	232BAD6	2-18
	38400 BPS	232BAD7	2-18
	57600 BPS	232BAD8	2-18
	115200 BPS	232BAD9	2-18
ワード長 : データビット、ストップビット、 およびパリティ	7データ、1ストップ、パリティ偶数	232WRD3	2-18
	7データ、1ストップ、パリティなし	232WRD0	2-18
	7データ、1ストップ、パリティ奇数	232WRD6	2-18
	7データ、2ストップ、パリティ偶数	232WRD4	2-19
	7データ、2ストップ、パリティなし	232WRD1	2-19
	7データ、2ストップ、パリティ奇数	232WRD7	2-19
	8データ、1ストップ、パリティ偶数	232WRD5	2-19
	*8データ、1ストップ、パリティなし	232WRD2	2-19
	8データ、1ストップ、パリティ奇数	232WRD8	2-19
	8データ、1ストップ、パリティマーク		2-19
RS232レシーバー タイムアウト	範囲0 ~ 300秒	232LPT###	2-19
RS232ハンドシェイク	*RTS/CTSオフ	232CTS0	2-20
	フロー制御、タイムアウトなし	232CTS1	2-20
	2方向フロー制御	232CTS2	2-20
	フロー制御、タイムアウトあり	232CTS3	2-20
	RS232タイムアウト	232DEL#####	2-20
	*XON/XOFFオフ	232XON0	2-20
	XON/XOFFオン	232XON1	2-20
	*ACK/NAKオフ	232ACK0	2-21
	ACK/NAKオン	232ACK1	2-21
RS232停止モード	RS232停止モード オン	232SDY	2-21
スキャナー-バイオプティック パケット モード	*パケット モード オフ	232PKT0	2-21
	パケット モード オン	232PKT2	2-21

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
スキャナー-バイオプティックACK/NAKモード	*バイオプティックACK/NAKオフ	232NAK0	2-22
	バイオプティックACK/NAKオン	232NAK1	2-22
スキャナー-バイオプティックACK/NAK タイムアウト	ACK/NAKタイムアウト *5100	232DLK#####	2-22
入出力の選択項目			
電源投入ビープ音	電源投入ビープ音オフ：スキャナー	BEPWRO	3-1
	*電源投入ビープ音オン：スキャナー	BEPWR1	3-1
BEL文字でのビープ音	BELでのビープ音オン	BELBEP1	3-1
	*BELでのビープ音オフ	BELBEP0	3-1
トリガー クリック音	オン	BEPTRG1	3-1
	*オフ	BEPTRG0	3-1
ビープ音：読み取り成功	オフ	BEPBEP0	3-2
	*オン	BEPBEP1	3-2
ビープ音量：読み取り成功	オフ	BEPLVL0	3-2
	小	BEPLVL1	3-2
	中	BEPLVL2	3-2
	*大	BEPLVL3	3-2
ビープ音程：読み取り成功（周波数）	低（1600）（最小400 Hz）	BEPFQ11600	3-2
	*中（2700）	BEPFQ12700	3-2
	高（4200）（最大9000 Hz）	BEPFQ14200	3-3
ビープ音程：エラー（周波数）	*Razz（250）（最小200 Hz）	BEPFQ2800	3-3
	中（3250）	BEPFQ23250	3-3
	高（4200）（最大9000 Hz）	BEPFQ24200	3-3
ビープ音の長さ：読み取り成功	*標準のビープ音	BEBIPI0	3-3
	短いビープ音	BEBIPI1	3-3
LED：読み取り成功	オフ	BEPLED0	3-3
	*オン	BEPLED1	3-3
ビープ音の回数：エラー	*1	BEPERR3	3-4
	範囲1～9	BEPERR#	3-4
ビープ音の回数：読み取り成功	*1	BEPRPT1	3-4
	範囲1～9	BEPRPT#	3-4
読み取り成功遅延	*遅延なし	DLYGRD0	3-4
	短い遅延（500ミリ秒）	DLYGRD500	3-4
	中程度の遅延（1000ミリ秒）	DLYGRD1000	3-4
	長い遅延（1500ミリ秒）	DLYGRD1500	3-4
ユーザー指定の読み取り成功遅延	範囲0～30,000ミリ秒	DLYGRD#####	3-4
手動トリガー モード	*手動トリガー：標準	PAPHHF	3-5
	手動トリガー：拡張	PAPHHS	3-5

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
文字有効化モード	*オフ	HSTCEN0	4-14
	オン	HSTCEN1	4-14
	有効化文字（範囲0～255） *12 [DC2]	HSTACH###	4-15
	*読み取り成功後に文字有効化を終了しない	HSTCGD0	4-15
	読み取り成功後に文字有効化を終了	HSTCGD1	4-15
	文字有効化タイムアウト（範囲1～300,000） *30,000ミリ秒	HSTCDT#####	4-15
文字無効化モード	*オフ	HSTDEN0	4-15
	オン	HSTDEN1	4-15
	無効化文字（範囲0～255） *14 [DC4]	HSTDCH###	4-16
シリアルトリガー モード	読み取りタイムアウト （0～300,000ミリ秒） *30,000	TRGSTO####	3-7
プレゼンテーション	プレゼンテーション モード	TRGMOD3	3-8
LED照明：プレゼンテーション モード	オフ	PWRLDC0	3-8
	低	PWRLDC100	3-8
	*高	PWRLDC150	3-8
デコード後のプレゼンテーションLEDの動作	*LED点灯	TRGPCK1	3-9
	LED消灯	TRGPCK0	3-9
プレゼンテーション感度	範囲0～20（*1）	TRGPMS##	3-9
プレゼンテーションセンタリングウィンドウ	プレゼンテーションセンタリングオン	PDCWIN1	4-9
	*プレゼンテーションセンタリングオフ	PDCWIN0	4-9
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 左辺（*40%）	PDCLFT###	4-10
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 右辺（*60%）	PDCRGT###	4-10
	プレゼンテーションセンタリングウィンドウ 上辺（*40%）	PDCTOP###	4-10
	プレゼンテーションセンタリングウィン ドウ下辺（*60%）	PDCBOT###	4-10
CodeGate	*スタンド非装着時CodeGateオフ	AOSCGD0	4-11
	スタンド非装着時CodeGateオン	AOSCGD1	4-11
ストリーミングプレゼンテーション	ストリーミングプレゼンテーションモード： 標準	PAPSPN	3-11
	ストリーミングプレゼンテーションモー ド：拡張	PAPSPE	3-11
携帯電話読み取りモード	ハンドヘルドスキャン：携帯電話	PAPHHC	3-8
	ストリーミングプレゼンテーション：携帯電話	PAPSPC	3-8
低品質コード	低品質1D読み取りオン	DECLDI1	4-11
	*低品質1D読み取りオフ	DECLDI0	4-11
	低品質PDF読み取りオン	PDFXPR1	4-11
	*低品質PDF読み取りオフ	PDFXPRO	4-11
画像撮影と送信	画像撮影と送信	TRGMOD6	3-13

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
ハンズフリー タイムアウト	範囲0 ~ 300,000ミリ秒	TRGP0#####	3-13
再読み取り遅延	短 (500ミリ秒)	DLYRRD500	3-13
	*中 (750ミリ秒)	DLYRRD750	3-13
	長 (1000ミリ秒)	DLYRRD1000	3-13
	極長 (2000ミリ秒)	DLYRRD2000	3-13
ユーザー指定の再読み取り遅延	範囲0 ~ 30,000ミリ秒	DLYRRD#####	3-13
2D再読み取り遅延	*2D再読み取り遅延オフ	DLY2RR0	3-14
	短 (1000ミリ秒)	DLY2RR1000	3-14
	中 (2000ミリ秒)	DLY2RR2000	3-14
	長 (3000ミリ秒)	DLY2RR3000	3-14
	極長 (4000ミリ秒)	DLY2RR4000	3-14
照明光	*ライト オン	SCNLED1	3-6
	ライト オフ	SCNLED0	3-6
照準遅延	200ミリ秒	SCNDLY200	3-15
	400ミリ秒	SCNDLY400	3-15
	*オフ (遅延なし)	SCNDLY0	3-15
ユーザー指定の照準遅延	範囲0 ~ 4,000ミリ秒	SCNDLY####	3-15
照準モード	オフ	SCNAIM0	3-15
	*インターレース	SCNAIM2	3-15
センタリング ウィンドウ	センタリング オン	DECWIN1	3-16
	*センタリング オフ	DECWIN0	3-16
	センタリング ウィンドウ上辺 (*40%)	DECTOP###	3-16
	センタリング ウィンドウ下辺 (*60%)	DECBOT###	3-16
優先読み取りコード	オン	PRFENA1	3-17
	*オフ	PRFENA0	3-17
	高優先度の読み取りコード	PRFCOD##	3-17
	低優先度の読み取りコード	PRFBLK##	3-17
	優先読み取りコードのタイムアウト (*500) 範囲100 ~ 3000	PRFP0#####	3-18
	優先読み取りコードの初期設定	PRFDFT	3-18
出力シーケンス エディタ	シーケンスを入力	SEQBLK	3-20
	シーケンスを初期化	SEQDFT	3-20
部分シーケンス	部分シーケンスを送信	SEQTTS1	3-20
	*部分シーケンスを破棄	SEQTTS0	3-20
出力シーケンス必須	必須	SEQ_EN2	3-20
	オン/必須でない	SEQ_EN1	3-20
	*オフ	SEQ_EN0	3-20
複数の読み取りコード	オン	SHOTGN1	3-21
	*オフ	SHOTGN0	3-21
No Read	オン	SHWNRD1	3-21
	*オフ	SHWNRD0	3-21

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
ビデオ反転	ビデオ反転のみ	VIDREV1	3-21
	ビデオ反転および標準のバーコード	VIDREV2	3-21
	*ビデオ反転オフ	VIDREV0	3-21
読み取り方向	*直立	ROTATN0	3-22
	垂直、先頭下（反時計方向に90度回転）	ROTATN1	3-22
	上下逆さま	ROTATN2	3-22
	垂直、先頭上（時計方向に90度回転）	ROTATN3	3-22
プレフィックス/サフィックスの選択項目			
すべての読み取りコードにCRサフィックスを追加		VSUFCR	4-2
プレフィックス	プレフィックスの追加	PREBK2##	4-2
	1つのプレフィックスを消去	PRECL2	4-2
	すべてのプレフィックスを消去	PRECA2	4-2
サフィックス	サフィックスの追加	SUFBK2##	4-2
	1つのサフィックスを消去	SUFCL2	4-3
	すべてのサフィックスを消去	SUFCA2	4-3
ファンクション コードの送信	*有効	RMVFNC0	4-3
	無効	RMVFNC1	4-3
文字間遅延	範囲0～1000（5ミリ秒刻み）	DLYCHR##	4-3
ユーザー指定の文字間遅延	遅延時間 0～1000（5ミリ秒刻み）	DLYCRX##	4-3
	遅延を発生させる文字	DLY_XX##	4-3
ファンクション間遅延	範囲0～1000（5ミリ秒刻み）	DLYFNC##	4-4
メッセージ間遅延	範囲0～1000（5ミリ秒刻み）	DLYMSG##	4-4
データフォーマッターの選択項目			
データフォーマットエディター	*初期設定のデータフォーマット（なし）	DFMDF3	5-1
	データフォーマットの入力	DFMBK3##	5-2
	1つのデータフォーマットを消去	DFMCL3	5-2
	すべてのデータフォーマットを消去	DFMCA3	5-2
データフォーマッター	データフォーマッター オフ	DFM_EN0	5-12
	*データフォーマッター オン、 必須でない、 プレフィックス/サフィックスを保持	DFM_EN1	5-12
	データフォーマット必須、 プレフィックス/サフィックスを保持	DFM_EN2	5-12
	データフォーマッター オン、 必須でない、 プレフィックス/サフィックスを破棄	DFM_EN3	5-12
	データフォーマット必須、 プレフィックス/サフィックスを破棄	DFM_EN4	5-12
データフォーマット不一致エラー音	*データフォーマット不一致エラー音オン	DFMDECO	5-13
	データフォーマット不一致エラー音オフ	DFMDEC1	5-13

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
メインのデータフォーマット/代替のデータフォーマット	メインのデータフォーマット	ALTFNM0	5-13
	データフォーマット1	ALTFNM1	5-13
	データフォーマット2	ALTFNM2	5-13
	データフォーマット3	ALTFNM3	5-13
シングルスキャンのデータフォーマットの変更	シングルスキャン：メインのデータフォーマット	VSAF_0	5-14
	シングルスキャン：データフォーマット1	VSAF_1	5-14
	シングルスキャン：データフォーマット2	VSAF_2	5-14
	シングルスキャン：データフォーマット3	VSAF_3	5-14
読み取りコード			
すべての読み取りコード	すべての読み取りコードをオフ	ALLENA0	6-1
	すべての読み取りコードをオン	ALLENA1	6-1
Codabar	Codabarのすべての設定を初期化	CBRDFT	6-2
	オフ	CBRENA0	6-2
	*オン	CBRENA1	6-2
Codabarのスタート/ストップキャラクタ	*送信しない	CBRSSX0	6-2
	送信する	CBRSSX1	6-2
Codabarのチェックキャラクタ	*チェック文字なし	CBRCCK20	6-2
	モジュラス16を検証するが送信しない	CBRCCK21	6-3
	モジュラス16を検証して送信	CBRCCK22	6-3
Codabarの連結	*オフ	CBRCCT0	6-3
	オン	CBRCCT1	6-3
	必須	CBRCCT2	6-3
Codabarのメッセージ長	最小 (2~60) *4	CBRMIN##	6-3
	最大 (2~60) *60	CBRMAX##	6-3
Code 39	Code 39のすべての設定を初期化	C39DFT	6-4
	オフ	C39ENAO	6-4
	*オン	C39ENA1	6-4
Code 39のスタート/ストップキャラクタ	*送信しない	C39SSX0	6-4
	送信する	C39SSX1	6-4
Code 39のチェックキャラクタ	*チェック文字なし	C39CK20	6-4
	検証するが送信しない	C39CK21	6-4
	検証して送信	C39CK22	6-4
Code 39のメッセージ長	最小 (0~48) *0	C39MIN##	6-5
	最大 (0~48) *48	C39MAX##	6-5
Code 39の連結	*オフ	C39APPO	6-5
	オン	C39APP1	6-5
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	*オフ	C39B320	6-5
	オン	C39B321	6-5

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
Code 39 Full ASCII	*オフ	C39ASCO	6-6
	オン	C39ASC1	6-6
	Code 39のコード ページ	C39DCP	6-6
Interleaved 2 of 5	Interleaved 2 of 5のすべての設定を初期化	I25DFT	6-7
	オフ	I25ENAO	6-7
	*オン	I25ENA1	6-7
Interleaved 2 of 5のチェック デジット	*チェックキャラクタなし	I25CK20	6-7
	検証するが送信しない	I25CK21	6-7
	検証して送信	I25CK22	6-7
Interleaved 2 of 5のメッセージ長	最小 (2 ~ 80) *4	I25MIN##	6-7
	最大 (2 ~ 80) *80	I25MAX##	6-7
NEC 2 of 5	NEC 2 of 5のすべての設定を初期化	N25DFT	6-8
	オフ	N25ENAO	6-8
	*オン	N25ENA1	6-8
NEC 2 of 5のチェック デジット	*チェックキャラクタなし	N25CK20	6-8
	検証するが送信しない	N25CK21	6-8
	検証して送信	N25CK22	6-8
NEC 2 of 5のメッセージ長	最小 (2 ~ 80) *4	N25MIN##	6-9
	最大 (2 ~ 80) *80	N25MAX##	6-9
Code 93	Code 93のすべての設定を初期化	C93DFT	6-9
	オフ	C93ENAO	6-9
	*オン	C93ENA1	6-9
Code 93のメッセージ長	最小 (0 ~ 80) *0	C93MIN##	6-9
	最大 (0 ~ 80) *80	C93MAX##	6-9
Code 93の連結	オン	C93APP1	6-10
	*オフ	C93APPO	6-10
Code 93のコード ページ	Code 93のコード ページ	C93DCP	6-10
Straight 2 of 5 Industrial	Straight 2 of 5 Industrialのすべての設定を初期化	R25DFT	6-11
	*オフ	R25ENAO	6-11
	オン	R25ENA1	6-11
Straight 2 of 5 Industrialのメッセージ長	最小 (1 ~ 48) *4	R25MIN##	6-11
	最大 (1 ~ 48) *48	R25MAX##	6-11
Straight 2 of 5 IATA	Straight 2 of 5 IATAのすべての設定を初期化	A25DFT	6-12
	*オフ	A25ENAO	6-12
	オン	A25ENA1	6-12
Straight 2 of 5 IATAのメッセージ長	最小 (1 ~ 48) *4	A25MIN##	6-12
	最大 (1 ~ 48) *48	A25MAX##	6-12

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
Matrix 2 of 5	Matrix 2 of 5のすべての設定を初期化	X25DFT	6-13
	*オフ	X25ENAO	6-13
	オン	X25ENA1	6-13
Matrix 2 of 5のメッセージ長	最小 (1 ~ 80) *4	X25MIN##	6-13
	最大 (1 ~ 80) *80	X25MAX##	6-13
Code 11	Code 11のすべての設定を初期化	C11DFT	6-14
	*オフ	C11ENAO	6-14
	オン	C11ENA1	6-14
Code 11の必要なチェック デジット	1桁チェック デジット	C11CK20	6-14
	*2桁チェック デジット	C11CK21	6-14
Code 11のメッセージ長	最小 (1 ~ 80) *4	C11MIN##	6-14
	最大 (1 ~ 80) *80	C11MAX##	6-14
Code 128	Code 128のすべての設定を初期化	128DFT	6-15
	オフ	128ENAO	6-15
	*オン	128ENA1	6-15
ISBTの連結	*オフ	ISBENAO	6-15
	オン	ISBENA1	6-15
Code 128のメッセージ長	最小 (0 ~ 80) *0	128MIN##	6-15
	最大 (0 ~ 90) *80	128MAX##	6-15
Code 128の連結	*オン	128APP1	6-16
	オフ	128APP0	6-16
Code 128のコード ページ	Code 128のコード ページ (*2)	128DCP##	6-16
GS1-128	GS1-128のすべての設定を初期化	GS1DFT	6-17
	*オン	GS1ENA1	6-17
	オフ	GS1ENAO	6-17
GS1-128のメッセージ長	最小 (1 ~ 80) *1	GS1MIN	6-17
	最大 (0 ~ 80) *80	GS1MAX	6-17
Telepen	Telepenのすべての設定を初期化	TELDFT	6-18
	*オフ	TELENAO	6-18
	オン	TELENA1	6-18
Telepen出力	*AIM Telepen出力	TELOLDO	6-18
	オリジナルTelepen出力	TELOLD1	6-18
Telepenのメッセージ長	最小 (1 ~ 60) *1	TELMIN##	6-18
	最大 (1 ~ 60) *60	TELMAX##	6-18
UPC-A	UPC-Aのすべての設定を初期化	UPADFT	6-19
	オフ	UPBENAO	6-19
	*オン	UPBENA1	6-19
UPC-Aのチェック デジット	オフ	UPACKX0	6-19
	*オン	UPACKX1	6-19

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
UPC-Aのナンバー システム	オフ	UPANSX0	6-19
	*オン	UPANSX1	6-19
UPC-Aの2桁アドオン	*オフ	UPAAD20	6-20
	オン	UPAAD21	6-20
UPC-Aの5桁アドオン	*オフ	UPAAD50	6-20
	オン	UPAAD51	6-20
UPC-Aのアドオン必須	*必須でない	UPAARQ0	6-20
	必須	UPAARQ1	6-20
アドオンタイムアウト	範囲 (0 ~ 65535) *100	DLYADD####	6-20
UPC-Aのアドオン セパレーター	オフ	UPAADS0	6-21
	*オン	UPAADS1	6-21
拡張クーポン コード付きUPC-A/EAN-13	*オフ	CPNENAO	6-21
	連結許可	CPNENA1	6-21
	連結必須	CPNENA2	6-21
クーポンGS1 DataBar出力	GS1出力オフ	CPNGS10	6-21
	GS1出力オン	CPNGS11	6-21
UPC-E0	UPC-Eのすべての設定を初期化	UPEDFT	6-22
	オフ	UPEEN00	6-22
	*オン	UPEEN01	6-22
UPC-E0の拡張	*オフ	UPEEXP0	6-22
	オン	UPEEXP1	6-22
UPC-E0のアドオン必須	必須	UPEARQ1	6-22
	*必須でない	UPEARQ0	6-22
UPC-E0のアドオン セパレーター	*オン	UPEADS1	6-23
	オフ	UPEADS0	6-23
UPC-E0のチェック デジット	オフ	UPECKX0	6-23
	*オン	UPECKX1	6-23
UPC-E0の先頭のゼロ	オフ	UPENSX0	6-23
	*オン	UPENSX1	6-23
UPC-E0のアドオン	2桁アドオン オン	UPEAD21	6-23
	*2桁アドオン オフ	UPEAD20	6-23
	5桁アドオン オン	UPEAD51	6-24
	*5桁アドオン オフ	UPEAD50	6-24
UPC-E1	*オフ	UPEEN10	6-24
	オン	UPEEN11	6-24
EAN/JAN-13	EAN/JANのすべての設定を初期化	E13DFT	6-24
	オフ	E13ENAO	6-24
	*オン	E13ENA1	6-24
UPC-AからEAN-13への変換	UPC-AをEAN-13に変換	UPAENAO	6-24
	UPC-Aを変換しない	UPAENA1	6-24

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
EAN/JAN-13のチェックディジット	オフ	E13CKX0	6-25
	*オン	E13CKX1	6-25
EAN/JAN-13の2桁アドオン	2桁アドオン オン	E13AD21	6-25
	*2桁アドオン オフ	E13AD20	6-25
	5桁アドオン オン	E13AD51	6-25
	*5桁アドオン オフ	E13AD50	6-25
EAN/JAN-13のアドオン必須	*必須でない	E13ARQ0	6-25
	必須	E13ARQ1	6-25
EAN/JAN-13のアドオン セパレーター	オフ	E13ADS0	6-26
	*オン	E13ADS1	6-26
ISBN変換	*オフ	E13ISB0	6-26
	オン	E13ISB1	6-26
EAN/JAN-8	EAN/JAN-8のすべての設定を初期化	EA8DFT	6-27
	オフ	EA8ENAO	6-27
	*オン	EA8ENA1	6-27
EAN/JAN-8のチェックディジット	オフ	EA8CKX0	6-27
	*オン	EA8CKX1	6-27
EAN/JAN-8のアドオン	*2桁アドオン オフ	EA8AD20	6-27
	2桁アドオン オン	EA8AD21	6-27
	5桁アドオン オン	EA8AD51	6-27
	*5桁アドオン オフ	EA8AD50	6-28
EAN/JAN-8のアドオン必須	*必須でない	EA8ARQ0	6-28
	必須	EA8ARQ1	6-28
EAN/JAN-8のアドオン セパレーター	オフ	EA8ADS0	6-28
	*オン	EA8ADS1	6-28
MSI	MSIのすべての設定を初期化	MSIDFT	6-29
	*オフ	MSIENAO	6-29
	オン	MSIENA1	6-29
MSIのチェックキャラクタ	*タイプ10を検証するが送信しない	MSICHK0	6-29
	タイプ10を検証して送信	MSICHK1	6-29
	2つのタイプ10文字を検証するが送信しない	MSICHK2	6-29
	2つのタイプ10文字を検証して送信	MSICHK3	6-29
	タイプ10文字の後でタイプ11文字を検証するが送信しない	MSICHK4	6-29
	タイプ10文字の後でタイプ11文字を検証して送信	MSICHK5	6-30
	MSIのチェックキャラクタを無効にする	MSICHK6	6-30
MSIのメッセージ長	最小 (4~48) *4	MSIMIN##	6-30
	最大 (4~48) *48	MSIMAX##	6-30

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
GS1 DataBar Omnidirectional	GS1 DataBar Omnidirectionalのすべての設定を初期化	RSSDFT	6-31
	オフ	RSSENAO	6-31
	*オン	RSSENA1	6-31
GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar Limitedのすべての設定を初期化	RSLDFT	6-31
	オフ	RSLENAO	6-31
	*オン	RSLENA1	6-31
GS1 DataBar Expanded	GS1 DataBar Expandedのすべての設定を初期化	RSEDFT	6-32
	オフ	RSEENAO	6-32
	*オン	RSEENA1	6-32
GS1 DataBar Expandedのメッセージ長	最小 (4 ~ 74) *4	RSEMIN##	6-32
	最大 (4 ~ 74) *74	RSEMAX##	6-32
Trioptic Code	*オフ	TRIENAO	6-32
	オン	TRIEA1	6-32
Codablock A	Codablock Aのすべての設定を初期化	CBADFT	6-33
	*オフ	CBAENAO	6-33
	オン	CBAENA1	6-33
Codablock Aのメッセージ長	最小 (1 ~ 600) *1	CBAMIN####	6-33
	最大 (1 ~ 600) *600	CBAMAX####	6-33
Codablock F	Codablock Fのすべての設定を初期化	CBFDFT	6-34
	*オフ	CBFENAO	6-34
	オン	CBFENA1	6-34
Codablock Fのメッセージ長	最小 (1 ~ 2048) *1	CBFMIN####	6-34
	最大 (1 ~ 2048) *2048	CBFMAX####	6-34
Label Code	オン	LBLENA1	8-34
	*オフ	LBLENAO	8-34
PDF417	PDF417のすべての設定を初期化	PDFDFT	6-35
	*オン	PDFENA1	6-35
	オフ	PDFENAO	6-35
PDF417のメッセージ長	最小 (1 ~ 2750) *1	PDFMIN	6-35
	最大 (1 ~ 2750) *2750	PDFMAX	6-35
MacroPDF417	*オン	PDFMAC1	6-35
	オフ	PDFMAC0	6-35
MicroPDF417	MicroPDF417のすべての設定を初期化	MPDDFT	6-36
	オン	MPDENA1	6-36
	*オフ	MPDENAO	6-36
MicroPDF417のメッセージ長	最小 (1 ~ 366) *1	MPDMIN	6-36
	最大 (1 ~ 366) *366	MPDMAX	6-36
GS1 コンジット コード	オン	COMENA1	6-36
	*オフ	COMENAO	6-36
UPC/EANのバージョン	オン	COMUPC1	6-37
	*オフ	COMUPC0	6-37

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
GS1コンジットコードのメッセージ長	最小 (1~2435) *1	COMMIN	6-37
	最大 (1~2435) *2435	COMMAX	6-37
GS1エミュレーション	GS1-128エミュレーション	EANEMU1	6-37
	GS1 DataBarエミュレーション	EANEMU2	6-38
	GS1コード拡張オフ	EANEMU3	6-38
	EAN-8をEAN-13に変換	EANEMU4	6-38
	*GS1エミュレーション オフ	EANEMU0	6-38
TCIF Linked Code 39	オン	T39ENA1	6-38
	*オフ	T39ENA0	6-38
QRコード	QRコードのすべての設定を初期化	QRCDFT	6-38
	*オン	QRCENA1	6-38
	オフ	QRCENA0	6-38
QRコードのメッセージ長	最小 (1~7089) *1	QRCCMIN	6-39
	最大 (1~7089) *7089	QRCCMAX	6-39
QRコードの連結	*オン	QRCAPP1	6-39
	オフ	QRCAPP0	6-39
QRコード ページ	QRコード ページ (*3)	QRCDPC##	6-39
Data Matrix	Data Matrixのすべての設定を初期化	IDMDFT	6-40
	*オン	IDMENA1	6-40
	オフ	IDMENA0	6-40
Data Matrixのメッセージ長	最小 (1~3116) *1	IDMMIN	6-40
	最大 (1~3116) *3116	IDMMAX	6-40
Data Matrixの連結	*オン	IDMAPP1	6-40
	オフ	IDMAPP0	6-40
Data Matrixのコード ページ	Data Matrixのコード ページ (*51)	IDMDPC##	6-40
MaxiCode	MaxiCodeのすべての設定を初期化	MAXDFT	6-41
	*オン	MAXENA1	6-41
	オフ	MAXENA0	6-41
MaxiCodeのメッセージ長	最小 (1~150) *1	MAXMIN	6-41
	最大 (1~150) *150	MAXMAX	6-41
Aztecコード	Aztecコードのすべての設定を初期化	AZTDFT	6-42
	*オン	AZTENA1	6-42
	オフ	AZTENA0	6-42
Aztecコードのメッセージ長	最小 (1~3832) *1	AZTMIN	6-42
	最大 (1~3832) *3832	AZTMAX	6-42
Aztecの連結	*オン	AZTAPP1	6-42
	オフ	AZTAPP0	6-42
Aztecのコード ページ	Aztecのコード ページ (*51)	AZTDPC##	6-42
Chinese Sensible (Han Xin) コード	Han Xinコードのすべての設定を初期化	HX_DFT	6-43
	オン	HX_ENA1	6-43
	*オフ	HX_ENA0	6-43
Chinese Sensible (Han Xin) コードのメッセージ長	最小 (1~7833) *1	HX_MIN	6-43
	最大 (1~7833) *7833	HX_MAX	6-43

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
郵便コード (2D)			
2D郵便コード	*オフ	POSTAL0	6-44
2D郵便コード (単独)	Australian Postオン	POSTAL1	6-44
	British Postオン	POSTAL7	6-44
	Canadian Postオン	POSTAL30	6-44
	Intelligent Mail/バーコード オン	POSTAL10	6-44
	日本郵便オン	POSTAL3	6-44
	KIX Postオン	POSTAL4	6-44
	Planet Codeオン	POSTAL5	6-44
	Postal-4iオン	POSTAL9	6-44
	Postnetオン	POSTAL6	6-45
	Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL11	6-45
InfoMailオン	POSTAL2	6-45	
2D郵便コード (組み合わせ)	InfoMailとBritish Postオン	POSTAL8	6-45
	Intelligent Mail/バーコードとPostnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL20	6-45
	PostnetとPostal-4iオン	POSTAL14	6-45
	PostnetとIntelligent Mail/バーコード オン	POSTAL16	6-45
	Postal-4iとIntelligent Mail/バーコード オン	POSTAL17	6-45
	Postal-4iとPostnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL19	6-45
	PlanetとPostnetオン	POSTAL12	6-45
	PlanetとPostnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL18	6-46
	PlanetとPostal-4iオン	POSTAL13	6-46
	PlanetとIntelligent Mail/バーコード オン	POSTAL15	6-46
	Planet、Postnet、Postal-4iオン	POSTAL21	6-46
	Planet、Postnet、Intelligent Mail/バーコード オン	POSTAL22	6-46
	Planet、Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード オン	POSTAL23	6-46
	Postnet、Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード オン	POSTAL24	6-46
	Planet、Postal-4i、Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL25	6-46
	Planet、Intelligent Mail/バーコード、Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL26	6-46
	Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード、Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL27	6-46
	Planet、Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード、Postnetオン	POSTAL28	6-47
Planet、Postal-4i、Intelligent Mail/バーコード、Postnet BおよびB' フィールド オン	POSTAL29	6-47	

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
Planet Codeのチェック デジット	送信する	PLNCKX1	6-47
	*送信しない	PLNCKX0	6-47
Postnetのチェック デジット	送信する	NETCKX1	6-47
	*送信しない	NETCKX0	6-47
Australian Postの解釈	バー出力	AUSINT0	6-48
	数字Nテーブル	AUSINT1	6-48
	英数字Cテーブル	AUSINT2	6-48
	NおよびCテーブルの組み合わせ	AUSINT3	6-48
郵便コード (線形)			
China Post (Hong Kong 2 of 5)	China Post (Hong Kong 2 of 5) のすべての設定を初期化	CPCDFT	6-48
	*オフ	CPCENAO	6-48
	オン	CPCENA1	6-48
China Post (Hong Kong 2 of 5) のメッセージ長	最小 (2~80) *4	CPCMIN##	6-48
	最大 (2~80) *80	CPCMAX##	6-48
Korea Post	Korea Postのすべての設定を初期化	KPCDFT	6-49
	*オフ	KPCENAO	6-49
	オン	KPCENA1	6-49
Korea Postのメッセージ長	最小 (2~80) *4	KPCMIN##	6-49
	最大 (2~80) *48	KPCMAX##	6-49
Korea Postのチェック デジット	チェック デジットを送信	KPCCHK1	6-49
	*チェック デジットを送信しない	KPCCHK0	6-49
初期設定のイメージング コマンド			
画像撮影	すべてのイメージング コマンドの初期化	IMGDFT	7-1
	イメージング スタイル : デコード	SNPSTY0	7-1
	*イメージング スタイル : 写真	SNPSTY1	7-1
	イメージング スタイル : 手動	SNPSTY2	7-1
	ビープ音オン	SNPBEP1	7-1
	*ビープ音オフ	SNPBEP0	7-1
	*トリガー待機オフ	SNPTRGO	7-2
	トリガー待機オフ	SNPTRG1	7-2
	*LED状態 : オフ	SNPLED0	7-2
	LED状態 : オン	SNPLED1	7-2
	露出 (1~7874マイクロ秒)	SNPEXP	7-2
	*ゲイン : なし	SNPGAN1	7-2
	ゲイン : 中	SNPGAN2	7-2
	ゲイン : 大	SNPGAN4	7-2
	ゲイン : 最大	SNPGAN8	7-2
	ターゲット ホワイト値 (0~255) *125	SNPWHT###	7-3
	許容デルタ (0~255) *25	SNPDEL###	7-3
	更新試行回数 (0~10) *6	SNPTRY##	7-3
	ターゲット セット ポイント 割合 (1~99) *50	SNPPTC##	7-3

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
画像送信	*無限遠フィルター：オフ	IMGINF0	7-3
	無限遠フィルター：オン	IMGINF1	7-3
	*補正オフ	IMGCOR0	7-4
	補正オン	IMGCOR1	7-4
	*ピクセル深度：8ビット/ピクセル（グレースケール）	IMGBPP8	7-4
	ピクセル深度：1ビット/ピクセル（白黒）	IMGBPP1	7-4
	*エッジをシャープにしない	IMGEDG0	7-5
	エッジをシャープにする（0～23）	IMGEDG##	7-5
	*ファイルフォーマット：JPEG	IMGFMT6	7-5
	ファイルフォーマット：KIM	IMGFMT0	7-5
	ファイルフォーマット：TIFFバイナリ	IMGFMT1	7-5
	ファイルフォーマット：TIFFバイナリグループ4、圧縮	IMGFMT2	7-5
	ファイルフォーマット：TIFFグレースケール	IMGFMT3	7-5
	ファイルフォーマット：非圧縮バイナリ	IMGFMT4	7-5
	ファイルフォーマット：非圧縮グレースケール	IMGFMT5	7-5
	ファイルフォーマット：BMP	IMGFMT8	7-5
	*ヒストグラムストレッチ オフ	IMGHIS0	7-5
	ヒストグラムストレッチ オン	IMGHIS1	7-5
	*ノイズ低減オフ	IMGFSP0	7-6
	ノイズ低減オン	IMGFSP1	7-6
	X軸を中心に画像を反転	IMGNVX1	7-6
	Y軸を中心に画像を反転	IMGNVY1	7-6
	画像の回転なし	IMGROT0	7-7
	画像を右に90度回転	IMGROT1	7-7
	画像を右に180度回転	IMGROT2	7-7
	画像を左に90度回転	IMGROT3	7-7
	JPEG画質（0～100）*50	IMGJQF###	7-7
	*ガンマ補正オフ	IMGGAM0	7-7
	ガンマ補正オン（0～1000）	IMGGAM###	7-7
	画像の切り取り：左（0～640）*0	IMGWNL###	7-7
	画像の切り取り：右（0～640）*639	IMGWNR###	7-7
	画像の切り取り：上（0～480）*0	IMGWNT###	7-7
	画像の切り取り：下（0～480）*479	IMGWNB###	7-7
	画像の切り取り：マージン（1～238）*0	IMGMAR###	7-7
	プロトコル：なし（未加工）	IMGXFR0	7-8
	プロトコル：なし（初期設定USB）	IMGXFR2	7-8
	プロトコル：Hmodem圧縮	IMGXFR3	7-8
	プロトコル：Hmodem	IMGXFR4	7-8
	すべてのピクセルを送信	IMGSUB1	7-8
	2ピクセルごとに送信	IMGSUB2	7-8
3ピクセルごとに送信	IMGSUB3	7-8	
*文書画像フィルター オフ	IMGUSH0	7-9	

選択項目	設定 *は初期設定値を示す	シリアルコマンド #は数値入力を示す	ページ
	文書画像フィルター オン (0~255)	IMGUSH###	7-9
	*ヒストグラムを送信しない	IMGHST0	7-9
	ヒストグラムを送信する	IMGHST1	7-9
画像サイズの互換性	VGA解像度の強制	IMGVGA1	7-10
	*ネイティブ解像度	IMGVGA0	7-10
インテリジェントな署名キャプチャ	最適化オン	DECBND1	7-10
	*最適化オフ	DECBND0	7-10
ユーティリティ			
すべての読み取りコードへのコードIDプレフィックスの追加 (一時的)		PRECA2,BK2995C80!	8-1
デコーダーのリビジョンの表示		REV_DR	8-1
スキャンドライバのリビジョンの表示		REV_SD	8-1
ソフトウェアのリビジョンの表示		REVINF	8-1
データフォーマットの表示		DFMBK3?	8-1
テストメニュー	オン	TSTMNU1	8-2
	*オフ	TSTMNU0	8-2
アプリケーションプラグイン (アプリ)	*デコードアプリ オン	PLGDCE1	8-2
	デコードアプリ オフ	PLGDCE0	8-2
	*フォーマットアプリ オン	PLGFOE1	8-2
	フォーマットアプリ オフ	PLGFOE0	8-2
	アプリの一覧表示	PLGINF	8-2
工場出荷時設定へのリセット	カスタム初期設定の削除	DEFOVR	8-4
	初期設定の有効化	DEFAULT	8-4

メンテナンスとトラブルシューティング

修理

この製品を修理したりアップグレードを行ったりしないでください。これらのサービスは必ず正規のサービス センターで受けてください。詳しくは、[vii](#)ページの「[テクニカルサポート](#)」を参照してください。

ケーブルおよびコネクタの点検

スキャン エンジンのインターフェイスケーブルおよびコネクタに摩耗や損傷の痕跡がないか点検してください。ケーブルの摩耗やコネクタの損傷がひどい場合は、スキャン エンジンの動作が妨げられることがあります。ケーブル交換については、Honeywellのサポート窓口にお問い合わせください。

トラブルシューティング

スキャン エンジンは電源投入時に自己診断を自動的に実行します。お使いのスキャン エンジンが正常に機能していない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題を特定してみてください。

電源は入っていますか? 赤または緑の照準線は点灯していますか?

照準線が点灯していない場合は、以下の点を確認してください。

- ケーブルが正しく接続されていること。
- ホスト システムの電源が入っていること（外部電源を使用していない場合）。

スキャン エンジンで読み取りコードの読み取りに問題がありますか?

スキャン エンジンが読み取りコードを正しく読み取らない場合は、以下の点を確認してください。

- 読み取りコードに汚れ、ざらつき、傷、または読み取りを妨げるような欠けがないこと。
- 読み取りコードの表面に霜や水滴が付いていないこと。
- 読み取りコードがスキャン エンジンまたはスキャン エンジンの接続先のデコーダーで有効になっていること。

バーコードが表示されているのに入力されませんか?

バーコードがホストデバイスで正しく表示されても、入力するにはさらにキーを押す必要があります（[Enter]/[Return]キーや[Tab]キーなど）。

サフィックスをプログラムする必要があります。サフィックスをプログラムすると、スキャン エンジンがバーコード データおよび必要なキー（「CR」など）を出力して、アプリケーションにデータを入力できます。詳しくは、4-1ページの「[プレフィックス/サフィックスの概要](#)」を参照してください。

スキャン エンジンがバーコードを間違って読み取っていませんか?

スキャン エンジンがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は

- スキャン エンジンが適切な端末インターフェイス用に設定されていない可能性があります。たとえば、「12345」をスキャンしてもホストには「@es%」と表示されます。

正しいプラグ アンド プレイまたは端末選択バーコードを使用してスキャン エンジンを再設定してください。第2章および第3章を参照してください。

スキャン エンジンがバーコード データを正しく出力するように設定されていない可能性があります。たとえば、「12345」をスキャンしてもホストには「A12345B」と表示されます。

正しい読み取りコードを選択してスキャン エンジンを再設定してください。第6章を参照してください。

スキャン エンジンがバーコードをまったく読み取らない

1. このガイドの裏にあるサンプルバーコードをスキャンします。サンプルバーコードを読み取れる場合は、お使いのバーコードが判読可能であること確認してください。
お使いのバーコードの読み取りコードが有効になっていることを確認してください（第6章を参照してください）。
2. サンプルバーコードを読み取れない場合は、[6-1](#)ページの[\[すべての読み取りコード\]](#)をスキャンします。

スキャン エンジンに設定されているプログラミング オプションが不明の場合、または工場出荷時の設定を復元したい場合は、[8-4](#)ページの「[工場出荷時設定へのリセット](#)」を参照してください。



リファレンス表

読み取りコード表

注：「m」はAIM修飾文字を表します。AIM修飾文字について詳しくは、国際技術仕様書を参照してください。

特定の読み取りコードのプレフィックス/サフィックスエントリは、ユニバーサル（すべての読み取りコード、99）エントリをオーバーライドします。

コードIDおよびAIM IDの使用方法については、4-1ページ以降の「データ編集」および5-1ページ以降の「データフォーマット」を参照してください。

線形読み取りコード

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
すべての読み取りコード				99
Codabar]Fm	0~1	a	61
Code 11]H3		h	68
Code 128]Cm	0、1、2、4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)]X0		<	3C
Code 39 (Full ASCIIモードをサポート)]Am	0、1、3、4、5、7	b	62
TCIF Linked Code 39 (TLC39)]L2		T	54
Code 93および93i]Gm	0~9、A~Z、 a~m	i	69
EAN]Em	0、1、3、4	d	64
EAN-13 (Bookland EANを含む)]E0		d	64
アドオン付きEAN-13]E3		d	64
拡張クーポンコード付きEAN-13]E3		d	64
EAN-8]E4		D	44
アドオン付きEAN-8]E3		D	44
GS1				
GS1 DataBar]em	0	y	79
GS1 DataBar Limited]em		{	7B
GS1 DataBar Expanded]em		}	7D
GS1-128]C1		l	49
2 of 5				
China Post (Hong Kong 2 of 5)]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5]lm	0、1、3	e	65
Matrix 2 of 5]X0		m	6D
NEC 2 of 5]X0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA]Rm	0、1、3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial]S0		f	66
MSI]Mm	0、1	g	67
Telepen]Bm		t	74
UPC		0、1、2、3、8、9、A、 B、C		

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
UPC-A	JE0		c	63
アドオン付きUPC-A	JE3		c	63
拡張クーポンコード付きUPC-A	JE3		c	63
UPC-E	JE0		E	45
アドオン付きUPC-E	JE3		E	45
UPC-E1	JX0		E	45

HoneywellコードIDの追加				5C80
AIMコードIDの追加				5C81
バックスラッシュの追加				5C5C
バッチモード数			5	35

2D読み取りコード

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
すべての読み取りコード				99
Aztecコード	Jzm	0~9、A~C	z	7A
Chinese Sensibleコード (Han Xinコード)	JX0		H	48
Codablock A	J06	0、1、4、5、6	V	56
Codablock F	J0m	0、1、4、5、6	q	71
Code 49	JTm	0、1、2、4	l	6C
Data Matrix	Jdm	0~6	w	77
GS1	Jem	0~3		
GS1 コンポジット	Jem	0~3	y	79
GS1 DataBar Omnidirectional	Jem		y	79
MaxiCode	JUm	0~3	x	78
PDF417	JLm	0~2	r	72
MicroPDF417	JLm	3~5	R	52
QRコード	JQm	0~6	s	73
Micro QRコード	JQm		s	73

郵便読み取りコード

読み取りコード	AIM		Honeywell	
	ID	使用できる修飾文字 (m)	ID	16進
すべての読み取りコード				99
Australian Post]X0		A	41
British Post]X0		B	42
Canadian Post]X0		C	43
China Post]X0		Q	51
InfoMail]X0		,	2C
Intelligent Mail/バーコード]X0		M	4D
日本郵便]X0		J	4A
KIX (オランダ) Post]X0		K	4B
Korea Post]X0		?	3F
Planet Code]X0		L	4C
Postal-4i]X0		N	4E
Postnet]X0		P	50

ASCII変換表 (コード ページ1252)

キーボードアプリケーションでは、ASCII制御文字は以下に示すように、3つの異なる方法で表されます。CTRL + X機能はOSおよびアプリケーションによって異なります。以下の表に、よく使用されるMicrosoftの一部の機能を示します。この表は、米国式キーボードに適用されます。一部の文字は、国コードまたはPCの地域設定によって異なる場合があります。

印刷できないASCII制御文字			キーボード Control + ASCII (CTRL + X) モード		
10進	16進	文字	Control + Xモード オフ (KBDCAS0)	Windowsモード Control + Xモード オン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X機能
0	00	NUL	予約済み	CTRL + @	
1	01	SOH	NP Enter	CTRL + A	すべて選択
2	02	STX	Caps Lock	CTRL + B	太字
3	03	ETX	ALT Make	CTRL + C	コピー
4	04	EOT	ALT Break	CTRL + D	ブックマーク
5	05	ENQ	CTRL Make	CTRL + E	中央揃え
6	06	ACK	CTRL Break	CTRL + F	検索
7	07	BEL	Enter / Ret	CTRL + G	
8	08	BS	(Apple Make)	CTRL + H	履歴
9	09	HT	Tab	CTRL + I	斜体
10	0A	LF	(Apple Break)	CTRL + J	両端揃え
11	0B	VT	Tab	CTRL + K	ハイパーリンク
12	0C	FF	Delete	CTRL + L	リスト、左揃え
13	0D	CR	Enter / Ret	CTRL + M	
14	0E	SO	Insert	CTRL + N	新規
15	0F	SI	ESC	CTRL + O	開く
16	10	DLE	F11	CTRL + P	印刷
17	11	DC1	Home	CTRL + Q	終了
18	12	DC2	PrtScn	CTRL + R	

印刷できないASCII制御文字			キーボード Control + ASCII (CTRL + X) モード		
10進	16進	文字	Control + Xモード オフ (KBDCAS0)	Windowsモード Control + Xモード オン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X機能
19	13	DC3	BackSpace	CTRL + S	保存
20	14	DC4	Back Tab	CTRL + T	
21	15	NAK	F12	CTRL + U	
22	16	SYN	F1	CTRL + V	貼り付け
23	17	ETB	F2	CTRL + W	
24	18	CAN	F3	CTRL + X	
25	19	EM	F4	CTRL + Y	
26	1A	SUB	F5	CTRL + Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL + [
28	1C	FS	F7	CTRL + \	
29	1D	GS	F8	CTRL +]	
30	1E	RS	F9	CTRL + ^	
31	1F	US	F10	CTRL + -	
127	7F	△	NP Enter		

下位のASCII参照表

注：Windowsコード ページ1252および下位のASCIIは、同じ文字を使用します。

印刷可能文字								
10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字
32	20	<スペース>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(72	48	H	104	68	h
41	29)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z

印刷可能文字								
10進	16進	文字	10進	16進	文字	10進	16進	文字
59	3B	;	91	5B	[123	7B	{
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	␣

拡張ASCII文字						
10進	16進	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2スキャンコード	
128	80	€	Ç	上向き矢印 ↑	0x48	
129	81		ü	下向き矢印 ↓	0x50	
130	82	,	é	右向き矢印 →	0x4B	
131	83	f	â	左向き矢印 ←	0x4D	
132	84	„	ä	Insert	0x52	
133	85	…	à	Delete	0x53	
134	86	†	ã	Home	0x47	
135	87	‡	ç	End	0x4F	
136	88	^	ê	Page Up	0x49	
137	89	‰	ë	Page Down	0x51	
138	8A	Š	è	右のALT	0x38	
139	8B	<	ï	右のCTRL	0x1D	
140	8C	Œ	î	予約済み	n/a	
141	8D		ì	予約済み	n/a	
142	8E	Ž	Ä	テンキーのEnter	0x1C	
143	8F		Å	テンキーの/	0x35	
144	90		É	F1	0x3B	
145	91	‘	æ	F2	0x3C	
146	92	’	Æ	F3	0x3D	
147	93	“	ô	F4	0x3E	
148	94	”	ö	F5	0x3F	
149	95	•	ò	F6	0x40	
150	96	–	ù	F7	0x41	
151	97	—	û	F8	0x42	
152	98	~	ÿ	F9	0x43	
153	99	™	ÿ	F10	0x44	
154	9A	š	Ü	F11	0x57	
155	9B	>	ƒ	F12	0x58	
156	9C	œ	£	テンキーの+	0x4E	
157	9D		¥	テンキーの一	0x4A	
158	9E	ž	℥	テンキーの*	0x37	
159	9F	ÿ	f	Caps Lock	0x3A	
160	A0		á	Num Lock	0x45	
161	A1	¡	í	左のALT	0x38	
162	A2	¢	ó	左のCtrl	0x1D	
163	A3	£	ú	左のShift	0x2A	
164	A4	¤	ñ	右のShift	0x36	
165	A5	¥	Ñ	Print Screen	n/a	
166	A6	¦	ª	Tab	0x0F	
167	A7	§	º	Shift Tab	0x8F	
168	A8	¨	¿	Enter	0x1C	
169	A9	©	¸	Esc	0x01	

拡張ASCII文字					
10進	16進	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2スキャンコード
170	AA	ª	¬	ALT Make	0x36
171	AB	«	½	ALT Break	0xB6
172	AC	¬	¼	Control Make	0x1D
173	AD		ı	Control Break	0x9D
174	AE	®	«	1文字を含むAltシーケンス	0x36
175	AF	ˆ	»	1文字を含むCtrlシーケンス	0x1D
176	B0	°	⌘		
177	B1	±	⌘		
178	B2	²	⌘		
179	B3	³			
180	B4	´	¬		
181	B5	µ	¬		
182	B6	¶	¬		
183	B7	·	¬		
184	B8	,	¬		
185	B9	¹	¬		
186	BA	º			
187	BB	»	¬		
188	BC	¼	¸		
189	BD	½	¸		
190	BE	¾	¸		
191	BF	¿	¬		
192	C0	À	¸		
193	C1	Á	¸		
194	C2	Â	¸		
195	C3	Ã	¸		
196	C4	Ä	—		
197	C5	Å	ı		
198	C6	Æ	¸		
199	C7	Ç	¸		
200	C8	È	¸		
201	C9	É	¸		
202	CA	Ê	¸		
203	CB	Ë	¸		
204	CC	Ì	¸		
205	CD	Í	—		
206	CE	Î	¸		
207	CF	Ï	¸		
208	D0	Ð	¸		
209	D1	Ñ	¸		
210	D2	Ò	¸		
211	D3	Ó	¸		
212	D4	Ô	¸		
213	D5	Õ	¸		
214	D6	Ö	¸		
215	D7	×	¸		
216	D8	Ø	¸		
217	D9	Ù	¸		
218	DA	Ú	¸		
219	DB	Û	■		
220	DC	Ü	■		
221	DD	Ý	■		

拡張ASCII文字					
10進	16進	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2スキャンコード
222	DE	p	!		
223	DF	ß	"		
224	E0	à	α		
225	E1	á	β		
226	E2	â	Γ		
227	E3	ã	π		
228	E4	ä	Σ		
229	E5	å	σ		
230	E6	æ	μ		
231	E7	ç	τ		
232	E8	è	Φ		
233	E9	é	Θ		
234	EA	ê	Ω		
235	EB	ë	δ		
236	EC	ì	∞		
237	ED	í	Φ		
238	EE	î	ε		
239	EF	ï	∩		
240	F0	ð	≡		
241	F1	ñ	±		
242	F2	ò	≥		
243	F3	ó	≤		
244	F4	ô	∫		
245	F5	ö	∫		
246	F6	ö	÷		
247	F7	÷	≈		
248	F8	ø	°		
249	F9	ù	·		
250	FA	ú	·		
251	FB	û	√		
252	FC	ü	ⁿ		
253	FD	ý	²		
254	FE	þ	■		
255	FF	ÿ			

ISO 2022/ISO 646の文字置換

コードページは、文字コードから文字へのマッピングを定義します。受信したデータが適切な文字で表示されない場合、スキャンされたバーコードは、ホストプログラムが想定しているものとは異なるコードページを使用して作成された可能性があります。その場合は、バーコードの作成に使われたコードページを選択します。データの文字が正しく表示されるようになります。

コードページの選択方法/国	標準	キーボードの言語	Honeywellコードページオプション
米国 (標準のASCII)	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
各国語文字の自動置換	ISO/IEC 2022	n/a	2 (初期設定)
2進コードページ	n/a	n/a	3
初期設定の「各国語文字の自動置換」では、Code 128、Code 39、およびCode 93に対して以下のHoneywellコードページオプションが選択されます。			
米国	ISO/IEC 646-06	0	1
カナダ	ISO /IEC 646-121	54	95
カナダ	ISO /IEC 646-122	18	96

コードページの選択方法/国	標準	キーボードの言語	Honeywellコード ページオプション
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99
英国 (UK)	ISO /IEC 646-04	7	87
フランス	ISO /IEC 646-69	3	83
ドイツ	ISO/IEC646-21	4	84
スイス	ISO /IEC 646-CH	6	86
スウェーデン/フィンランド (拡張Annex C)	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO /IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

10進			35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
16進			23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
US	0	1	#	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
CA	54	95	#	\$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û
CA	18	96	#	\$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û
JP	28	98	#	\$	@	[¥]	^	`	{		}	—
CN	92	99	#	¥	@	[\]	^	`	{		}	—
GB	7	87	£	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
FR	3	83	£	\$	à	°	ç	§	^	μ	é	ù	è	..
DE	4	84	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
CH	6	86	ù	\$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û
SE/FI	2	82	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
DK	8	88	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
NO	9	94	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	..
IE	73	97	£	\$	Ó	É	Í	Ú	Á	ó	é	í	ú	á
IT	5	85	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
PT	13	92	#	\$	§	Ã	Ç	Õ	^	`	ã	ç	õ	°
ES	10	90	#	\$	§	í	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~
ES	51	91	#	\$	·	í	Ñ	Ç	¿	`	·	ñ	ç	..
 シーボーン シーボーン Honeywell シーボーン			ISO/IEC 646各国語文字の置換											

キーボードのキー リファレンス

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	5A	5F	64	69	
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5B	60	65	6A
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	1D	4C	51	56	5C	61	66	6C
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2B		53		5D	62	67	6C	
2C	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39	4F	54	59	63	68				
3A	3B	3C			3D				3E	3F	38	40								

104キー-米国式キーボード

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	5A	5F	64	69	
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5B	60	65	6A
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	2B	4C	51	56	5C	61	66	6C
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A		53		5D	62	67	6C	
2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39	4F	54	59	63	68			
3A	3B	3C			3D				3E	3F	38	40								

105キー-欧州式キーボード

読み取りコードの例

UPC-A



0 123456 7890

Interleaved 2 of 5



1234567890

EAN-13



9 780330 290951

Code 128



Code 128

Code 39



BC321

Codabar



A13579B

Code 93



123456-9\$

Code 2 of 5



123456

Matrix 2 of 5



6543210

RSS-14



(01)00123456789012

読み取りコードの例

PDF417



車両登録

Code 49



1234567890

Postnet



郵便番号

Data Matrix



テスト読み取り
コード

QRコード



数値

MaxiCode



テストメッセージ

Aztec



パッケージラベル

Micro PDF417



テストメッセージ

モジュラス36の
チェック文字付きOCR-A

532427D

モジュラス10の
チェック文字付きOCR-A

5324277

プログラミングチャート



K0K

0



K2K

2



K4K

4



K6K

6



K8K

8



K1K

1



K3K

3



K5K

5



K7K

7



K9K

9



プログラミングチャート



KAK
A



KCK
C



KEK
E



MNUSAV.
保存



RESET_
リセット



KBK
B



KDK
D



KFK
F



MNUABT.
破棄

注：文字または数字のスクランを間違えた場合は（[保存]をスクランする前に）、[破棄]をスクランしてから、正しい文字または数字をもう一度スクランし、**[保存]**をスクランしてください。
